## 『看護系大学の教育等に関する実態調査』 2015年度状況調査

## ■自由記載一覧

- 1. 公開講座について(調査票項目No5)
  - 1)表7-4 A. 一般市民向け公開講座(Q18-A)
  - 2)表7-4 B. 看護職者等の専門職向け講座(Q18-B)
  - 3)表7-4 C. その他の講座(Q18-C)
- 2. FDの状況について(調査票項目No6)
  - 1)表8-2 A. 全学主催のFD(Q19-A)
  - 2)表8-2 B. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD(Q19-B)
- 3. 大学と実習施設等の教育連携について(調査票項目No11)
  - 1)表13-1 組織として支援している内容について(Q25-B)
  - 2)表13-2 人事交流の制度や取り組みの内容について(Q25-D)
  - 3)表13-3 共同研究や合同研修等の制度や取り組みの内容について(Q25-F)
  - 4)表13-4 導入している臨床教授制度の内容について(Q25-H)
  - 5)表13-5 臨地実習で困ったこと・苦労(Q25-I)
- 4. 保健師および助産師の教育課程について(調査票項目No12)
  - 1)表14-2 保健師教育課程の課題(Q26-C)
  - 2)表14-4 助産師教育課程の課題(Q26-F)
- 5. ご意見、ご要望(Q27)(調査票項目No13)

表7-4 A. 一般市民向け公開講座	
記述	内容
HIV/AIDSから生と性を考える	ツボ押しでセルフケア
あなたのまわりの人が倒れたら・・・	触覚で学ぶお口健康
アンチエイジングで老化予防 ※同じテーマで異なる対象者・会場での講演が全4件有り	心と体と関連する伝承医学の知恵
これからの生活習慣病予防 -プラス10って何ですか?-	戦後70年、ヴァイツゼッカー元独大統領演説の射程距離について
ヤングとシニア お互いを知ろう	不真面目な脳に拘束される身体 〜解散すれば体はもっと楽になる〜
顕微鏡でみる生命のかたち ※同じテーマで異なる対象者・会場での講演が全3件有り	生活にいかそうリラクセーション ~こころと身体を楽に過ごす ために~
思春期の生と性 ※同じテーマで異なる対象者・会場での講演が全6件有り	『がんと共にすこやかに生きる』 講演会シリーズ 全7回
地域精神保健対策について	こんなに怖い糖尿病性足病変、一生自分の足で歩くために
乳がん検診を受けましょう	パープルリボンセミナー 『膵がん克服を目指して』
認知症のケア	小さな命の意味を考える ~あの日の大川小学校の校庭に学ぶ~
防ごう脳卒中!~生活習慣を見直して予防できる脳卒中~	「人々の中の私」 曽野 綾子
薬物の心身への影響〜薬物乱用防止〜 ※同じテーマで異なる対象者・会場での講演が全2件有り	「未来の健康を守る集い」 讃井 真理
トリプルPセミナー	「優しさを伝えるケア」 (ユマニチュード) 本田 美和子
第14回市民健康セミナー「地域で支えるメンタルヘルス〜発達障害・うつ・認知症〜」	高齢者のいる家族の食事 (高齢者ソフト食) 「〜食と思い出〜 災害時への応用」 湯川 和子
国際健康コンシェルジュ養成講座	2025年に向けて 健康づくり街づくり
「大腸がんと子宮頸がん~病態・検診の重要性について~」	こどもの発達でおきていること
第12回市民公開フォーラム「がん診療を支える多職種の専門家たち」	医療・看護技術のいまむかし
市民公開講座 「がんと放射線治療」	一般不妊治療の重要性
市民公開講座「看護師を効果的に活用する視点から」	我国における不妊治療の現状
市民公開講座「知っておきたい肺がんの放射線治療」	不妊予防の最前線 不妊はいかにして克服すべきか?
第7回がんプロ講演会	「アタマとカラダの健康講座」
第8回がんプロ講演会	市民公開講座・QOLシンポジウム「がんサバイバーシップ 一生活の支障を改善するケアとリハビリテーション一」
笑いと健康	○○市保健医療財団との共催市民講座「いきいき健康ライフ!第2 弾」
高齢者の介護	○○市民公開講座「第2弾いきいき健康ライフ アタマとカラダの 健康講座」
Let's 脳探教室 4件	○○市民講座「膝の医学25年の歩み―超高齢社会への挑戦 元気 に歩き続けるために―今日からはじめる膝と腰の痛み対策―」
ドメスティック・バイオレンス被害女性や子どもへの支援を考える	いのちを輝かせる科学的メカニズムとケア実践を学ぶサイエンス 実践講座
運動器障害とQOL	キネシオロジー看護、介護実践講座
まちなかキャンパス	災害医療~災害に立ち向かう医療者たち~
アロマで癒す こころとからだ	さよなら!しょっぱい人生
食育について	ストレス対処の新たな発見
「最新の研究から家庭の保健・医療へ」―元気で長生きするため に―	わくわく測定2015
身近な生活環境と健康 原子力災害	健康でお困りなことはありませんか?
体の仕組みと健康について勉強しよう	今日からできる認知症予防
大切な人を亡くしたひとへのケア	認知症について知ろう
健康に暮らす4つの方法:きのこを食べて健康に	命を救うAED体験

表7-4 A. 一般市民向け公開講座	
健康に暮らす4つの方法:くちの健康と体の健康	/ <b>)合</b>     「出会い語り合い支え合い」当事者達の持つ力の無限の可能性
健康に暮らす4つの方法:ポジティブに生きるための心理学	介護の基本について
健康に暮らす4つの方法:快適感をはかる	住み慣れた地域で豊かに生きる~わが街の健康寿命を延ばすため
災害と健康:緊急災害援助隊の活動	に一人ひとりができること〜 認知症予防とコミュニケーションの基本
 災害と健康:災害後の心を守る	    「暮らしと健康」食べる力は生きる力
災害と健康:命を救う(AEDを使ってみよう、外傷の応急処置)	イライラしない自分になれる~怒りのマネジメント術~
 看護とエビデンス・なぜそれが必要か?	パートナーとの付き合い方~よりよい関係性のために~
リカバリーについて	<u> </u>
 精神科ピアサポートについて	生涯現役 胆道外科医
 マインドフルネスを学ぶ	老いを楽しく生きる~こころの処方箋~
○○ふらっとけんこう茶屋~こうやって防ごう!認知症~	[労働人口激減社会で生じているメンタルヘルス問題の現状〜職場でできることから〜] [職場におけるメンタルヘルス 自己コントロール獲得へのヒント]
○○ふらっとけんこう茶屋〜転ばナイスな足腰は口コモ予防から 〜	認知症対応セミナー〜はじめの一歩〜「認知症の初期症状を持つ 方々への対応のありかた〜介護者の体験している世界、眺めてい る風景に焦点を当てて〜」「社会資源の紹介、アロマを用いた手 浴・ハンドマッサージの紹介」
○○町役場職員研修会「介護予防について」	かぜと漢方
日本認知症予防学会主催第5回米子研修会講師「高齢者体験を通 じて」	こどもと漢方
認知症を学ぶーレビー小体型認知症とは	ジェネリックって何!お薬手帳は何のために?
楽しく学ぶ遺伝学講座	肝臓をいたわるために
地域で支えあおう!にこやかに年を重ねる超高齢社会	健康寿命は、口から
知の創造	今すぐできる身近なアロマでリフレッシュ!
大学院保健科学研究院公開講座「ようこそ!ヘルスサイエンスの 世界へ」	新型栄養失調!筋肉減少があなたを襲う
ストレスの意味と健康への影響―忍者のストレス対処法に想いを 馳せて	身も心も健やかに保つケア
うつとアロマテラピー	知っていますか?さまざまな分野で働く看護師
介護予防と防災対策のための健脚づくり〜ゴムバンドによるはつ らつ健脚運動〜	朝から活き活き健康づくり
リハビリテーション医療一自立について考える	東洋医学とは?~西洋医学で対応できない症状をどうしますか?
「がん」を知って「生きる」を学ぼう ~がんに負けない社会づくりを目指そう~	毎日コツコツ 骨の健康づくり
健康寿命の延伸を叶える"運動器の健康"と"口コモ予防"	健康管理のための専門職からの提言
がんとうまくつきあうために	日本人の健康寿命と牛乳・乳製品
歳を重ねても楽しくいきいきと生活するために!	いのちみつめて 計4回
すこやかに生きる「認知症に備える」	がんと緩和ケア
がん患者・家族を癒す緩和ケアの実際	こころ元気生活をめざして!
ミニトランポリン運動教室:第1期	スキンケア
ミニトランポリン運動教室:第2期	メタボに口コモに認知症 + α ~今そこにある危機~
市民ランナーのためのランニング科学講座	感染症

表7-4 A. 一般市民向け公開講座	
	内容
長寿社会を支える地域貢献シンポジウム 安心して暮らせる長寿 社会をめざして〜食と健康〜	生活習慣病の予防
バイオメカニクスって何? - 姿勢・動作の仕組みと健康 -	地域で元気に暮らすには
ヘルスリテラシーの向上を支援するための教育方法	当事者の語りから 〜みる認知症体験〜
メンタル・ヘルスリテラシー‐うつ・自殺予防に向けて‐	今日からできる転倒予防~いきいきと自分の足で歩き続けるため に~
健康生成論とヘルスリテラシー - 健康はいかにつくられるか -	自宅で簡単にできるアロマセラピー〜リラクゼーションから在宅 看護まで〜
周産期における口腔ケアの意義	がんになっても困らない暮らし方のヒント
親子関係と生活習慣	「ヨーロッパの歴史と文化―ナイチンゲールの看護が生まれた背 景を知る―」
生活習慣を変え、継続するために―いやな気分を変え、行動を変えるための認知行動療法の活用―	「冬に流行る感染症とその対策」
青森県のヘルスリテラシー向上に向けて - 保健・医療・福祉の地 域づくり -	いのちがいちばん輝く日
転ばぬ先の杖、あなたを支える杖	インターネットを利用して英語文献を読もう!
乳幼児の健康と安全を守るために - チャイルドシートに関する知識を高めましょう -	ひきこもった子どもとの程よい親子の距離について
公開フォーラム2015「子育てしやすい街づくり」「つながり合い・響き合うまちづくり」	ココカラファイン共催講座「こどもの病気」
子育て支援講座1:あかちゃんをお空にみ送った方の自助グループ に対するサポート活動	大規模震災害時における保護活動と保健師の役割
子育て支援講座2:祖父母の楽しい上手な孫育て教室	誕生学(2回)
子育て支援講座3:子育てどろっぷ・イン・さろん	生活習慣を改善し認知症を予防しよう
子育て支援講座4:おやこのたのしいじかん	認知症に向きあう ~タクティールケアを活用して~
死生観とケア公開研究会「ヨーロッパにおける看取りの諸相」	認知症の母を看取って
加齢に伴う口機能	医療の仕組みを知って病院とうまくつきあいましょう
人をケアすること人からケアされること	緩和ケアをご存知ですか?
地域で支える認知症ケア(地域包括ケア人事育成等支援事業)	多様なセクシャリティを認め合う社会をめざして
地域包括ケアシステム構築の意義と方向性(地域包括ケア人材育 成等支援事業)	シリーズ不妊を学ぶ〜私たちらしい選択に向けて〜
PM2.5と黄砂の健康への影響	シリーズ不妊を学ぶ〜妊娠力を高める食事について考えよう〜
食品の機能と安全性①「食品の機能、安全性の概要」	喫煙者のいないまちづくり
食品の機能と安全性②「機能性食品の概要」	子どもの心とからだを育む遊びの実際
食品の機能と安全性③「食品中の各種抗酸化物質と効用」	知ろう!防ごう!感染症
総合人間学 ①「大学生の食育(弁当の日から始まる自炊力 その II)」	「幸せに生きるための地域力」
総合人間学 ③「アニマルセラピー(人はなぜ動物に癒されるのか」	「考え方のクセ」を変えて楽しく生きよう!
総合人間学 ④「うれしい絵本の読み聞かせ 」	「自分と周りを幸せにするためのコミュニケーション術」
総合人間学② 「おんせん県大分の観光戦略」	「地域で子どもを守る・育てる」 ~事故防止・病気の予防~
総合人間学⑤ 「介護サービスのイノベーション〜介護しないおと なの学校の挑戦 」	「認知症の予防とケアの新知見」第1回 認知症の基本的な知識と 行動・心理症状を改善する「ユマニチュード」
総合人間学⑥ 「大学生のためのライフデザイン講座 知っておき たい(仕事)(結婚)(出産)のこと」	「認知症の予防とケアの新知見」第2回 認知症予防のカギとなる 「生活習慣の改善」
総合人間学⑦ 「心が通う言葉とコミュニケーション」	「認知症の予防とケアの新知見」第3回 認知症の人の不安を緩和 する「触れるケア」
総合人間学⑧ 「世界と闘うために」	「認知症の予防とケアの新知見」第4回 認知症の人の心の安定を 支える「回想法」と「音楽療法」
腸内環境を整えて気分スッキリ!健康増進!	こころの健康づくり「こころと体のバランスで, ポジティブエイ ジング!」
若年母を対象にした子どもの発育に応じた遊びに関する講義	介護予防「老いても元気 適度な運動 欠かさぬ健康チェック!」

表7-4 A. 一般市民向け公開講座	
	内容
第1回健康セミナー「血糖値ーあっ高いんだから〜糖尿病を知りま しょう〜」	東日本大震災での活動を振り返り、未来へ繋ぐ
心のつまずきを成長へと導くもの	毎日を豊かにするコミュニケーション
子育て情報今昔~子どものために大切なこと~	両親学級
糖尿病「患者力」を高める	夏に気をつけたい感染症とその予防
ショウジョウバエは電気羊の夢を見るか?	健やかな老後をめざして、体操で認知症を予防しましょう
横須賀の近代歴史に学ぶ	子どもの権利条約とコルチャック先生
介護・看護者の腰痛防止最前線	女子高生は女性の開花!お母さん、ちゃんと向き合っていますか?
子どもの貧困対策の最前線 〜共に走りながら考えていること〜	ちょっと役立つ看護の知恵
新たに注目される機能性食品とAMF栄養ケアステーションの取り組み	地域連携セミナー 〈出張講座〉
脳卒中片麻痺の回復を脳科学から考える	老いに備えるための5つの視点
何時までも元気でいきいきと暮らす術	「町の保健室」事業
いつまでも自分で歩こう一体も心も健康に一	高齢者の口コモティブシンドローム予防講座
クリスマスには、英語の物語を	ストップ!脳卒中
身近で受けられる高精度放射線治療-原理から重粒子線治療まで -	みんなで健やか育児〜妊娠期から子育て応援期まで〜
育児について考える!〜親と子どものQOLの観点から〜	「いただきグー」ではじめる食活
子ども・若者の育つ・学ぶ・働くを支えたい人集合!	ストレスとともにいきる
肺がん治療とQOL〜知ってほしい!分子標的薬に伴う皮膚障害〜	笑いと心身の健康法
"い感じ"の自分と健康づくり(初級コース)	笑いの健康増進効果について
おもしろぶつり実験	病院における良い看護とは
オンリーワ工作~ 自由に楽しくろう	「熟年夫婦の体調不良"夫源病"~こんな私にだれがした~」
ちょっと気になる子の理解支援	平成27年度○○市シニアオープンカレッジ テーマ「暮らしと健康」 計5回
英語学習への誘い	賢い介護保険の利用の仕方
介護者のため精神看学講座 介護者のため精神看学講座	正常な眠りと睡眠障害について ~あなたの眠りは良いねむりですか?~
看護について見・聞体験しよう	家庭での医薬品・衛生用品の整備
高校生のためプレマ・パ教室	軽度認知症障害
思春期・青年を考える	高齢期の食生活
私の赤ちゃんを抱っこする方法	手指の衛生
癒しされ元気に過ごそう!	食品添加物について
看護学部企画健康長寿体験型セミナー(〇〇町)あなたが紡いだ 誰かの笑顔	身体のコリを和らげるヨガ(呼吸とストレッチ)
地域型家庭的保育事業人材育成研修会(認定研修)	睡眠に関する話
平成27年度地域医療フォーラム「ここがえい。ここにおる。〜住 み慣れた家で、地域で生きる〜」	日本昔話によむ子どもの「いのち」
「地域での看取り」終末期を地域で過ごすということ	認知症の初期の対応 / ① 健康と食事 料理での脳トレ / ④ むせやすくなったら
がんと診断されたとき~がんになっても豊かに生きるために~	認知症の話
支えあって変えていく~自分らしく生き、そして旅立つために~	熱中症予防
がん治療後も自分らしく家で暮らすための緩和ケアを知ろう	脳が若返るトレーニング
·	·

表7-4 A. 一般市民向け公開講座	
	内容
更年期女性のための健康教室 アロマやエクササイズを活用して 心とからだをリフレッシュ	英国における患者・家族中心型ケア
高血圧教室 一病息災で元気に過ごすコツ	おじいちゃん、おばあちゃんのための孫育て講座
職場のメンタルヘルス	健康教育①
精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク 私たちは何 を経験したか	健康教育②
模擬患者とは何か?よい医療者育成に必要な力となる	骨を強くするコツ
元気は足から!足の諸問題と靴の選び方	在宅での髪のお手入れ
高齢出産後を健康に過ごすためのポイント	自分でできる防災への備えと対処
子育ての悩みを解決する発達学	心の健康
入院してボケないために~せん妄の予防と対策~	衰えない身体作りのコツ
「問う、聞く、確認する」	知っているようで知らない「血圧」の話
SCUこころの健康講座2015	倒れている人を発見!命を救う心肺蘇生法
おもちの季節の「のどつまりの予防、すばやい発見と対応	「孫育てを楽しむ一孫育て応援講座一」
すこやかに生ききるための知恵 1、2	災害復興支援における学生ボランティアの意義と役割
事前指示書の意味と書き方	知っておくと役に立つ介護のヒント ~床ずれ予防のお話~
冬場に多い高齢者の救急疾患とセルフトリアージ(緊急度自己判 定)	糖尿病予防について考えてみよう
老活(ろうかつ)ゼミナール~すこやかに暮らす知恵~	H町の高齢者を語る
その人らしい・その家族らしい在宅療養について考える	あなたの血圧大丈夫?
お隣さんは外国人	高齢者の役割―地域の高齢者の先生って? — 2回
シニア世代のセルフケア	手の清潔・足の清潔・口の中の清潔
上手な医療機関のかかり方	笑いの威力は素晴らしい ― 2回
地域包括ケアとは〜概論と過去の実施例〜	認知症への対応を考える― 2回
ターミナルケアについて考える	健康法としての太極拳
看取りについて考える	ウイルス感染症 一小児胃腸炎ウイルスを主に一
巨大災害に備える 一生き残り、生きのびて、次につなげるため に一	薬と上手につきあう
女性の健康 一女性ホルモンから腸内フローラへー	すこやか教室(6回)
「腹が立たない」ヒケツ〜見方が変わると"心"が変わる①〜	宮司郷づくり健康福祉会 健康測定会・結果説明会
「腹が立たない」ヒケツ〜見方が変わると"心"が変わる②〜	健康測定会(2回:○○市健康福祉まつり、大学祭)
ポジティブな"心"の大切さ~"心"と病気の深い関係~	見直そう!骨粗鬆症予防のための生活習慣
高齢者と共に生きる社会〜認知症や高齢者虐待に地域で取り組む ために〜	糖尿病予防教室、OB会
今こそ"夢"をもとう〜健康寿命を伸ばすポジティブな"心"〜	最期まで自分らしく生ききるために~模擬体験から考える命の終 い方~
子どものときから持とう ¦   健康生活への関心を	小学生を対象としたプロジェクトの背景と趣旨
笑顔で"心"をポジティブに~表情と"心"の深い関係	小野小学校骨密度測定会
ストレスー「スタンフォードのストレスを力に変える教科書」の 紹介ー	心と体にやさしい重粒子線がん治療~九州発の重粒子線がん治療 サガハイマット~
見て学ぼう皮膚の病気~どういう時に皮膚科を受診したらいいの か~	成長期の骨の発育と日常の健康管理
歯を「なおす」から「まもる」へ	脱水予防

表7-4 A. 一般市民向け公開講座	
記述	内容
女性のダイエットと健康	母子健康測定結果説明
人と人とのつながりがみんなを元気に	あなたにとって、睡眠とは
人体の微生物ワールド:超生命体としてのヒト	動く喜び、動ける幸せ ~身体活動、運動と健康~
認知症予防につながる脳トレ芳	元気が出る患者学
薬剤師が本音で語る薬の功罪	認知症の予防と診断
赤ちゃんのお世話を親子で体験してみよう。	賢い患者になるための地域支援、専門職と住民の立場から
認知症予防のための運動のすすめ	キズの治癒を促すかんりについて
災害に対する日頃からの備え	セルフメディケーションとしてのアロマセラピー
自信と能力のある子どもを育てる	家族みんなで手洗い~バイキンよ、さようなら~
前向き子育ての力	災害への備えともしもの遭遇を想定して〜避難や避難生活を一緒 に考えてみませんか〜
タッピングタッチでこころと体をリフレッシュ	自然災害の被害の実際
もっと知りたい認知症 ~認知症本人と家族介護者の語り~	「迷ってばかりいるあなたがうまくいく法則」
子どもからおとなまでの眠りと健康	BLS講習
社会的活動としての話すこと・聴くこと	地域包括ケア推進シンポジウム~住み慣れた地域で暮らしてゆく ために
大切な人のこころのSOS見逃していませんか	身近な人が認知症になったら~認知症の介護・看護を考えよう~
第1回公開講座 歩き方を変えるだけで10歳若返る	最近の認知症と認知症予防についてのお話
第2回公開講座 認知症~我が街で暮らしていくために~	「超高齢社会における看護・ケアの役割を考える」、「病院・施 設と在宅の連携をどう進める」
第3回公開講座 育成力〜メダリストをつくる心と身体のマネジ メント〜	「発達障害児(者)への支援」
日常生活の中で運動を	「熟年世代の健康生活」-健やか、スタディー、幸手(3S) 身につけよう生きる知恵-
認知症について考える	高次脳機能障害患者の支援〜地域における支援〜
薬に関する四方山話	知っておきたい!災害時、私自身にできること!
予防医療に貢献する中高年齢双子の研究 ―双子の研究からみえる長生きの秘訣―	認知症サポーター養成講座 困っている人に声をかけてみよう!
かっこよく老い、かっこよく終ろう	「笑いの力で健康増進」
支え合う地域社会一あなたにもできる備えと応急手当一	LGBTの子どもたちの思春期 ~学校教育や地域での理解と支援~
小さな命の意味を考える~大震災を体験して~	尊厳ある生を考える
仙台の緩和ケア〜がんへの備え〜	認知症ケアにおける補完寮法
いきいき健幸体操	乳がんの早期発見と治療について
おはなしとおんがくの森	ナイチンゲールの看護思想
おもちゃ広場	地域包括ケアを進めるために
ジュニアアスリートのための食事	臨床検査と看護
健幸講演会(13回)	胃がんの手術と看護
子どもの育ちと家族の絆	関節リウマチと看護
若山牧水の魅力	2020年 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要について
神と自然の古代学	この地で自分らしく生きる〜地域包括ケアと自助・互助・共助・ 公助〜
世界の神話と日向神話	膠原病講演会~くすりと日常生活について~

表7-4 A. 一般市民向け公開講座	
	内容
精神障がい者の理解促進	コツコツ健康づくり
日向と大和	脳とこことのサイエンス
乳幼児期から育む折れない心	各教員が、学外で実施している公開講座は、多数
健康のカギは"口"にあり~見直したい毎日の口腔ケア~	ヨコハマ大学まつり「すてきな看護師になるコツ」
子どもに起こりやすい症状と家庭でできる対処法	看護の日「看護の日、それは自分の健康を考える日」
性を健康に生きるための性教育	看護学部公開講座「ホリスティックな癒しのケア」
認知症の人と共に歩む地域社会	「価値の発見」を実現する教育~3 つのポリシーの理解と共有を 基盤として~
できるだけ長く自立した日常生活を送るために	「深い学び」を実現する教育実践の構築~off-campusを中心に~
今日からできる~脳の活性化と心のリラックス~	「深い学び」を実現する教育実践の構築~on-campusを中心に~
子どもの事故予防と応急手当のウソ・ホント	生活習慣病の予防一糖尿病の予防を含めて一
自信をもって子育てしよう! ~子どもと家族の生活リズム~	メンタルヘルスについて(2件とも)
生活を豊かにするアロマセラピー	障がいのある子ども・医療を必要とする子どもの自然災害への備え
よりよく生きるために死ぬために	データから見る-互いに息づかいを感じるまちでの暮らしと健康-
健康講座	病者と共に生きる-病者と家族の心の動きとケア-
遺品整理の最前線	ストレスと依存症
生き生き健康づくり 認知症、楽しく学んで、元気に暮らそう	もしも、家族が、私が認知症になったら!
「考えよう!生活と健康」	介護の生理学一介護の力でADL(日常生活動作)を回復させよう! 生理学に基づくケアの実践的知識ー
「認知症のひと」と共生する地域へ	気になる血糖値と病気のふか~い関係
まち歩きがまちを変える	心を病む人の理解と支援について考える
外国人増加に伴う国際化に向けて	生活習慣の改善でがんを防ぐ パート4
災害復興支援活動を通じて考える地域創生のあり方	赤ちゃんを産む力、お母さんが生きる力、母子を守る社会の力
子ども・親・地域が育つ子育て支援	男女共同参画社会のウイメンズヘルス
子どもの病気の予防	住み慣れた地域で健やかに生きるために(全2回)
時と人をつなぐ	アミノインデックス技術の応用
土地に根づく生き方	健康寿命の延伸をめざして
思春期がやってきた	家庭内における子どもの事故防止ーイザという時の対応ー
相手の立場になって考える	子どもの声に耳を傾ける時間 -子どもの世界観を分かち合うために-
看護の魅力一誕生から最後を迎えるまで一	人生の第4楽章と医療
感情労働と看護一白衣の天使像の矛盾と葛藤一	中高年からの健康づくり
身近な人が死にたいといわれたら	医療系大学における専門職関連教育
誰にでもできるリラクゼーション技法	最近の子育て事情~パパと祖父母の子育て術~ (2回)
自分を知って乗り切る、人生の危機 思春期編	目指せ!マイナス10歳 (2回)
ゆんたくしながらヘルスアップ	"かしこい"患者とその家族になるために〜医療・介護が必要になった時に知っておくといい話〜
アロマで心と身体のリフレッシュ Part. 10	ストレス社会とリラクゼーション 一心身の健康を保つためのリラクゼーション技法一
いきいき生活へのご提案ー骨粗しょう症と腰痛予防のお話	医療者との上手な付き合い方 一自分が納得する医療を受けるために一

在空かは象型的けてくれるものと人々~これから在宅介護を始める	表7-4 A. 一般市民向け公開講座	記述内容
	4. — 4. 18. <del>— 7. 1</del> . 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	
びとのために~		ご注意一
大めに 一食夢と日常生活。  実いヨガでみんないさいき 智慧が到レー講座 長生きするには含が大切 一年をとったら 智慧が到レー講座 長生きするには含が大切 一年をとったら 記ばない! - 智慧学別リレー講座 日本人、2人に1人が"がん"つてホントラカ法―		始める 看護学部リレー講座 暑さ・寒さはからだに悪い?
集活を習慣病シリーズ「がん」	子そだて・孫そだて 今むかし	
生活音順病シリーズ「心臓病」	- 笑いヨガでみんないきいき	
ト?   大権と笑い〜人権を守り笑顔で学ぶ看護の道〜	生活習慣病シリーズ「がん」	
完整パパ・ママ&赤ちゃんに学ぼう! 初めての妊娠・出産・子育で、※関不足の為。『C・その他』にも記載 地域の健康生活支援一成人病予防を中心に 機振患者(S P)養成講産 がんサバイバーへの支援 月経と女性の健康 現期まで口から食べるために〜お口の働きをチェックしてみましょう〜 身近な人がうつ病になったら 認知症にならないための脳の体操 健康長寿の基盤、高齢者における体力を考える 今、問われる家族力 網覧にならないための脳の体操 細胞からヒトへ (組織学入門) 新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年 切れ目ない包括的な支援 切れアリーのまちづくり よっとがよる血管の老化一聞いて納得!!血管若返り生活習慣のす・す・め!ー オルガンレクチャー ス会話 自分で伸ばそう。健康寿命 ペー10年後の自分を見つめて 認知症予防 によいるにとものかたわらに」 英会話 自分で伸ばそう。健康寿命 ペー10年後の自分を見つめて 認知症予防 によいる「治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治療・治	生活習慣病シリーズ「心臓病」	
育て ※欄不足の為、『C. その他』にも記載 地域の健康生活支援一成人病予防を中心に 地域の健康生活支援一成人病予防を中心に 機擬患者 (SP) 養成講座 がんサバイパーへの支援 月経と女性の健康 月経と女性の健康 日報を予が変と思ったら 最期まで口から食べるために〜お口の働きをチェックしてみましょう〜 認知症にならないための脳の体操 健康長寿の基盤、高齢者における体力を考える 会、問われる家族力 細胞からヒトへ (組織学入門) 新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年 可ス27年度防災セミナー 切れ目ない包括的な支援 「夢をむきらめない 一神風ジャンパーの挑戦ー」 しのびよる血管の老化一聞いて納得!!血管若返り生活習慣の す・す・め!ー オルガンレクチャー 大会話 自分で伸ばそう 健康寿命 へ10年後の自分を見つめて 認知症予防 によからでは表しまった。 これからの健康生活どう変わる? 常神疾患を抱える人の在宅支援 倉吉を創る〜地域では関係に表しましまった。 電談学部・看護学部、看護学研究科開設記念講演なパネルディスカッション 「3666 者護分子理論へ と信かに対して対した。 「要を必ずら、者に対して対して、イン・リカー・ とのはまる人の在宅支援 倉吉を創る〜地域でくりは人づくりから〜 看護学部・看護学研究科開設記念講演なパネルディスカッション 「3666 看護分子理論へ 健康を維持・増進するための看護の機能	生活習慣病シリーズ「慢性腎臓病」	人権と笑い〜人権を守り笑顔で学ぶ看護の道〜
模擬患者(SP)養成講座	先輩パパ・ママ&赤ちゃんに学ぼう! 初めての妊娠・出 育て ※欄不足の為、『C.その他』にも記載	産・子 看護学部看護学科開設の意義と目的
一般教養講座(面接技術・領聴) 月経と女性の健康	病院ボランティアの心を伝えたい	地域の健康生活支援一成人病予防を中心に
母が表します。 最期まで口から食べるために〜お口の働きをチェックしてみましょう〜 認知症けボーター養成講座  認知症にならないための脳の体操  健康長寿の基盤、高齢者における体力を考える  認知症への理解を深めるには 病気にならないための講座  神胞からヒトへ(組織学入門) アロマのハンドマッサージでリラックス  新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年  可れ目ない包括的な支援  グリーフケア ー家族を亡くした悲しみケアー  グリーフケア ー家族を亡くした悲しみケアー  バリアフリーのまちづくり  知っておきたい肩間節と五十肩  オルガンレクチャー  10看護講演会「いつもこどものかたわらに」 自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて  ボビビクスでみんな一緒にリフレッシュ!  精神疾患を抱える人の在宅支援  常吉を創る~地域づくりは人づくりから〜  看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション「380・看護プチで地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ、それの不養に関連を表え、自動して、またののでは、これからの健康を支え高める」一知識から行動へ、それの企業を維持・増進するための看護の機能	模擬患者(SP)養成講座	がんサバイバーへの支援
しょう~	一般教養講座(面接技術・傾聴)	月経と女性の健康
認知症にならないための脳の体操 健康長寿の基盤、高齢者における体力を考える 認知症への理解を深めるには	子どもの様子が変と思ったら	
認知症への理解を深めるには 今、問われる家族力 細胞からヒトへ (組織学入門) 新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年 で成27年度防災セミナー 切れ目ない包括的な支援 「夢をあきらめない -神風ジャンパーの挑戦ー」 しのびよる血管の老化一聞いて納得!!血管若返り生活習慣の す・す・め!ー オルガンレクチャー 10看護講演会「いつもこどものかたわらに」 英会話 自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて 認知症予防 これからの健康生活どう変わる? 常神疾患を抱える人の在宅支援 倉吉を創る~地域づくりは人づくりから~ 看護学部・看護学部・看護学部・看護学部・看護学部・看護演るパネルディスカッション「360° 看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ 健康を維持・増進するための看護の機能	認知症サポーター養成講座	身近な人がうつ病になったら
病気にならないための講座 細胞からヒトへ(組織学入門) アロマのハンドマッサージでリラックス 新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年 平成27年度防災セミナー 切れ目ない包括的な支援 「夢をあきらめない -神風ジャンパーの挑戦-」 レのびよる血管の老化一聞いて納得!! 血管若返り生活習慣の す・す・め! ー オルガンレクチャー 知っておきたい肩間節と五十肩 オルガンレクチャー に看護講演会「いつもこどものかたわらに」 英会話 自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて 認知症予防 ベビービクスでみんな一緒にリフレッシュ! これからの健康生活どう変わる? 常神疾患を抱える人の在宅支援 倉吉を創る〜地域づくりは人づくりから〜 看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション 「380°看護力で地域の健康を支え高める」 一知識から行動へ、そして実践から理論へ 健康を維持・増進するための看護の機能	認知症にならないための脳の体操	健康長寿の基盤、高齢者における体力を考える
アロマのハンドマッサージでリラックス 新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年  平成27年度防災セミナー 切れ目ない包括的な支援  グリーフケア 一家族を亡くした悲しみケアー 「夢をあきらめない -神風ジャンパーの挑戦-」 レのびよる血管の老化一聞いて納得!!血管若返り生活習慣の す・す・め!一  知っておきたい肩間節と五十肩 オルガンレクチャー  10看護講演会「いつもこどものかたわらに」 英会話 自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて 認知症予防  ベビービクスでみんな一緒にリフレッシュ! これからの健康生活どう変わる?  精神疾患を抱える人の在宅支援 倉吉を創る〜地域づくりは人づくりから〜  看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション 「360°看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ  介護予防で心も地域も生き活き一死ぬまで寝たきりにならない! 健康を維持・増進するための看護の機能	認知症への理解を深めるには	今、問われる家族力
平成27年度防災セミナー 切れ目ない包括的な支援 グリーフケア 一家族を亡くした悲しみケアー 「夢をあきらめない -神風ジャンパーの挑戦-」 パリアフリーのまちづくり しのびよる血管の老化一聞いて納得!!血管若返り生活習慣の す・す・め!ー オルガンレクチャー 知っておきたい肩間節と五十肩 オルガンレクチャー 10看護講演会「いつもこどものかたわらに」 英会話 自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて 認知症予防 ベビービクスでみんな一緒にリフレッシュ! これからの健康生活どう変わる? 精神疾患を抱える人の在宅支援 倉吉を創る〜地域づくりは人づくりから〜 看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション 「360°看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ 介護予防で心も地域も生き活き一死ぬまで寝たきりにならない! 健康を維持・増進するための看護の機能	病気にならないための講座	細胞からヒトへ(組織学入門)
グリーフケア 一家族を亡くした悲しみケアー 「夢をあきらめない -神風ジャンパーの挑戦-」 パリアフリーのまちづくり しのびよる血管の老化一聞いて納得!! 血管若返り生活習慣の す・す・め! ー オルガンレクチャー 知っておきたい肩間節と五十肩	アロマのハンドマッサージでリラックス	新しい家族を迎える人々と向かい合った助産師の40年
バリアフリーのまちづくり はのびよる血管の老化一聞いて納得!! 血管若返り生活習慣のす・す・め! ー オルガンレクチャー 知っておきたい肩間節と五十肩 オルガンレクチャー 英会話 自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて 認知症予防 ごれからの健康生活どう変わる? されからの健康生活どう変わる? 常神疾患を抱える人の在宅支援 倉吉を創る~地域づくりは人づくりから~ 看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション「360°看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ 健康を維持・増進するための看護の機能	平成27年度防災セミナー	切れ目ない包括的な支援
オ・す・め!一知っておきたい肩間節と五十肩 オルガンレクチャー 大会話 英会話 神術を表を抱える人の在宅支援 倉吉を創る〜地域づくりは人づくりから〜 看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション 「360°看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ 健康を維持・増進するための看護の機能	グリーフケア 一家族を亡くした悲しみケアー	「夢をあきらめない -神風ジャンパーの挑戦-」
Discrete	バリアフリーのまちづくり	
自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて 認知症予防 ベビービクスでみんな一緒にリフレッシュ! これからの健康生活どう変わる? 精神疾患を抱える人の在宅支援 倉吉を創る~地域づくりは人づくりから~ 看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション 「360° 看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ	知っておきたい肩間節と五十肩	オルガンレクチャー
ベビービクスでみんな一緒にリフレッシュ! これからの健康生活どう変わる? 精神疾患を抱える人の在宅支援	IC看護講演会「いつもこどものかたわらに」	英会話
精神疾患を抱える人の在宅支援	自分で伸ばそう"健康寿命" ~10年後の自分を見つめて	認知症予防
看護学部・看護学研究科開設記念講演&パネルディスカッション 地域連携フォーラム「地域の力をつなぐ」 「360°看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そ して実践から理論へ 介護予防で心も地域も生き活き一死ぬまで寝たきりにならない! 健康を維持・増進するための看護の機能	ベビービクスでみんな一緒にリフレッシュ!	これからの健康生活どう変わる?
地域連携フォーラム「地域の力をつなぐ」 「360°看護力で地域の健康を支え高める」一知識から行動へ、そして実践から理論へ 介護予防で心も地域も生き活き一死ぬまで寝たきりにならない! 健康を維持・増進するための看護の機能	精神疾患を抱える人の在宅支援	倉吉を創る〜地域づくりは人づくりから〜
	地域連携フォーラム「地域の力をつなぐ」	「360°看護力で地域の健康を支え高める」―知識から行動へ、そして実践から理論へ
·	介護予防で心も地域も生き活き一死ぬまで寝たきりになら	ない! 健康を維持・増進するための看護の機能

表7-4 B. 看護職者	等の専門職向け講座
記述	内容
NICUに入院している新生児の痛みケアガイドライン講習会	養護教諭実践研究会
PDCAに基づく保健事業の評価~担当事業の評価を可視化するために~	臨床家のための看護研究セミナー
がん看護ジェネラリスト研修	「気持ち良い体験」をしよう?呼吸法・マッサージによる医療者のセルフケアのススメ〜
育ちあう現任教育 ※同じテーマで異なる対象者・会場での講演 が全4件有り	シュミレーション教育の先進的施設の紹介-アメリカにおける視察 報告:BarrowとUCLA
家族看護について	性暴力被害者支援に関わる看護職の養成講座
緩和ケア看護師育成プログラム	訪問看護スキルアップ講座 2015
教育担当者研修Ⅰ	プレパレーションに取り組んで一子どもたちのためにできること—
教育担当者研修Ⅲ	看護研究スキルアップ研修
実習指導者研修Ⅰ	助産師エンカレッジ支援研修
認定看護師による看護フェア「看護体験と看護相談」	認定看護師教育課程(がん化学療法看護分野)「がん化学療法レ ジメンの特徴と看護」
保健師教育と現任教育について ※同じテーマで異なる対象者・ 会場での講演が全3件有り	認定看護師教育課程(がん化学療法看護分野)「主な疾患のがん 化学療法」
薬物の心身への影響~薬物乱用防止~	看護研究セミナー「看護研究いろはの(い)」
えひめ排泄ケア研究会 事例検討会(排泄障害のアセスメントと事 例検討 東·中·南予)	看護研究セミナー「看護研究いろはの(は)」
えひめ排泄ケア研究会 事例発表(排泄ケアに活かせるスキンケア のコツ 東·中·南予)	看護研究セミナー「看護研究いろはの(ろ)」
えひめ排泄ケア研究会 第13回学術講演会「二次障害を作らない 姿勢管理と移動介助〜快適な排泄ケアのためにトータルサポート を考える〜」	看護実践セミナー「チーム医療の質を向上させるノンテクニカル スキル」
在宅療養を見据えた看護師育成研修基調講演「看護をつなぐ退院 支援·在宅療養支援の実際」	看護実践セミナー「患者急変対応:何か変、と思ったとき」
第11回臨地実習協議会講演会「経験型実習指導についてー理論と 実践及び評価ー」	看護実践セミナー「臨床に役立つ呼吸モニターの見方・読み方」
小児看護エキスパート養成講座1	地域包括ケアシステムの構築〜医療看護介護福祉の連携から地域 づくりへ〜
小児看護エキスパート養成講座 1	エンドオブライフケアに関わる看護師のための研修会
小児看護エキスパート養成講座3	さあ始めよう看護研究一研究計画書の書き方まで一
小児看護エキスパート養成講座4	わかりやすいプレゼンテーションの仕方
小児看護エキスパート養成講座5	患者の安全を守るTeam STEPPSの導入
小児看護エキスパート養成講座6	看護研究のため統計処理(統計専門ソフト SPSSの紹介 の紹介)
小児看護エキスパート養成講座7	看護研究のテーマを見つけよう
○○県看護協会教育研修	気管吸引技術とそのエビデンス
看護管理者ファーストレベル研修会	呼吸のフイジカルアセスメント
○○大学教員研修会	誤嚥を防ぐポジショニングと食事と口腔ケア
○○大学教員FD研修	終末期の看取りについて
助産学コースリカレント教育(毎月開催)	排泄ケアの援助技術一失禁患者さんのスキンケアー
宣誓式特別講演	文献検索の基本一看護研究の論文を探す・入手する一
○○中央病院新人看護職員臨床研修	災害看護の教え方

表7-4 B. 看護職者	等の専門職向け講座
記述	内容
○○市医師会看護専門学校実習研修会	女性と健康について新たな視点で考える
在宅療養高齢者の支援方法・在宅療養支援のための多様な社会資 源と役割	テキストマイニングの特徴と未来
'価値観・生活・つながり'を大切にするヘルスカウンセリング ABC	フィジカルアセスメント・臨床推論の進め方
リハビリテーションを目指すケア"最期までその人らしく"を支 える	医療施設における経営戦略
看護研究の基礎及びデータ解析入門	医療施設における財務管理
筋萎縮性側索硬化症(ALS)療養者の在宅支援	人を対象とした研究になぜ倫理審査が必要なのか
中堅助産師のためのステップアップ研修	専門看護師って何ですかー慢性疾患看護専門看護師の活動からー
1型糖尿病看護ケア研修会	健康教育ヘルスプロモーションのナラティブな展開
からだMapの作成による事例検討	ICFの視点を活かしたケアプランづくりのコツ
院内研修・教育の企画者トーク	はじめての臨地実習指導
研究倫理について~看護研究に倫理が必要なわけ~	患者さんの思いに寄り添えるコミュニケーションをめざして
事例のまとめ方 実践編	個人・家族を支える保健師の役割とは
事例研究のすすめ方 研究編	高齢者虐待予防(基礎編)
相互作用から糖尿病療養指導を考える	職場のメンタルヘルス
糖尿病ピアカウンセリングに向けた研修会	心肺蘇生をマスターしょう!
糖尿病教室ができる人材育成のための研修会	対象者にやさしい!持ち上げない移乗介助
糖尿病透析予防支援 能登	知っているようで知らない感染看護
糖尿病透析予防支援一事例検討の進め方 加賀	新任看護職員の新任教育担当者育成フォローアップ講座(全3 回)
慢性浮腫国際フォーラム2016 ③ 災害時にも役立つ平常時からの連携と備えをどのように進めていくか	新任看護職員の新任教育担当者育成講座(全3回)
クリティカルケア看護に必要な麻酔管理の基礎知識	ひむかヘルスリサーチセミナー(10回)
クリティカルケア領域に活かす認知症患者の看護	リーダー保健師研修(5回)
クリティカルケア領域に必要な生体反応の基礎知識	医療機関におけるMRSA対策
画像診断とIVRの基礎知識	感染管理スキルアップ研修会(7回)
第1回〇〇県看護技術教育交流会「深い学びにつながる教育とは」	看護力再開発講習会(5テーマ)
第2回○○県看護技術教育交流会「模擬患者の看護技術教育」	助産師のネットワーク作りとキャリアアップ (5回)
がん患者の倫理的課題	シミュレーション教育方法の検討
チーム医療におけるがん看護・専門看護師の役割	災害看護ートリアージー
最後までその人らしさを支えるケア	ヒューマンケア・チームアプローチ
自己衛生管理が難しい認知症や精神疾患患者の感染対策〜精神科 での感染対策からの情報発信〜	教員免許状更新講習
実習指導教員のための講演会	助産診断実践力フォローアップ
乳がん手術療法における看護の役割	認知症ケアのスキルアップ~やさしい介護実践を目指して~

表7-4 B. 看護職者	等の専門職向け講座
記述	内容
群馬一丸で暮らしを支えるための地域づくり	発達障害の理解と具体的な支援
群馬一丸で暮らしを支えるための地域づくり Part 2	緩和ケアに関する研修:ELNEC-J研修:3回
産後フォーラム 計3回	緩和ケアに関する研修:リンパのむくみケア4回
小児スキルアップセミナー 計10回	緩和ケアに関する研修:緩和ケアセミナー6回
退院支援セミナー	統計学講座 6回
AYA世代のがん患者についてともに学ぼう	認知症看護に関する研修:認知症看護アセスメントと対応力向上 研修 4回
ライフサイクルの視点からがん患者の暮らしを支えるケアについ て語り合おう	認知症看護に関する研修:認知症看護の理念と実践研修 2回
組織のストレスとコンサルテーション 感情労働の時代を生き抜 くために	認定看護師教育課程修了生フォローアップ研修:緩和ケア分野の 企画 3回
がん看護	認定看護師教育課程修了生フォローアップ研修:認知症看護分野 企画 4回
医療倫理学	認定看護師教育課程特別講演 1回
看護管理	認定看護師教育課程特別講演:2回
看護教育学	あなたの生活を支える訪問看護~訪問看護の現場はこんなにいろ いろ
健康医療福祉システム論	月経に伴う症状に対するセルフケアについて
災害と在宅医療	摂食嚥下障害の理解とケア
在宅看護・介護提供者への支援	キネステティク
在宅療養支援とチーム医療	保育園に働く看護者と保育保健
退院支援	精神科看護と倫理
地域包括ケア時代における在宅療養支援の重要性と展望〜この町 で生ききるを支える	痰吸引等研修
難病ケア	シミュレーション研修1:フィジカルアセスメント
認知症患者のケア	シミュレーション研修2:静脈注射
看護とエビデンス・なぜそれが必要か?	シミュレーション研修3:超音波診断技術
これからの看護教育のあり方を考える Clinical Nurse Leader	シミュレーション研修5:看護職のための新生児蘇生法「専門 コース(アップデート講習コース)」
運動における循環反応・血管応答	シミュレーション研修5:看護職のための新生児蘇生法「専門 コース」
看護師・助産師のための周産期医療における超音波診断活用法	看護研究支援講座1
質的分析(特に内容分析)の概要(位置づけ、種類、信頼性・妥 当性)	看護研究支援講座 2
質的分析の実際の手順(コード化、ラベル化)	臨床看護研究計画書立案研修:Aコース
若年の終末期患者に動揺する夫と実母へのかかわり	臨床看護研究計画書立案研修:Bコース
小児がんの子どもをもつ母とのかかわり 一自宅で過ごすというこ とへの意思決定支援ー	臨床看護研究指導者研修
精神科病棟における行動制限最小化について	看護研究方法論講座
双極性障害をもつ女性の周産期における家族看護	スペシャリストを目指す看護師のためのセミナー「クリニカルナーススペシャリスト/ナースプラクティショナーの米国における教育と活動について」
難病の診断を受けた思春期患児への看護介入―児の療養生活を支 えるコミュニケーションのあり方とは―	平成27年度看護研究支援セミナー「初心者のための看護研究」

表7-4 B. 看護職者	等の専門職向け講座
記述	内容
老人福祉施設における「自然な最期」に向けた意思決定支援―家 族が思う自然な最期とは―	平成27年度専門看護師・認定看護師キャリア支援講習会
JNCAST講習会	平成27年度中堅看護師セミナー「よりよい新人教育を考えよう」
Patricia M. Crittenden 博士講師 「アタッチメントと精神病 理」講習会	平成27年度臨床看護セミナー「看護のためのフィジカルアセスメント実践研修」
Psychological First Aid セミナー	平成27年度臨床倫理学習会「講義と事例検討で看護倫理を学ぼう」
ファミリーパートナーシップモデル(FPM)によるPromotional Guide育児支援講習会	大学FD「アクティブラーニングの実際」(仮題)
高齢者のEOLケア	大学院FD「看護研究における質的研究(2)解釈的現象学における アプローチ」
司法精神医学の評価方法? 司法精神鑑定と医療観察法鑑定	看護研究セミナー
子供と親への面接?ペアレントトレーニング	医療制度の動向と看護職に求められる役割と能力
子供の権利から見た国際支援と精神保健	救急搬送の現場から看護職に望むこと
自殺予防に関する研究と支援	養護教諭の語りをつなぐ養護塾
触法精神障害者の行動予測と治療反応性の予測	看護異文化交流・社会連携推進センター 2015年リカレント講座 高めよう実践力! PART 2
日本とスウェーデンの看護と教育	看護国際フォーラム2015 看護師における魅力的な職場で"人によりそう看護"の実践
認知行動療法の基礎と実際	大学病院の緩和ケアを考える会総会 『急性期病院の緩和ケア 〜患者本位の医療を提供するために〜』
②「認知症予防~アロマについて」	保健学研究科特別講演会 『コンサルテーション理論とその実 践』
②「データのまとめ方」	大学院セミナーシリーズ(特別講義)テーマ: 「実践への看護理論の活用」
③「論文の構造~抄録を書いてみよう」	優しさを伝えるケア(ユマニチュード) 本田 美和子
④「研究発表について」	QOL·がん看護学教育国際セミナー 「リンパ浮腫管理 ―世 界的な研究者の視点から―」
消防士を対象として介護技術研修	がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン がん看護学教育国際セミナー「米国における高度実践看護師によるケアの質改善 一安全ケアに焦点をあてて一」
真誠会グループ教育講演会 ①「研究計画書の書き方」	教育学の知識とスキルを看護に活かそう -これからの参加型教育について考える-
○○県委託事業 看護教育の質の向上研修会	認定看護管理者教育課程「サードレベル」
○○大学医学部附属病院医療安全研修会「高齢者体験研修会」	認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」
○○病院看護部教育研修会 ①「認知症予防~音楽療法」	認定看護管理者教育課程「ファーストレベル」
これからの医療・介護連携と訪問看護について	認定看護師教育課程「感染管理」
思春期ピアカウンセラー養成講座	保健師助産師看護師実習指導者講習会
質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアのための緩和ケア - ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム in新潟大学 -	現場で活かせる看護師のためのフィジカルアセスメント
タクティールケアを用いた急性期病院における認知症ケア	看護診断 得訓講座(平成27年10月17日~10月18日)
パーソン・センタード・ケア研修会	看護診断 得訓講座(平成27年5月23日~5月24日)
フィリピンで助産師として母子の命に関わる	第13回看護診断セミナー
看護職のための睡眠保険指導セミナー	第14回看護診断セミナー
人間理解とストレスをコントロールするための理論と方法一対象 者も自分もらくに生きるための方法論(全4回)	糖尿病患者のフットケアのアセスメントと実際(第1回フットケア 研修会)

表7-4 B. 看護職者	等の専門職向け講座
記述	内容
看護診断セミナー 初級・中級・上級	糖尿病患者のフットケアのアセスメントと実際、予防のための フットケア援助方法①(第2回フットケア研修会)
青森継続看護研究会「地域包括ケアを考えよう!!」	糖尿病患者へのフットケアの実際、予防のためのフットケア援助 方法①
病院からつなぐ地域包括ケア看護実践者育成プログラム	「対人援助の現場で活かすリーダーシップを磨こう 〜コーチ型 リーダーシップを身につけよう!〜」
ALSの最近の話題「ALSのコミュニケーション支援から」	2015年度 看護英語文献購読基礎講座
リーダーシップ研修	講演:「発達障がい児者の家族支援の効果と課題」 シンポジウム:「家族会活動の過去・現在・未来」
難病患者へのコミュニケーション支援と地域連携	クリティカルケアシミュレーション教育プログラム
看護理論を使って看護を振り返る	看護管理塾
著しい浮腫を来たした人への対応	看護職のための鍼灸入門~鍼灸って、なんだろう~
外来看護の役割	高齢者の薬物動態と認知症機能評価を看護に活かす
がんサバイバーシップ	在宅看護コンサルテーション
家族看護	新卒訪問看護師教育プログラム〈きらきら訪問ナースの会〉
インシデントとクレームに学ぶ医療安全	精神看護事例検討会
エビデンスを紐解く 一看護師の裁量性一	日野原重明先生指導下 ナースのための高級診療術
円滑な人間関係を築く発達障害の理解と対応	認定看護管理者ファーストレベルプログラム
看護師が実践をナラディヴすることの意味 〜実践知から臨床知 へ〜	認定看護師教育課程~認知症看護コース~
看護師が知っておきたい薬物相互作用	認定看護師教育課程~不妊症看護コース~
看護実践にいかす事例研究のすすめ方	認定看護師教育課程~訪問看護コース~
看護実践に活かす対人関係論	臨床現場で役立つ質的研究入門~データ収集から分析まで~
がん患者さんの在宅での看取り	退院支援を考えるシンポジウム
家族支援方法について事例検討	看護師の行う呼吸理学療法一安楽な呼吸を目指して一 (2回実施)
介護保険改正について	終末期ケアにおける患者・家族の意思決定支援
最新のがん緩和ケアについて	Advanced practice Nursing , Nursing Research , and Quality Improvement
在宅がん療養者へのケアの実際	チーム医療の時代に必要な人間関係マネジメント
支援者のためのペアレントトレーニング	「研究における統計解析のキーポイント」
施設での看取りについて 一介護職との連携-	看取りの授業を考える 一看取りの体験者として学生に何を伝えるか—
退院困難事例の検討	看護の日記念講演会「がん看護から学ぶ看護の姿勢」
地域包括ケア時代の看護職の役割	看護学科設立10周年記念講演会「未来の看護職に期待するもの」
独居高齢者の在宅療養を支える	実習指導者研修会「効果的な臨地実習の指導方法」
訪問リハビリテーションの現状と課題	実習指導者研修会「薬物依存症と家族」
ELNEC-J 研修会 (M1~M10)	母性領域研修セミナー 映画「ずっといっしょ」上映会
ミニトランポリン・ワークショップ	ナースの再就職支援講演会「セカンドライフの就労」
公衆衛生とストレスチェック	認定看護師フォローアップ研修「褥瘡ケアを拒否する終末期患者 と妻への関わりについて」「褥瘡ケアとポジショニング」

表7-4 B. 看護職者	等の専門職向け講座
記述	内容
新人養護教諭のための実務サポート講習	シームレスな人材育成をデザインする(PartⅢ) 〜現場で教育 に関わる看護職者育成ににおける大学と病院の協働〜
がん看護・家族支援・精神看護・老年看護CNSフォローアップ セミナー	認定看護師のためのスキルアップセミナー
医療者と患者の対話モデルとしての医療メディエーションセミ ナー	アメリカの看護に学ぶ
院内感染で重要な感染症と制御の考え方ー看護が感染を制御する -	「加齢と低栄養による誤嚥性肺炎の病態と対策」
看護管理者のための経営セミナー	「今、後輩指導が面白い 理論と事例検討」「OJTによる後輩 指導のポイント
看護研究スキルアップ講座	「小児の接触嚥下機能の発達と障害へのアプローチ」
摂食嚥下障害看護 口腔ケアセミナー	「摂食嚥下リハビリテーションにおけるチームアプローチ」「摂食嚥下障害看護と倫理」
統計分析を理解するためのハンズオンセミナー	「地域包括ケアに必要な実践能力の育成」
認知行動アプローチによるストレスマネジメントセミナー	「認知症のある人の摂食・嚥下障害とケア」
認定看護師教育課程がん化学療法看護分野認定審査対策セミナー	「脳血管障害・高次脳機能障害への 摂食嚥下障害看護からのア プローチ」
認定看護師教育課程フォローアップセミナー	後輩指導を楽しくするプロの技 実践編
2015年度 〇〇県保健医療福祉研究発表会	KJ法の進め方
がん化学療法看護認定看護師によるコンサルテーション活動の実 践と評価	アンケート調査における統計・分析の基礎演習
社会福祉施設看護職員研修	看護実践の統計学
静脈注射学び直し研修会(初級編)	質的研究を理解する
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	心臓デバイス治療における終末期に関する問題
ケアのデザイン 手のケアを見直す	心臓の解剖学についての再考
テレビ会議システムを用いたがん看護事例検討会	心臓の機能の再確認
ペリネイタル・グリーフケア検討会	臨床の場で起こっている"何か"の正体を突き止める質的研究
リンパ浮腫のケアについて~予防から発症初期までの看護介入を 中心に~	日本周産期・新生児医学会認定 新生児蘇生法講習会「Aコース」
看護実践に活かすフィジカルアセスメント	医療科学統計学入門
看護実践に活かすやさしい検査のみかた・考え方	地域医療ビジョンによる政策誘導
看護実践力向上セミナー:ジェネラリストのための事例検討	認知症予防の必要性と今後の展望
高齢者ケア研究・事例検討会	看護福祉学部同窓会セミナー
子育て支援・虐待予防に関する勉強会(事例検討会)	ホスピタル・プレイ・シンポジウム
多領域の専門看護師による公開事例検討会	リカレント学習講座
複数の専門看護師による公開事例検討会	看護業務の可視化改善プロセス手法
訪問看護の現場に活かすフィジカルアセスメント	看護師のためのマインドマップ思考術
いわて保育園看護職研修会	看護倫理
コーチングスキルアッププログラム	人を動かすリーダーシップ
看護技術スキルアップLearningStrategies	背面開放座位

表7-4 B. 看護職者等の専門職向け講座	
記述	内容
看護実践と研究の統合のためのセミナー	アデレード大学 看護学部長・教授 Alison Lydia Kitson氏による 「基礎となる看護ケアの再生と再定義 〜患者と看護師とのケアリング形成に与える影響因子」
看護新分野創成のための研修事業	看護学部教授神崎初美氏による産学連携による「ふきん絞り器」 開発の過程と性能評価
○○県災害看護研修会	米国の看護学大学院博士課程の教育に関する最新動向
○○県訪問看護師研修会	看護研究Ⅰ研究の基礎
子ども・家族ケア研修会	看護研究Ⅱ量的研究の基礎
生と性の健康教育を実践する県内看護職のための研修	看護研究Ⅲ質的研究の基礎
精神科看護師のスキルアップ研修	CSD研修会 「看護現場における専門的な判断力と実践力を育てる」
糖尿病看護スキルアップ研修	新卒看護師への看護技術支援事業(平成27年7月~平成28年2月の 期間で13回開催)
養護教諭スキルアップ研修	身体とこころに届く癒しの看護技術〜実践編〜
Catch the Sign フィジカルアセスメント ~見のがしてはならない身体のメッセージを読み取る~(看護実践セミナー)	脳卒中看護に補完代替療法を取り入れる~急性期から在宅まで~
子どもたちの心に響くいのちの教育(思春期スキルアップ研修 会)	確認しよう看護診断の今一看護診断の基本的理解と活用 本郷久 美子先生
最近の感染症と予防一看護職の役割一	看護職のための文献探索講座
第17回看護国際フォーラム「看護職を惹きつける魅力ある病院づくり」	認定看護管理教育課程「セカンドレベル」
腸内環境を整えて気分スッキリ!健康増進!	認定看護管理教育課程「ファーストレベル」
"人を対象とする医学系研究に関する倫理指針"に基づく看護研究	認定看護師教育課程「感染管理」
がん看護における看護師の役割(家族看護)	保健師助産師看護師実習指導者講習会
がん薬物療法に関する最新の知識、薬物療法を受ける患者の特徴 と看護	看護研究のためのエクセルセミナー
家族とのパートナーシップの形成	臨床ナースのための看護研究計画書の書き方
家族の意思決定支援	ワクチンギャップーワクチンの現状
看護職・介護職のための腰痛予防	考えよう!こどもの食物アレルギー
危機状況にある家族への支援	被災地支援4年半からの学びー看護の本質に重ねて一
子育て支援セミナー 第5回子育て・マインドフルネスについて学ぶ	「超高齢社会における看護・ケアの役割を考える」、「病院・施 設と在宅の連携をどう進める」
子育て支援セミナー 第6回「虐待加害者の理解」	「発達障害児(者)への支援」
対応困難な家族への関わり	高次脳機能障害者の支援〜病院・施設における支援〜
放射線治療に関する最新知識	「やりがい感は看護師を疲弊から守れるか〜国際比較的な視座か ら〜」
放射線治療を受ける患者の特徴と看護	「私はこうやって研究を進めました」
ELNEC-J in ○○県立大学 (○○県立大学アクティブキャンパ ス)	地域でつながる力を育む看護
アロマとハーブの交流会(4回/年)	ケアの相互性〜学ぶ、教える、実践する〜
エンド・オブ・ライフ・ケア研究会(壮年期のエンド・オブ・ラ イフケア 他、8回/年)	薬剤師との上手な付き合い方
看護事例研究会(事例検討他、8回/年)	看護の実践力と教育力の向上〜地のネットワークの構築と高度な 専門職業人を目指して〜
第6回岡山医療安全研究会(シンポジウム:インシデントレポート を活かす!)	薬害被害をとおして考える生命倫理・職業倫理

表7-4 B. 看護職者	等の専門職向け講座
記述	内容
第7回岡山医療安全研究会(研修会:RCA分析を学ぶ)	臨地実習において支援を必要とする学生と合理的配慮の理解の促 進
地域看護学研究会(セルフ・ネグレクトの人への支援)	横浜保育室部会研修会「幼児救命救急法」
臨床実践力を育てるシミュレーション教育の基礎を学ぶ	学生の可能性を信じ限りない能力を共に引き出す実習指導
「看護の専門性を高める看護管理者のマネジメント能力向上に関 する取り組み」ワークショップ	看護学生を育てる 臨床指導の力
「地域で取り組む育児支援ー医療施設、地域保健、子育て支援の 連携を目指して」研修会	地域包括ケアシステムにおけるプライマリ・ケア分野高度実践看 護師への期待
「利用者ニーズを基盤とした退院支援の質向上に向けた看護職者 への教育支援:フォローアップ研修」	米国における薬物依存症回復の取り組み―コミュニティ自助グ ループの事例より―
「利用者ニーズを基盤とした退院支援の質向上に向けた看護職者 への教育支援:ベーシック研修」	大学における授業構築の考え方.
〇〇県看護実践研究交流集会	特定健診・特定保健指導実践者に必要な知識
共同研究報告と討論の会	「救急看護」認定看護師に学ぶ急変患者のフィジカルアセスメン ト
リカレント講座一看護研究をサポートしますー	看護実践に役立てる家族看護学 1
リカレント講座一看護研究における統計の活用法一	看護実践に役立てる家族看護学 2
看護職のためのピアコーチング	看護実践に役立てる家族看護学 3
根拠に基づいた,母体ケアを含めた,赤ちゃんの発達支援を実践 する	〇〇市看護職能力向上・定着確保研修;看護管理者コース5件
『日本精神科看護協会共催:精神科病院での認知症の看護ケアを 考えよう』	○○市看護職能力向上・定着確保研修;基本コース5件
がん看護学領域特別講座	○○市看護職能力向上・定着確保研修;深めるコース13件
家族看護学領域リカレント講座─『家族のパワーをどう捉え、ど う扱うか』	看護の未来に向かって
緩和ケアセンターにおけるがん看護専門看護師の役割 他、リカレント講座 6件	医療者を目指す現代の若者像と効果的な実習指導
最新実践看護講座 I 「在宅でエンド·オブ·ライフを迎える療養者と家族を支える訪問看護師の役割」	「コミュニティ・オブ・プラクティス -看護実践の自由なつながりが育む学びの推進-」
最新専門看護実践講座 I 「トランスレーショナルリサーチとベン チャービジネス:医療保険者を顧客とした産官学連携による慢性 疾患管理」	フィジカルアセスメント
最新専門看護実践講座Ⅱ「ケアの哲学入門:看護行為を見つめ直 すために」	看護倫理
最新専門看護実践講座Ⅱ「国際保健入門」	臨地実習指導
小児看護学領域特別講義「小児看護専門看護師の活動の実際」	グローバルヘルスにおける看護実践のチャレンジ/看護実践にお けるコミュニティヘルスとグローバルヘルスの接点
新任期保健師研修会—(地区診断)	基礎看護学実習の指導について
第1回公開講座:明日から使える褥瘡ケア	臨床現場の実践活動を言葉にして伝えるために一実践を研究とし て形成し、実践に還元する一
第2回公開講座:新人看護職者のためのフィジカルアセスメント	臨地実習指導について
看護におけるスピリチュアルケア〜スピリチュアルペインアセス メントシートの活用を中心に〜	老年看護学実習の指導について
第17回国際シンポジウム「精神疾患をもつ人々への在宅ケアシス テム ?米国システムの紹介と神戸の現状?」	エンドオブライフ・ケア国際セミナー
リンパ浮腫のケア 訪問看護場面でリンパ浮腫と適切に関わるた めの第1歩	研究に活かそうテキストマイニング―言葉から思わぬ発展とデータ整理―
看護教員の教員実践能力を鍛える公開講座	先端をゆく緩和ケア
県立大学卒業保健師勉強会	○○県看護協会再就業支援研修「フィジカルアセスメント研修」

表7-4 B. 看護職者等の専門職向け講座	
記述内容	
産科看護職のための学習会 産後の母子の家庭訪問について	子どもの成長発達に沿った看護
認定看護師教育課程「フォローアップ研修」	倫理について考えよう
明日からできる!小児在宅ケア	

表7-4 C	
記述	内容
プルーランドサマーキャンプ勉強会(小児糖尿病家族向け「1型糖	
尿病の子どもの治療」「糖尿病キャンプ中の災害対応につい て」)	【一般向け⑲】がんにならない食べ方(免疫老化を防ぐ)
{不妊・不育とこころの講演会 「不妊・不育治療の実際」	【一般向け⑩】ボケない食べ方
「生と死の倫理」公開セミナー 生殖医療と家族の形	第5回 障がい児支援講座
公開シンポジウム 子育て支援	アクティブラーニング(アイスキューブリュク) スー・ヤング
公開セミナー 「子どもの感染症」	健康マネジメント研究科開設10周年記念シンポジウム「先導者としての健康マネジメント」
笑いの効用	最期まで生きることを支える
へき地・離島でも安心・安全・最高の医療を提供するために〜結 の心を通じて〜	在宅看護ってなに?
理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学	住み慣れた「私の街」で豊かに暮す
超高齢社会の中で生活を考える	「自分の体を知ろう」おはなし会【体の知識を広めよう】
認知症高齢者の看護 医療現場における認知症高齢者の看護を考 える	ダウン症候群のよりよい成育環境検討会~ポルカの会~
がんプロフェショナル養成プラン	はじめの一歩の会【中央区において「家で死ねるまつづくり」の 実現】
がん看護ケア多職種養成コース	ルカ子・サロン【不妊治療中もしくは不妊治療をこれから考えて いる女性の方に】
助産実習関連施設に対して「助産概論」「助産診断・技術学Ⅰ〜 Ⅲ」「助産診断技術学演習Ⅰ・Ⅱ」を公開講義している(計10 コマ)	高齢者と家族へのオンリーワンの「思い出帳(メモリーブック)」 作りプロジェクト
○○大学教養教育に関する全学 F D	在宅酸素療法を行う方へのテレナーシング【慢性呼吸不全により 在宅療養する方へ】
「伝える」というコミュニケーション	子どもと家族中心のケア 子どもの健康、知ろう、考えよう
子どもたちに必要な栄養は?	赤ちゃんがやってくる【これからお兄ちゃん・お姉ちゃんになる 子どもたちに】
第15回地域包括ケア・フォーラムin青森(地域における健やか力 向上の取り組み)	多世代交流型 デイプログラム「聖路加和(なご)みの会」
忙しい毎日と『こころ』の居場所づくり	天使の保護者ルカの会【お子様を亡くされた体験を持つご家族 へ】
付属病院の現任教育等	天使の保護者ルカの会【グリーフカウンセリング】
えひめ高校生生体機能研究プログラムーホメオスタシスの探究ー	転倒骨折予防実践講座
メディカルトーク(高校出張講座):県立図書館主催	学生相談室セミナー:コミュニケーションカ 一苦手な人と関わるときの3つのヒントー
卒業生からのメッセージ(卒業生と在学生の交流事業「ホームカ ミングデー」)	ワトソンのケアリング理論と実践
「自分を大切にするおつきあいのマナー」	地域防災セミナー 災害に強くなる知恵とと技
第2回患者会	運動・神経系のフィジカルアセスメント
医療崩壊の現状	健やかな学校生活を送るために
家庭や施設における子どものけが、事故の対処法	呼吸器系のフィジカルアセスメント
感染予防の基本を身につけよう	循環器系のフィジカルアセスメント
血液ドロドロと血液サラサラのウソとホント	症状・徴候別フィジカルアセスメント、シミュレーション演習
長崎の離島医療	認知症サポーター養成講座
乳がんと早期発見〜長崎県におけるピンクリボン運動〜	疫学
認知心理学から記憶のしくみを探る	第1回Moodle学習会
県大へ行こう	第2回Moodle学習会
第13回脳をみるシンポジウムin三原	第3回Moodle学習会
認知症の現状と展望	がんピアサポーター 初心者のためのスキルアップ講演会
看護・医療の臨床を通したいのちについての体験授業	実践と教育を監護研究に編み込む
アディクションについて知ろう	人を助ける仕事がしたい
ストレスをぶっ飛ばせ	インドネシアにおける保健・医療の問題
ノーマライゼーションの実践	英国カンタベリークライストチャーチ大学の教育に関する最新動向:大学教育の国際化、IPE、看護学科概要、理学療法学科を含む健康科学部の教育内容全体像

表7-4 C. a	その他の講座
記述	内容
楽しく・美味しく減塩しましょう!	CSN(キャンパス・セーフティ・ネットサービス)による防犯活動 「大学におけるカルト問題と予防教育の実践」
看護の仕事について	日本の福祉行政の現状
見取り図から生活や家族の関係性を捉える	平成27年度介護職員初任者研修における講座— 17回(4人の教員 で分担)
高校生のキャリアデザイン講座	アメリカにおける専門看護師の活動、看護制度、看護システムから看護の本質を考える
子どもの自己肯定感を育てる関わり方	健常高齢者に効果的な化粧療法プログラムの開発
大学で学ぶこと	子ども大学さって 2回講義「心の中をのぞいてみよう ~のりこえる力を育てる授業~」「ヒトの身体のしくみ」
乳幼児の成長発達とやる気を育てる関わり方	「学部共同研究及び研究活動報告」
避難リュックづくりから防災・減災を考えよう	協同学習を用いた看護教育研究会(9回目から14回目を担当)
保健師、助産師を知ろう!	育つ心・育てる心
健康志向の人づくり・まちづくり	唱歌・童謡・わらべうた~こども達と楽しむ歌~
県南地区における精神障がい者への理解促進	新しい教育の制度 小中一貫教育
児童養護施設における生きる力「性=生」教育開発	中高年期の食と運動による生活習慣の改善と健康増進
親子で楽しく「輪ッハッハ!」教室	つれがうつになりまして
今日からできる、脳の活性化と心のリラックス	子どもの遊びについて(共催)
今日からできる簡単エクササイズ〜運動は「量より質」体も心も マイペース	世界と戦うジュニアジャパンの育成
潜在的な愛する力を引き出すワークショップ	喫煙指導講演会
中高年のこころと身体の健康	健康寿命延伸のための血圧管理
子どもアドベンチャー2015	臨床領域におけるアミノ酸研究の最前線
【一般向け⑬】子どもの在宅支援を促進する医療一福祉の連携	狭山緑苑祭 学科シンポジウム「社会で活躍する女性から生き方 を学ぶ」
【一般向け⑭】お口の変化 感じていませんか?~おいしく食べよう~	第1回超高齢社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える 研究会 基調講演「超高齢化と地方産業創生に向けた医学を基礎 としたまちづくり」
【一般向け⑮】出してスッキリ腸元気~美肌健康法~	第2回超高齢社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える 研究会 基調講演「高齢者の居住環境について」
【一般向け⑯】若さを保つ身体づくり〜上手にとろうカルシウム 〜	第3回超高齢社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える 研究会 特別講演「○○県の超高齢社会の実態と課題について」
【一般向け⑰】簡単クッキング~不足しがちな食材(タンパク 質、カルシウム)はこうして補う!~	ホスピス・こどもホスピス病院と看護
【一般向け®】食の知識「ここまで分かった!健康長寿な人の食 ベ方」	ホスピス・こどもホスピス病院と看護

表8-2 A. 全学主催のFD	
記述	内容
○○大学全学FDワークショップ	授業デザイン(成績評価方法)
カリキュラム・プランニング	授業運営、ICT
学習支援を要する学生への対処を行動科学的に考える	授業技術(話し方)
看護・教育実践を問い直す ーリフレクションを通じてー	選ばれる人の話し方~魅力ある授業のために~
客観試験の作り方	大学の歴史より新しい教育体系を考察する
評価力をあげる計画立案の方法	シミュレーション教育導入の課題
アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	質的研究方法論ー現象学的アプローチー
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	JM00Cの現状と大学でのM00C活用についての展望
英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	初年次教育に関するワークショップ 国領校における諸年次教育 の再構築に向けて
会議マネジメント	第1回「高大接続改革実行プラン」に関する講演会
学習評価の基本	第2回「高大接続改革に対応するための大学ガバナンス」講演会
学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計一課題分析図の活 用一	ICT & UNIPA教育活用
学生を眠らせない講義法のコツ	SNSについて
管理監督者のためのメンタルヘルス研修会	ティーチング・ポートフォリオ
効果的なeラーニング活用方法	外国語による授業の教授法
効果的なグループワークの進め方	教育に関する改革動向
授業デザインワークショップ	研究倫理について
大学マネジメントセミナー、プロジェクトマネジメントほか	公的資金に係るコンプライアンス教育について
オープンファーラム(保健学研究科の教育改革について)	障害学生の理解と支援
(医学科授業公開:年3回実施)『歯原性腫瘍・口腔の良性腫瘍』 『歯原性腫瘍・口腔の良性腫瘍』『細胞形態の形成と移動2』	震災から4年間の取組―被災地宮城からの発信―
「アクティブ・ラーニングを考える - PBL、反転授業を通して -	地域共創
· 「医学科におけるカリキュラム改編の概要」 · 「アウトカム基盤型教育について」	内部質保証
CBT実施状況(医師国家試験との関連)およびCBT問題作成 についての全体説明	悩みを抱える学生への指示的アプローチ
医学部倫理委員会及びヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員 会 教育訓練講習会(年4回別テーマで実施)	カリフォルニア州立大学フラトン校研修報告
院内研究セミナー(年2回実施)『移植医療に関する院内研修会』 『B型肝炎再活性化対策セミナーについて』	スローラーナー支援に関する講演会
学生の成績評価におけるGPA制度の平成28年度導入に向けた講習会	セミナー「シラバス入稿ツール説明会」
○○大学反転授業研究会	セミナー「ベストオブティーチャーによる事例紹介」
国際論文投稿セミナーⅡ	セミナー「ポータルサイト活用紹介」
世界で活躍するグローバル医療人の育成事業講演会「国際学会発 表のコツ」	セミナー「メンタル面で悩みを抱える学生への支援」
日本医療研究開発機構(AMED)による研究公正に関する講習会	セミナー「緩和ケア病棟に勤務する看護師の共感疲労」
平成28年度から実施される全学共通教育カリキュラム改革について	セミナー「空飛ぶ車椅子サークル紹介」

表8-2 A. 全	:学主催のFD
記述	内容
「授業アンケートの結果をどう授業に活かすか」 学生・教職員 ワークショップ	セミナー「自動運転リハビリテーション」
FD·SD合同フォーラム 「カリキュラムの体系性の可視化に向けて」	セミナー「地域社会の中での視機能訓練士の役割」
新任教員を中心として	セミナー「日本代表チーム活動と運動生理学」
能動的学習を促す教育評価と授業設計	教育ファシリテータによる講演会
A I M S - G i f u 活用効果 F D 意見交換会	GIS (地図情報システム) の現状と将来 H28.4.21 (28年度開催)
これまでとこれからのキャリア形成!	インタラクティブホワイトボード使用説明会 H28. 2. 12
コンソーシアム構築による博士人材育成	大学・短大における情報処理教育の将来 H28.2.4
どうする!?初年次セミナー	University identity
教養教育改善への取組と今後のあり方	カリキュラムマップの先にあるもの:ナンバリングからの教務課 題
障害者差別解消法と大学における障害学生支援	看護学領域におけるエビデンスの重要性
「大学教育のグランドデザイン」の開催について	教育改革の動向と影響
「大学教育国際化の課題、工程、意義」 - 「チューニング」に焦点をあてて-	助手・助教の会
「学生主体」の授業デザインワークショップ(応用編)	赤十字の一員として
「学生主体」の授業デザインワークショップ(基礎編)	新任教職員研修会
シラバスの書き方説明会	アクティブ・ラーニングに関する講演会
プロジェクトマネジメント入門	教員カフェ
学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方 (春季FDセミナー)	アクティブ・ラーニングに関する事例調査と学内実践事例の把握
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン一考え方と進め 方一 (秋季FDセミナー)	学生による授業評価
授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと一質問がでる教室づくり一(秋季FDセミナー)	「アクティブラーニングのためのファシリテーション技能」(研修会)
授業効果を高めるために初回の授業ですべきことー受講生のやる 気スイッチをONにするー (春季FDセミナー)	「パフォーマンス評価導入の実際」(講演会)、「ルーブリック作成ワークショップ」(研修会)
初年次科目のためのグループワークの技法 (春季FDセミナー)	「学科における大人数専門教育科目において工夫されている点」 「大人数共通教育科目において工夫されている点」(研修会) ※ 講演者を代えて2回開催
全学FDフォーラム 2016 「地域に根ざす高知大学の新展開」	「高大接続改革にどう対応するか?新しい時代の大学入試とF D」(講演会)
能動的学習支援者必須!グループワークのためのファシリテーション入門 (春季FDセミナー)	「深い学びに誘うアクティブラーニングの手法」(講演会)「失敗 しないALの手法:TBL(チーム基礎学習)」(研修会)
初年次セミナー・アクティブラーニングに関するFD	アドラー心理学の医学・医療教育への活用
○○大学学修管理システム(BEEF)の活用に関するFD	医療系カリキュラムに合致したGAP制度とCAP制度の構築と導入
TOEICスコアから見えてくるもの:島根大学に入学してくる学生層について	教育の質保証の説明とその実践事例の紹介について
データから読み取る学生生活(その4)我が国、本学における障が い学生支援の現状	教育ファシリテーションスキルを修得する
企業への卒業生アンケート調査報告:島根大学の教育は社会でど のように評価されているのか	語り継ぎ独創となる藤田の教育
授業デザインワークショップ ~「なんのために教えるのか」学 生に伝える授業デザインを考える	学生を中心とした教育をすすめるために -ゼロから考えるグランドデザイン達成のための教育プログラム-
地域における大学の役割と課題の明確化 〜科学政策、大学政策 の動向を踏まえて〜	学生を中心とした教育をすすめるために -多職種連携教育につい て考える-
地域課題解決にむけた交渉と合意形成	研究活動の不正行為防止と研究者倫理について

表8-2 A. 全	学主催のFD
記述	内容
地域課題解決にむけた評価法とは	アドバイザー制度を活用した学習支援の充実について
アクティブラーニング	シンポジウム「学外学修プログラムによる学生の成長の可能性を 考える」
平成27年度の重点取組と大学評価の重要性について	ルーブリック評価導入の実際 一シラバス、ルーブリックで学生の 学習を導く一
Learing Education Development (LED)カフェ 第1回学びを促す ディスカッション	教育における評価検証機能の充実に向けて一IRの活用ー
Learing Education Development (LED)カフェ 第1回事例に学ぶ アクティブラーニング	高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選 抜の一体的改革について
Learing Education Development (LED)カフェ 第2回もっと学び を促すディスカッション	○○大学の教育改革・武蔵野BASIS 7thの再構築について
Learing Education Development (LED)カフェ 第3回講義形式の 授業で学生を引き付ける	本学におけるTeaching methodの改革 〜授業改善小委員会の取り 組みを通して〜」
Learing Education Development (LED)カフェ 第4回大学教育の 未来を考える	Google Appsの活用
インストラクション・デザイン(ID/授業設計)を活用した企 画・立案マネージメント	聴覚障害や発達障害の学生の理解と支援について
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	コンプライアンス教育・研究倫理教育
教育改革FD:質保証のための分野別ワークショップ「授業科目のナンバリング」	退学予防
教育力開発FD:授業コンサルテーション(全33回)	本学における障がい等学生修学支援の現状と課題-理解と情報共有 のために
教育力開発FD:授業設計ワークショップ	「ルーブリック作成」について
情報セキュリティーセミナー「近年の情報セキュリティー犯罪の 動向」等	「学習評価の基本」について
大学教員カンファレンス in徳島:大学教育再生加速プログラム (AP)	「チーム医療」教育の推進
教養教育としての人文・社会科学	国際交流の促進
新任教員FD研修会	授業参観をいかに授業改善につなげるか
地域、大学におけるホスピタリティとは	初年次・補習教育の充実
アクティブラーニングについて	「active learning 問題解決型学習における少人数指導の可能性について」
学部教育における授業形態の在り方、双方向性型授業の紹介と教 授法	「学修成果についての共通理解から始まる学びの質保証」
教員が学生の対応に悩む状況とその対応-障がい学生支援への取り 組み-	「医学教育に関するワークショップ」テーマ:アウトカム基盤型 カリキュラム
Best Teacher が教える「学生を惹きつける教授法」	アルツハイマー病の危険因子
MCQの問題作成について	がん個別化治療を推進するクリニカルシークエンスの現状と課題
国際基準に対応した医学教育:医学教育の質保証と医学教育カリ キュラム改革	メタボリックシンドロームを背景とする肝細胞癌発症モデル動物 の開発と応用
授業における創意工夫について	医学英語論文作成のKNOW-HOWと重要ポイント―医学英語教育ガイドラインの活用と関連して―
授業の成績評価とシラバス	医師国家試験の現状と対応について
成果基盤型学習とそのデザイン〜国際認証対応クリニカルクラー クシップ	患者家族への「悪い知らせを知らせる」に関する指導者講習会
定型的熟達者ではなく適応的熟達者を育成する授業〜学習科学の 理論に基づいた新たな授業と評価のかたち〜	細胞社会のheterogeneityを可視化する蛍光イメージング技術
○○大学教養教育に関する全学FD	大腸癌の新しい病理学的予後指標―規約改定の背景と今後の展望
「「価値創造」の、21世紀型リーダーシップ研修」	認知症の患者家族に対する多職種連携アプローチ
「CALL教室活用セミナー」	認知症の先制医療:バイオマーカーによる診断技術の進歩と予防 的介入

表8-2 A. 全	表8-2 A. 全学主催のFD	
記述	内容	
「ICTを用いた効果的な授業方法を学ぶ」	脳内脂質代謝変動とアルツハイマー病分子病態	
「ハラスメント防止研修会」」	授業公開(10学科10人の先生による授業の公開と参加者によるフィードバック)	
「ビジネスマナー研修(午前ビジネスマナー,午後クレーム応 対)」	FD講習会「実用統計講座」	
「メンタルヘルス研修会」	第11回「わたしの授業」発表会	
「リーダーシップ研修」	平成27年度第1回FD研修会	
「英語による授業への第一歩:英語を使った学習活動を取り入れ る工夫」	平成27年度第2回FD研修会	
「研究力強化概論」および「研究マネジメント研修」	アクティブラーニング	
「研究倫理教育FD」	ハラスメント対策研修会	
「後期教養教育FD研修会実施要項ーターム制授業の設計を考える一」	科研費の申請に関すること	
「前期教養教育授業参観・研究会」	救命講習	
学生の学びを支援する教育システムの構築をめざして	研究倫理に関すること	
ELMS講習会	全学FD·SD研修会	
アクティブ・ラーニング導入ワークショップ	(E-ラボ)「Moodleを活用した授業運営〜実践報告を通じて可能性や課題を検討する〜」	
シンポジウム「FDの実質化に向けた協力体制の構築」	(Eーラボ) 「一貫した成績評価基準の組織的活用―工学部におけるルーブリックの活用―」	
プロジェクト・マネジメント入門Introduction Workshop for Project Management 他2件	(Eーラボ)「学修者も教員も元気がでる教材開発」	
ルーブリック評価スタートアップ研修 Introductory workshop for creating rubrics	(E-ラボ)「学生の学修成果の長期的・継続的把握に向けて― 教職課程教育センターの取り組み―」	
英語発音力講座	(E-ラボ)「大規模授業の運営のTipsを集めよう」	
学生の学習を促進する少人数演習型授業のためのコースデザイン ワークショップ	(E-ラボ)「大規模授業の課題を探ろう」	
学生の主体的な学習を促す授業スキルワークショップ	教育改善活動フォーラム 「大学改革の現在 ―福岡大学の選択 と展望―」	
第26回○○大学教育ワークショップ「学生主体型授業の設計」	第1回 新任教育職員研修会 「福岡大学に関する理解を深める」	
第27回〇〇大学教育ワークショップ「学生主体型授業の設計」	第2回 新任教育職員研修会 「コースデザインを考える」	
第28回○○大学教育ワークショップ「学生主体型授業の設計」	第3回 新任教育職員研修会 「成績評価の方法を考える」	
第2回新任教員向けキャンパスツアー	私達の望む高大連携のあり方	
○○大学におけるPBL教育の実践展開と課題―三重大学医学部 看護学科	授業通じて感じた学部・短大の学生気質について	
入試分析研究会	両学部の共通科目、地域志向科目の可能性を巡って	
入試改革研究会	メインテーマ「主体的学びの仕掛け」について	
Excel講習会	入学前、初年次、就職対策へと繋がるeラーニングを活用した基礎 学力強化の取組	
Moodle講習会	主体的学びに授業収録映像はどう役立つのか	
○○大学障がい学生支援センター	e-黒板およびタブレット端末(図書館ラーニングコモンズ)利用 について	
ディープ・アクティブ ラーニング	学生は何をどう学ぶのか〜大学講義へのアクティブラーニング導 入〜	
ケモカイン受容体XCR7を発現する樹状細胞の機能的意義	発達障害の学生指導のエッセンスとコツ	
医学教育分野別認証評価受審に向けて	教材・学生作成物をめぐる著作権	

学主催のFD
内容
インストラクショナルデザイン入門一教育事例の課題と発見と改 善方法の選び方一
クリッカーで教育・研修が変わる
ルーブリック評価入門一ぶれない・速い・楽チン成績評価のスス メー
学生の授業時間以外学習を促すシラバス作成法
気になる学生への組織的対応一障害者の自立を目指す障碍者差別 法解消法の未来4月施行を前に一
効果的なグループワークの進め方
作ってみよう、ぶれない、ズレない学習評価基準ルーブ陸
始めよう!アクティブラーニングー共同学習・話し合いの技法 偏一
受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気づくり
大学アカウント活用法〜メール以外のサービスの利用術〜
大学は進化する
大人数講義法の基本
新入教職員研修
学生の学びと成長を促す「教育力」とは何か
基礎から学ぶ教育評価
認証評価(大学基準協会)をエンジンにした大学運営の改善
障がい学生支援に関する報告
医療福祉分野における高等教育のありかた一学生の主体性を引き 出すファシリテーション力を高める
学生の思考を活性化するグループ学習の検討
平成27年度学生が選ぶグッドティーチング賞表彰式・報告会/各 キャンパスFD活動報告会
平成27年度大学院FDプログラム「科学における『会話』とは」
クリッカーを活用した授業実践〇
ストレスとストレスチェック
研究活動における不正行為の防止について
事業実施評価表
重点事業
本学におけるアクティブラーニングの展開
ルーブリック評価スタートアップ〜評価の原則から組織での活用 まで〜
学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナルデザイン (ID)入門
○○大学におけるアクティブラーニングの取り組みについて
授業の出欠確認を楽にするアプリ活用研修会
Web対応授業支援システム説明会

表8-2 A. 全	学主催のFD
記述	内容
事例から考えるハラスメントⅢ	学生と教員の相互理解を深めるアクティブラーニング〜知識伝達 型講義に導入できる技法の紹介〜
本学のFD活動について	障害のある学生への修学支援ー制度改正により教職員に求められ ること
あたまの中の評価基準を「みえる化」する方法 -ルーブリックを 用いたパフォーマンス評価の実践-	授業の実践報告-基礎ゼミナールにおけるコミュニケーション能力 を高めるための試み
共通教育英語カリキュラム「Academic English」の内容と学生アンケートの結果紹介	特別な配慮を必要とする学生への支援
研究公正の推進と責任ある研究者の養成	「入学前教育について」、「平成27年度生の結果報告と分析について」
授業での学生の学びを促すひと工夫 クリッカー活用法	「発達障害の理解と学生への指導の在り方」
新任教員FD研修(高等教育開発センタースタッフ及び教育推進課職員によるレクチャーと質疑応答)	「平成28年度科研費申請に関わる変更点と申請方法」、「研究倫 理審査申請書の書き方について」
コンプライアンス研修・研究倫理教育研修	○○大学を語る会 一学生の学修成果の把握・評価について―
○○大学におけるクオーター制導入について	動物実験講習会
人間(ヒト)を対象とする研究をめぐる法と倫理	文科省科学研究費助成金申請に向けた準備の仕方
組織再編と個人評価について	全学FD·SD研修会~平成26年度自己点検評価を振り返って~
大学ハラスメント等の防止体制・アカデミックハラスメント防止 研修	看護教育におけるICT活用能力の育成
大学教育とファカルティディベロップメント	Glexa(E-learningシステム)活用に向けての講習会開催〜Glexa を授業に活用しよう〜
認証評価の概要と取組	科学研究費補助金を獲得するために一申請時の留意点など採択されるためのヒントを示します—
ハラスメントについて	外国語での教授法に関するFD研修会
発達障害について	組織人の責務に関する教職員研修(教職員の責務、服務規程、研 究倫理について)
実習に配慮を要する学生への対応について ~一人で対応できる こと・できないことを知る~	発問で思考を促す授業をつくる
大学教育における成績評価の適正化	○○大学臨床研究教育研修会「人を対象とする医学系研究に関す る倫理指針」の解説
本学におけるミッション	授業アンケート(前期・後期)
臨床研究 何が問題でどうすべきか?一人を対象とする医学系研究に関する倫理指針への対応一	授業参観(前期・後期)
医学研究における被験者の同意とパターナリズム	授業実践報告(通年)
T技術を用いた授業改善の取り組み	梅花コミュニケーションカード(通年)
多様な学生の受け入れと学生支援	初年次教育(論次会、事例紹介、ワークショップ)
「チューターの手引き」を活用しよう〜キャンパス別の学生状況 と具体的な対応方法〜	①研究倫理および著作権に関する説明会②学修成果検証の方策に ついて
アクティブ・ラーニングとファカルティ・ディベロッパーについて	①本学における将来ビジョンと5ヵ年事業計画②大学における   R機能とその運営方針
アクティブ・ラーニングの具体的手法の導入	①様々な分野でのヘルスプロモーション活動②学生の主体性を高 める授業づくり
アクティブ・ラーニングの実践的技法を学ぶ	学生の心の問題と成長支援
学修支援アドバイザーを養成するために	競争的資金獲得のための説明会
学生による学修支援:大学教育における役割を考える	新カリキュラムの概要について
平成26年度FD活動促進事業報告会	大学におけるハラスメント
ティーチング・ポートフォリオ	大学における効果的な初年度教育

表8-2 A. 全	学主催のFD
記述	内容
ノーベル賞学者を生んだ、地方大学の大学教育はどのようなもの であったかをもとに、現代の地方大学の存在意義や役割を考える	現代の若者気質と学生指導
学生と考える域学共生 一地域学実習 I の体験をとおして一	授業の基本的な運営方法
学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは	授業評価アンケート・公開授業のフィードバック会
大学に求められる障がいのある学生支援 〜障害者差別解消法と 合理的配慮〜 〜高知大学の支援体制の紹介〜	学生を授業に参加させるには一アクティブラーニング超入門
ルーブリックを活用した学生の学修成果の可視化と客観的な成績 評価等	授業をよりよくするために一ガイドラインについて
混合研究について ~その有用性と研究方法~	大学職員としての今と未来を考える
質的・量的両研究の相互理解を深める~査読をするための留意点 Part II ~	障害のある学生に対する配慮および支援の方法について
授業等におけるタブレット端末の動画等の活用及びコンテンツ作 成支援と相談の事例について	公開授業及び検討会「産業保健看護論」
IR(Institutional Research)その役割や必要性一大学の運営に 必要な情報の管理、提供-	公開授業及び検討会「総合英語Ⅱ」
OSCEにおける評価者としての効果的なフィードバック	初年次教育基礎力テストの結果の活用について
インストラクショナルデザインによる授業科目の改善	J-Visionの評価と新しい教育への取り組み
ベストティーチャー賞受賞者による「選ばれる講義」の作り方講 座	第二期J-Vision 5 か年計画と教育の取り組み
医療教育者として備えておきべき態度や心構え	ルーブリック評価入門
医療者養成における医学英語教育	科研費取得のコツ・看護教育における教育者としてのケアリング 文化の形成〜経験が多実習指導を中心に〜
公正な学術論文作成のためのセミナーー剽窃問題を中心として一	魅力ある授業とするために
2015年度〇〇市立大学研究交流会	学生による授業評価アンケート
教育活動の効果・効率・魅力を高めるインストラクショナルデザ インの基本	教育活動に関する自己評価アンケート
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(研究倫理に関わる FD)	グループワークで悩んでいませんか?
他学部授業参観(デザイン学部 後期開講科目)	どうする入門ゼミ!? ~実践事例報告会~
他学部授業参観(デザイン学部開講科目)	学びをサポートするTAの活用方法
他学部授業参観(看護学部 後期開講科目)	学生の学びを促すシラバス設計の基本
知的財産権について 研究成果や作品を守る為に 商標権と著作権 を中心に(知財セミナー)	学生の学びを促す教授法 ~表面的な学習をさせない工夫~
知的財産出前セミナー 「先生、勝手にかえないでください」と 言われない様に 一学生創作物の権利化を尊重する為には一	厳格な評価の必要性やその方法・ツール
知的財産出前セミナー①〇〇大学事件から学ぶ事「法人著作」 受託研究は誰が書いた事になるのか?②「STAP細胞あります」か ら学ぶ事 「適切な引用」とは 他人の論文から引用する場合の 注意点	主体的な学びを促すシラバスの作成
地域間連携による、多世代共創コミュニティづくり(シェア奥沢に ついて)	「価値の発見」を実現する教育〜3 つのポリシーの理解と共有を 基盤として〜
利益相反マネジメントの目的と必要性について	「深い学び」を実現する教育実践の構築~off-campusを中心に~
アクティブラーニング研修会	「深い学び」を実現する教育実践の構築~on-campusを中心に~
授業の基本研修会一授業の基本と授業づくり一	2015年度 ○○大学「全学FD・SD講習会」
成績評価法研修会ールーブリックの作り方一	2015年度 全学教員研修会
How to Prepare Scientific Articles in English	第4回KGU高等教育セミナー 外国語による教授法セミナー ― 入門編 ―
コンプライアンス研修 一情報漏洩リスク対策を中心に一	第5回KGU高等教育セミナー 高大接続を考える一魅力ある大学に必要なSD活動とは一

マップ・フローチャート・ナンバリング等の一株的理系や一次を成を推り着なミナー では、1911/100/4 2015 第7 回径の運動を持ちます。 スター は、1911/100/4 2015 第7 回径の運動を持ちます。 スター 法を指性を含ませるチカラ 学生の潜在地力と数議員との協動が、大学を変革させる一 アクティブラーニング 社会が本学に規律すること、本学がやるべきこと 大学大学における「国際技験」の考え方と設計のホイントー評価 (2015/07/18) で生とのかかわりよの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) で生とのかかわりよの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) で生とのかかわりまの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) が大学に対ける「国際技験」の考え方と設計のホイントー評価 (2015/07/18) で生とのかかわりよの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) が大学に対ける「国際対験」の考え方と設計のホイントー評価 (2015/07/18) が大学に対けると呼音の選手と対応で (2015/07/17) 大学におけるを育り動力を展開 (2015/07/17) 大学におけるを育り動力を展開 (2015/07/17) 大学におけるを育り動力を展開 (2015/07/17) 特色ある技業実践結介(2016/07/20) 学生のアジの情報を表である。 アグロ・ジの講演会 「陸市のある学生への合理的配慮を基まえた形学 教育の変わり、アドバンストラクションファート」実施 教育の変わっための「投業評価アンケート」実施 教育の変わりにから、「アクティブ・ラーニングの実践と認識」 教育の変的内上のための「投業評価アンケート」実施 教育の変わり、アドバンストラークションファークト (2015/07/20) 第4次の教育をものとから、アドバンストラークションファークト (2015/07/20) 第4次の教育・研究授業 「アドバンストラークションファークト」 (2015/07/20) アドバンストラークションファークト (2015/07/20) 第4次の教育をならなかたがに、アドバンストラークションファーク (2015/07/20) 第4次の教育をならなかたがに、アドバンストラークションファーク (2015/07/20) 第4次の教育を対しなが表示すると表示を研究技術を対していたが、日本の教育を表示を対していた。 (1015/2月教育) 「日本を表の方数が存していた」 (1015/2月教育) 「日本を表で対していた。 (1015/2月教育) 「日本を表で対したが表示すると表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	表8-2 A. 全学主催のFD	
マップ・フローチャート・ナンバリング等の一株的理系や一次を成を推り着なミナー では、1911/100/4 2015 第7 回径の運動を持ちます。 スター は、1911/100/4 2015 第7 回径の運動を持ちます。 スター 法を指性を含ませるチカラ 学生の潜在地力と数議員との協動が、大学を変革させる一 アクティブラーニング 社会が本学に規律すること、本学がやるべきこと 大学大学における「国際技験」の考え方と設計のホイントー評価 (2015/07/18) で生とのかかわりよの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) で生とのかかわりよの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) で生とのかかわりまの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) が大学に対ける「国際技験」の考え方と設計のホイントー評価 (2015/07/18) で生とのかかわりよの考え方(アドバイジング)と可能性 (2015/07/18) が大学に対ける「国際対験」の考え方と設計のホイントー評価 (2015/07/18) が大学に対けると呼音の選手と対応で (2015/07/17) 大学におけるを育り動力を展開 (2015/07/17) 大学におけるを育り動力を展開 (2015/07/17) 大学におけるを育り動力を展開 (2015/07/17) 特色ある技業実践結介(2016/07/20) 学生のアジの情報を表である。 アグロ・ジの講演会 「陸市のある学生への合理的配慮を基まえた形学 教育の変わり、アドバンストラクションファート」実施 教育の変わっための「投業評価アンケート」実施 教育の変わりにから、「アクティブ・ラーニングの実践と認識」 教育の変的内上のための「投業評価アンケート」実施 教育の変わり、アドバンストラークションファークト (2015/07/20) 第4次の教育をものとから、アドバンストラークションファークト (2015/07/20) 第4次の教育・研究授業 「アドバンストラークションファークト」 (2015/07/20) アドバンストラークションファークト (2015/07/20) 第4次の教育をならなかたがに、アドバンストラークションファーク (2015/07/20) 第4次の教育をならなかたがに、アドバンストラークションファーク (2015/07/20) 第4次の教育を対しなが表示すると表示を研究技術を対していたが、日本の教育を表示を対していた。 (1015/2月教育) 「日本を表の方数が存していた」 (1015/2月教育) 「日本を表で対していた。 (1015/2月教育) 「日本を表で対したが表示すると表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	記述	内容
※書面が北地水水で・3 1 11 31 COMA 2019	画像不正と疑われないための画像処理	第6回KGU高等教育セミナー カリキュラムを"可視化"する方法 ーマップ・フローチャート・ナンバリング等の一体的理解へ一
双方向授業の方法と効果について	災害感染症対策セミナー in SHIZUOKA 2015	
大学中のメンタルへルスとキャンバスライフ 大学へ試における「国接試験」の考え方と設計のポイントー評価 の技・化を中心に一 の技・化を中心に一 の技・化を中心に一 の技・化を中心に一 の技・化を中心に一 の技・化を中心に一 の技・化を中心に一 の技・グロースときれるアウトの境域  一型との思めをどう実施するか、水域係不振、精神的悩み、発達所需 などを表える学生の理解と対応・(2015/7/11) 大教堂での教授法、一講教師の「墓をのか? (2015/7/11) 大教堂での教授法、一講教師の「墓をつける」記し方のコツ (2015/6/28) Multiple Mini Intarviewの可能性と関界 大学における教育の新たな展開 一次の10年にむけて〜 特色ある技業実践研介① (2015/1/28) 科学研究費助放本業必算について 〇〇県大学連携シンボジウム スキルとしての「学び方」学 交技、大学、観想から つつ、8時演奏 「陳香のある学生への合理的配慮を踏まえた修学 支援 教育商菓フオーラム 『アクティブ・ラーニングの実験と決題』 教育の英俊向上のための「投棄が備プンケート」実施 教育の英俊向上のための「投棄が備プンケート」実施 教育の英俊向上のための「投棄が備プンケート」実施 教育の英俊向上のための「投棄が備プンケート」実施 教育の英俊向上のための「投棄が備プンケート」実施 アドバンスト・ワークションブ「医学教育分野別評価(国際認証)受 第に向けた自己点検・自己評価の作成。 アドバンスト、ワークションブ「医学教育分野別評価(国際認証)受 第に向けた自己点検・自己評価の作成。 アドバンスト・フークションブ「医学教育分野別評価(国際認証)受 第に向けた自己点検・自己評価の作成。 アドバンスト・フークションブ「医学教育分野別評価(国際認証)受 第に向けた自己点検・自己評価の作成。 アドバンスト・フークションブ「医学教育分野別評価(国際認証)受 第に向けた自己点検・自己評価の作成。 アドバンスト・フーの「2017」「医学教育分野別評価(国際認証)受 第に向けた自己点検・自己評価の作成。 「おおおは事務を育定」」の「近洋用教育で」「「ルテスト作成」 「の大学を育り、「ロバスト作成」」の「近洋用教育で」「「アテストとレボート提出の設定と管理」 「ロバス用教育で」「「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「ログイン方法・コースの仕組み・基本的な技術」 2回 「ロバス用教育で」「ログイン方法・コースの仕組み・基本的な技術」 2回 「ロバス用教育で」「ログ・フトとレボート提出の設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「アンケートの設定と管理」 「ロバス用教育で」「ログ・トの記述を表示されている。 「ロバス用教育をしているの表示されている。 「ロバス用教育で」「ログ・トのでは教育を表示されている。 「ロバス用教育をしているの表示されている。「対すないるの表示ないるの表示ないる。「対すないるの表示ないるの表示ないる。「対すないるの表示ないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないる。「対すないるの表示ないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないる。「対すないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないるの表示ないる。「対すないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるのではないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないる。 「ログ・トのではないるの表示ないるの表示ないるの表示ないるの表示ないるの表示ない	人口減少社会の課題と高等教育機関の役割	アクティブラーニング
大学入説における「面接試験」の考え方と設計のポイント一部価	双方向授業の方法と効果について	社会が本学に期待すること、本学がやるべきこと
の統一化を中心に一	大学生のメンタルヘルスとキャンパスライフ	F Dを全学的に動かす試み:愛媛大学での経験から(2015/11/6)
などを抱える学生の理解と対応 (2015/6/26)  面接の原則と技法 一人の見きわめ方 一	大学入試における「面接試験」の考え方と設計のポイントー評価 の統一化を中心に一	
大教室での教授法 ~講談師の「惹きつける」話し方のコツ (2015/5/29) 大学における教育の新たな展開 ~次の10年にむけて~ 特色ある授業実践総介①(2015/12/18) 特色ある授業実践総介②(2016/2/26) 学生の学びの異の転換に向けた「学修行動調査アンケート」実施 で 大学、	動物実験に関するFD講演会「遺体科学の提唱」	学生の適応をどう支援するか 〜成績不振, 精神的悩み, 発達障害などを抱える学生の理解と対応〜 (2015/6/26)
大学における教育の新たな展開 〜次の10年にむけて〜 特色ある授業実践紹介①(2015/12/18) 科学研究費助成事業応募について 特色ある授業実践紹介②(2016/2/26) 学生の学びの質の転換に向けた「学修行動調査アンケート」実施 大文学、職場から ロールの構造というできません。 「アクティブ・ラーニングの実践と課題」 教育の質的向上のための「投業評価アンケート」実施 教育改革フォーラム 『アクティブ・ラーニングの実践と課題』 教育の質的向上のための「投業評価アンケート」実施 教育改革フォーラム 『アクティブ・ラーニングの実践と課題』 教育の質的向上のための「投業評価アンケート」実施 教育改革フォーラム 『クロ・市立大学の教育を考える』 学生の大学生活を支援するセミナーの「欠席者調査」実施 教養教育・研究授業 『学生の主体的な学びを導く授業実践』 常に向けた自己点後・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ [医学教育分野別評価 [国際認証]受 常に向けた自己点後・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ [基学教育分野別評価 [国際認証]受 学・アバンスト ワークショップ [基学教育分野別評価 [国際認証]受 学・アバンスト ワークショップ [基学教育分野別評価 [国際認証]受 学・ドバンスト ワークショップ [基学教育分野別評価 [国際認証]受 学・ドバンスト ワークショップ [基学教育分野別評価 [国際認証]受 学に向けた自己点後・自己評価の作成」 「IT活用教育FD 「LENONOリッカーの基本的な機能と操作方法の学習」 10回 「IT活用教育FD 「LENONOリッカーの基本的な機能と操作方法の学習」 10回 「IT活用教育FD 「「原本で実際でいて」 2回 「IT活用教育FD 「「タイン方法・コースの仕組み・基本的な操作」 2回 「IT活用教育FD 「「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「同サイン方法・コースの仕組み・基本的な操作」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「同サイン方法・コースの仕組み・基本的な操作」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「原本・ロンテンツ作成」 2回 学技の管理 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「原本・ロンテンツ作成」 2回 学技の管理 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「原本・ロンテンツ作成」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「原本・ロンテンツ作成」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「原本・ロンテンツ作成」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「原本・ロンテンツ作成」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「原本・コーテンツ作成」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「原本・ロー・アンヴァイン・アンツ作成」 2回 「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「東ンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「東ンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「アンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「東ンケートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「「東ンケートの設定、アンゲートの設定と管理」 「IT活用教育FD 「原本・基本・アンゲートを表示していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	面接の原則と技法 一人の見きわめ方一	高大接続・入試改革で、日本の教育は変わるのか?(2015/7/11)
科学研究費的成事業応募について  〇〇県大学連携シンボジウム スキルとしての「学び方」 学 校、大学、融場から  フトリーションは関連会 『辞書のある学生への合理的配慮を踏まえた修学 支援』  教育改革フォーラム 『アクティブ・ラーニングの実践と課題』 教育の質的向上のための「授業評価アンケート」実施 教育改革フォーラム 『アクティブ・ラーニングの実践と課題』 教育の質的向上のための「授業評価アンケート」実施 教育改革フォーラム 『〇〇市立大学の教育を考える』 学生の大学生活を支援するセミナーの「欠点・香調査」実施 教養教育・研究授業 『学生の主体的な学びを導く授業実践』 響に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受 響に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受 等に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受 等に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受 等に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受 等に向けた自己点検・自己評価の作成」 「ATS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・「IDITS用教育・IDITS用教育 IDITS用教育 IDI	Multiple Mini Intarviewの可能性と限界	
○○県大学連携シンボジウム スキルとしての「学び方」 学 学生の学びの質の転換に向けた「学修行動調査アンケート」実施 大学・ 熟境から で	大学における教育の新たな展開 ~次の10年にむけて~	特色ある授業実践紹介①(2015/12/18)
校、大学、職場から 一つ・SD講演会 『障害のある学生への合理的配慮を踏まえた修学 教育改革フォーラム 『アクティブ・ラーニングの実践と誤題』 教育の質的向上のための「投業評価アンケート」実施 教育改革フォーラム 『〇〇市立大学の教育を考える』 学生の大学生活を支援するセミナーの「欠席者調査」実施 教養教育・研究授業 『学生の主体的な学びを導く授業実践』 アドバンスト ワークショップ [医学教育分野別評価(国際認証)受 審に向けた自己点検・自己評価の作成」 エキャンパス・セクシャル・ハラスメントー加書者にも被害者にも 「ENON クリッカーFD 「LENON クリッカーFD 「LENON クリッカーFD 「LENON クリッカーFD 「人工の基本的な機能と操作方 「大の学習」 10回 〇〇大学医学部における地域医療教育について 「CT活用教育FD 「ホテスト作成」 「CT活用教育FD 「ボーストとレポート提出の設定と管理」 「CT活用教育FD 「第権権で実際に問題になる点について」 2回 〇〇大学 医学科・看護学科新任教員研修会 「CT活用教育FD 「「ボーストとレポート提出の設定と管理」 「CT活用教育FD 「バテストとレポート提出の設定と管理」 「CT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「CT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「CT活用教育FD 「アンケートの設定と管理」 「CT活用教育FD 「ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 〇大学 医学科新任教員研修会 「CT活用教育FD 「モートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「モートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「でボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「でボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「でボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「でボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「でボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの性観を発行」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの代表・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの代表・基本的な操作」 2回 「CT活用教育FD 「電ボートフォリオの発展を発音を発展しているな操作」 2回 「CT活用教育FD 「国が、TYT・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	科学研究費助成事業応募について	特色ある授業実践紹介②(2016/2/26)
対している。 対しているのではいる。 対しているのではいるのではいる。 対しているのではいるにいるのではないる。 対しているのではないるにいるのではないるにいるのではないるにはいるいるにはないる。 対しているのではないるないるにはないるないるにはないるないるはないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	○○県大学連携シンポジウム スキルとしての「学び方」 学 校、大学、職場から	学生の学びの質の転換に向けた「学修行動調査アンケート」実施
教育改革フォーラム 『○○市立大学の教育を考える』 学生の大学生活を支援するセミナーの「欠席者調査」実施 教養教育・研究授業 『学生の主体的な学びを導く授業実践』 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受 書に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受 書に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ 「医学教育分野別評価(国際認証)受 書に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ 「医学教育分野別評価(国際認証)受 書に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ 「医学教育分野別評価(国際認証)受 書に向けた自己点検・自己評価の作成」 IENONクリッカーFD 「LENONクリッカーの基本的な機能と操作方法の学習」 10回 ICT活用教育FD 「IENONクリッカーの基本的な機能と操作方法の学習」 10回 ICT活用教育FD 「小テスト作成」 ICT活用教育FD 「小テスト作成」 ICT活用教育FD 「本行本の教育改革(なぜ医学教育改革が必要なのか) ICT活用教育FD 「書作権で実際に問題になる点について」 2回 ICT活用教育FD 「全世界・石田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田		教員の授業改善及び教育研究のための「公開授業」実施
教養教育・研究授業 『学生の主体的な学びを導く授業実践』 アドバンスト ワークショップ「医学教育分野別評価(国際認証)受審に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ 「医学教育分野別評価(国際認証)受審に向けた自己点検・自己評価の作成」 アドバンスト ワークショップ 「医学教育分野別評価(国際認証)受審に向けた自己点検・自己評価の作成」	教育改革フォーラム 『アクティブ・ラーニングの実践と課題』	教育の質的向上のための「授業評価アンケート」実施
数養教育・研究授業 『双方向型授業』	教育改革フォーラム 『〇〇市立大学の教育を考える』	学生の大学生活を支援するセミナーの「欠席者調査」実施
教養教育・研究授業 『双方向型授業』	教養教育・研究授業 『学生の主体的な学びを導く授業実践』	アドバンスト ワークショップ (医学教育分野別評価(国際認証)受審に向けた自己点検・自己評価の作成」
次被害者にもならないために一   大学医学部における地域医療教育について   10T活用教育FD 「小テスト作成」   10T活用教育FD 「課題提出」   10回   10T活用教育FD 「課題提出」   10回   10T活用教育FD 「課題提出」   10回   10可活用教育FD 「	教養教育・研究授業 『双方向型授業』	アドバンスト ワークショップ (医学教育分野別評価(国際認証)受
ICT活用教育FD 「課題提出」   ICT活用教育FD 「課題提出」	キャンパス・セクシャル・ハラスメント―加害者にも被害者にも 二次被害者にもならないために―	
○○大学医学部の教育改革(なぜ医学教育改革が必要なのか) ICT活用教育FD 「著作権で実際に問題になる点について」 2回 ○○大学 医学科・看護学科新任教員研修会 ICT活用教育FD 「ログイン方法・コースの仕組み・基本的な操 2回 「の大学における診療参加型臨床実習の取組み ICT活用教育FD 「ホテストとレポート提出の設定と管理」 ICT活用教育FD 「アンケートの設定と管理、ピア評価、学生の学習状況の管理」 「アンケートの設定と管理、ピア評価、学生の学習状況の管理」 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「電ポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「簡単なeコンテンツ作成」 2回 ICT活用教育FD 「簡単なeコンテンツ作成」 2回 ICT活用教育FD 「簡単なeコンテンツ作成」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフォリオの仕組み・基本のな操作」 2回 ICT活用教育FD 「でポートフィートフィートフィートフィートフィートフィートフィートフィートフィートフィ	○○大学医学部における地域医療教育について	ICT活用教育FD 「小テスト作成」
□○大学 医学科・看護学科新任教員研修会 にび活用教育FD 「ログイン方法・コースの仕組み・基本的な操作」 2回 「ハテストとレポート提出の設定と管理」 「○○大学における診療参加型臨床実習の取組み にび活用教育FD 「アンケートの設定と管理、ピア評価、学生の学習状況の管理」 「アンケートの設定と管理、ピア評価、学生の学習状況の管理」 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 にび活用教育FD 「電ポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ドラ研修会 「ログイン方法・コースの仕組み・基本的な操作」 「アンケートの設定と管理、ピア評価、学生の学習状況の管理」 「でポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回 ドラ・ログの講習会 「日研修会」 「日本・ログの講習会」 「日本・ログの講習会」 「日本・ログの講習会」 「日本・ログの講習会」 「日本・ログの講習会」 「日本・ログの書で、日本・ログの書で、日本・ログの書で、日本・ログの書で、日本・ログの書で、日本・ログの書で、日本・ログの書で、日本・ログイン方法・コースの仕組み・基本的な操作」 「ログ・ファートの設定と管理」 「ログ・ファートの設定と管理」 「ログ・ファートの設定と管理」 「ログ・ファートの設定と管理」 「ログ・ファートの設定と管理」 「ログ・ファートの設定と管理」 「ログ・ファートの表に、ファートの書で、日本・ログ・ファートの書で、「ログ・ファートの書で、「ログ・ファートの表に、ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ログ・ロ	医療専門職とジェンダー 〜生涯キャリアの観点から〜	ICT活用教育FD 「課題提出」
○○大学 医学科新任教員研修会	○○大学医学部の教育改革(なぜ医学教育改革が必要なのか)	ICT活用教育FD 「著作権で実際に問題になる点について」 2回
□ CT活用教育FD 「アンケートの設定と管理、ピア評価、学生の学習状況の管理」 □ CT活用教育FD 「eポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2 回 □ CT活用教育FD 「eポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2 回 □ CT活用教育FD 「簡単なeコンテンツ作成」 2 回 □ E業評価 □ E型	○○大学 医学科·看護学科新任教員研修会	
図大学における診療参加型臨床美者の取組み 習状況の管理」  「CT活用教育FD 「eポートフォリオの仕組み・基本的な操作」 2回  授業公開  「CT活用教育FD 「簡単なeコンテンツ作成」 2回  「D研修会  ローニングの講習会  「D研修会  ローニングの講習会  「会別で表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	○○大学 医学科新任教員研修会	ICT活用教育FD 「小テストとレポート提出の設定と管理」
2回	○○大学における診療参加型臨床実習の取組み	
授業評価 FD研修会  ロラーニングの講習会 公開授業Week  学ぶ力の潜在力を引き出す実践学としての学習科学 ○○大学改革フォーラム  県大の教育をもっとよくしていくための3つの議論 大学におけるISO9001の実践事例  ○○大学男女共同参画講演会 JICAの国際協力の現状  医学教育の質保証と医学教育改革…望まれるアウトカム基盤型学 ○○大学の取り組み ―国際教養人の育成について―	FD研修	
タラーニングの講習会 公開授業Week 公開授業Week	授業公開	ICT活用教育FD 「簡単なeコンテンツ作成」 2回
学ぶ力の潜在力を引き出す実践学としての学習科学  県大の教育をもっとよくしていくための3つの議論  一〇〇大学男女共同参画講演会  「CO大学男女共同参画講演会  「CO大学の取り組み 一国際教養人の育成について一	授業評価	FD研修会
県大の教育をもっとよくしていくための3つの議論 大学における I S09001の実践事例  ○○大学男女共同参画講演会 JI CAの国際協力の現状  医学教育の質保証と医学教育改革・・・望まれるアウトカム基盤型学 ○○大学の取り組み 一国際教養人の育成について一	eラーニングの講習会	公開授業Week
○○大学男女共同参画講演会 JICAの国際協力の現状 医学教育の質保証と医学教育改革・・・望まれるアウトカム基盤型学 ○○大学の取り組み 一国際教養人の育成について一	学ぶ力の潜在力を引き出す実践学としての学習科学	○○大学改革フォーラム
医学教育の質保証と医学教育改革・・・望まれるアウトカム基盤型学 図 ○○大学の取り組み 一国際教養人の育成について一	県大の教育をもっとよくしていくための3つの議論	大学における1809001の実践事例
習	○○大学男女共同参画講演会	JICAの国際協力の現状
	医学教育の質保証と医学教育改革···望まれるアウトカム基盤型学 習	○○大学の取り組み 一国際教養人の育成について一
協向学習の埋論・技法とその実践 禁煙のススメ 禁煙のススメ	<sup>日</sup> 協同学習の理論・技法とその実践	禁煙のススメ

表8-2 A. 全	学主催のFD
記述	内容
めざそう!!楽しく学べる講義	3つのポリシーの見直し
一貫性のあるカリキュラム構築	アクティブラーニング
大学教育課程の現状と未来	キャリア講座
大学事務職員の役割	ヒューマン・コミュニケーション教育一人間関係を構築する際に 大切なコミュニケーション&「気づきの体験学習」の体験一
科研費採択に向けた講演	大学生の発達障害ーその特徴と対応における注意点ー
研究倫理	本学学生の精神的健康についてー4年間のUPIの結果より一
ハラスメント:こんな時どうする~相談から解決まで~	「銚子学」第1回
高等教育の質保証と教育実践の接続〜学生の学びと成長を促すた めの方法とは〜	「銚子学」第2回
採択される科研費申請書の書き方	「銚子学」第3回
大学をめぐる諸問題と法的対応〜教職員相互間のトラブルと大学 の関わりを中心に〜	ICTを用いた効果的な授業展開
大学環境に関するFD·SD研修	コミュニケーションカ向上~ことばのカ
発達障害のある学生への修学支援〜大学はなにをどこまでやるべ きか〜	よりよいシラバスについて考える
平成27年度新任教・職員研修会	大学教育の質的転換の現状と課題
教育方法や評価方法についてみんなで考えよう	カリキュラムツリーを見直す
コミュニティケア教育研究センター設立構想	ポートフォリオの活用
サイエンスカフェ「作ることからわかること〜「おもちゃ」こど もと人の間にあるもの」	個の充実、そして組織の成長へ
学生生活満足度調査の結果について	時間外の学修をどう考えるか
本学の地域貢献の方向	○○大学教学IR事始め
「IR (Institutional Research) の導入やその活用、IRの組織作り・労力とその結果」	中部大発『魅力ある授業づくり』〜FD推進体制と取り組みを軸に 〜
「あなたは狙われている 2015」	オープンエヂュケーションとMOOCがもたらす大学の未来
「研究における発想の転換-がん探知犬の育成-」	教育理念とカリキュラムポリシー
「研究における倫理的配慮」	コンプライアンス教育に関する研修/教育の質的転換
「研究の実際~隣の先生は何をやっているんだろう~」	ルーブリックスと教学IR/学修成果の測定・ルーブリックス作成 について
「研究論文の質向上に向けた査読のあり方」	本学のグローバル教育の取り組み/コミュニケーション社会学科 の新たな取り組み/情報漏洩はなぜ起きるか
「修学や学生生活の支援を必要とする学生の理解と支援」	「研究促進と公的研究費不正使用・研究不正防止」のための研修
「標的型攻撃と今後の状況 2015版身を守る基本」	「新1号館ラーニング・コモンズ」について
教員・職員・学生によるFD活動と大学マネジメント	安田の教育一安田の挨拶一
新規採用教職員研修会	英語による授業―日頃の実践から考えること―
キリスト教文化研究センター公開セミナー: 「キリスト教と教育」	学校教育法の改正に伴う調査結果について
教職員研修会:「今カトリック大学とは一その使命と課題」	学校法人における経営・財務状況の見方
教職員全体研修会:教育理念と建学の精神	授業外学習活性化のための研修・事例報告3例
人権問題研修会:マララ・ユフフザイさんの国連演説のDVD鑑賞から「世界の女性教育」について考える	新任教育ミーティング
人権問題研修会:ルワンダの子供たちの教育と栄養	講演会 「学修成果の可視化に向けてのFDと評価」
特別セミナー:「地の塩として生きるために」	科学研究費補助金(科研費)獲得セミナー
	人兴 +  p  の

表8-2 A. 全	学主催のFD
記述	内容
学生主体の授業づくり	教育力向上研修
最終自己評価及び相互評価、次年度に向けての展望	全学合同検討会 「学科課題シート」
大学改革は、授業改革、意識変革から	○○大学・短期大学部の教育改革 ~現状と課題~
反転授業等についての実践、研究を踏まえ、自学力システムの構 築という観点から教育内容と授業方法の改善・改革をどう進める か	夢実現に向けた学生に対するクラス担任の取り組みを考える
研究倫理について	キャリア支援基礎研修会
発達障害をもつ学生への支援	学生支援に関する研修会(講演会)
学習障害、発達障害について具体的な学生の事例と対応策	ハラスメント研修会
高大接続の課題-明日の入学生に最適な教育を-	科研費公募要領等説明会、研究倫理教育研修会及び科研費獲得セ ミナー
○○大学主催のFD合宿セミナーの報告	学習成果の把握と授業改善
アクティブラーニングの基本と活用術	学生相談に関する教職員研修会「岐阜キャンパスにおける今後の 学生支援について考える」
FDの時間軸と空間 -FDは目指すものを今一度考え直したい-	学生相談に関する教職員研修会「発達障害の理解と対応」
学生に伝わる授業展開	研究倫理について
職員が拓く大学の未来	授業改善報告会
ルーブリック評価とFD	2015年度就職活動の状kというと今後の動向
新しい時代の大学教育をめざして 〜発達障害学生に関する教育と 就職支援について〜	IRを活用した教育改善に向けて
平成27年度 ○○県立教育センター 研究授業発表会	キャンパス・ハラスメントのない教育・職場環境を目指して
FDワークショップ「アクティブ・アカデミーの有効活用につい て」	よい授業を作るために
FD研修会「ウェブ・ポータルシステムを用いたポートフォリオに ついて」	実践プロジェクトの取り組みに向けて
学生による授業アンケート	科研費申請書の書き方
授業相互見学	個人情報保護に関する基礎知識
医療福祉分野における高等教育のありかた一学生の主体性を引き 出すファシリテーション力を高める一	高校・短大・大学を、つなぎ、結ぶ、学生と教師のアクティブ ラーニング
医療福祉分野における高等教育のありかた	理解と意欲のメカニズム~学習意欲を高める授業設計のために
優秀教育賞	「障がい学生支援の実践と課題」 ~○○大学の事例より~
医療人教育者のためのワークショップ	性的マイノリティの学生、生徒に対する理解と教育現場での対応
医療人教育者のためのワークショップ・アドバンス	シラバス作成方法とカリキュラムマネジメントの検証(学科別)
科研費獲得向上のための取り組み	シラバス作成方法とカリキュラムマネジメントの検証(総論)
日常診療から見える現在の学生気質	科学研究費応募にあたって
医療福祉グループの経営視点	学生による授業評価の結果と公表
教員が関わり困難を感じる学生への対応スキル〜事例を通じて〜	教員相互の授業参観と評価
心に問題をかかえる学生の対応について	研究活動に関する不正防止研修 (研究倫理教育及び研究活動上の不正行為防止の内容)
学内研究会(教員報告・学生報告・研修事業発表・地域連携事例 発表等)	初年度の教育の振り返り
アドバンスコース	新任教員及びその他の教員に対する教育方法、学生指導等の研修
シナリオ作成コース	建学の精神と教育理念に関する研修会

表8-2 A. 全	学主催のFD
記述	内容
ビギナーズコース(初任者)	「FD レポート第9号」の発行
ファシリテーター養成コース	2016年度新任教員対象FDガイダンス
学生指導のための教員ガイダンス	在学生アンケートの実施
人材啓発研修会	秋学期授業アンケート実施
"P(A+C+D)×T(F+L+R)=要(かなめ)ー確かな 学びを支えた授業デザインー	秋学期授業評価報告の公開
"P(A+C+D)×T(F+L+R)=要(かなめ)-基本に 戻って・・・Hop!Step!Jump!-	春学期授業アンケート実施
第1部 初年次教育の重要性とその意義(講演) 第2部 学修成果基盤型カリキュラムとシラバス	春学期授業評価報告の公開
全学FD研修会「〇〇大学FD合宿セミナー」 「大学コンソー シアム八王子FD・SDフォーラム」報告会	新入生アンケートの実施
全学FD研修会「事前事後学修の重要性と実践方法」	大学教員のためのインストラクショナルデザイン入門
第20回コンソーシアム京都FDフォーラム 報告会	第4回アクティブ・ラーニング研究会の開催
「決める」会議のためのファシリテーション	第5回アクティブ・ラーニング研究会の開催
「聖路加のあゆみ」と歴史社会学の視点から考える	「安全の日」防災学習 など
Teaching Crinical Thinking	オリエンテーション
シミュレーション教育の基本	教務部事項 など
シミュレーション教育の体験	就職部事項、総合研究機構事項 など
フリーソフトの使用方法	大学の管理運営 など
リユニオン〜知的財産の共有〜	入試部・学生部事項 など
学習効果を高める反転授業のデザイン	理事長懇談・学長企画 など
研究計画書の書き方セミナー	大学をとりまく問題と評価
1学期授業アンケート	新任教員FD討論会
2学期授業アンケート	大学で教える人のためのリーブリック評価入門
アクティブラーニングのFuture Design アクティブラーニング入 門	サンプルサイズの求め方・統計ソフトRの入門
学生と教員による授業について話し合う会	科学研究費助成事業・厚生労働省科学研究費補助金等の執行に関 する取り決め事項
研究倫理について	心の個別性と向き合うコミュニケーション 一青年期の課題を抱 えた学生への対応一
授業研究会(公開授業)	卒業研究指導
ハラスメントに関する研修	特定行為と特定行為に係る看護師の研修制度の概要
学生への対応	文献検索・ツールの活用方法
今、大学に求められる学修効果とは?〜思考力育成のための教育 のあり方を考える〜	○○大学校医学教育部ワークショップ
授業デザイン(授業設計・模擬授業)	

≠0.0 D 手選系の営却	<b>光型 上类哈子庞介-D</b>
	・学科、大学院主催のFD
	内容
看護教育における模擬患者参加型教育方法の検討	我が校における自校史及び教育の展望について
看護・教育実践を問い直す ーリフレクションを通じてー	初年次教育・アクティブラーニングに関するFD・SD研修会
量的研究の基礎アンケート用紙の作成と処理、アンケート結果に 基づく多様なデータ解析について	人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
科学研究費獲得に向けての研究推進	特定行為に係る看護師の研修制度について
自己の指導感・看護感・学生感を振り返り、実習指導の目標を明 確に	教員と学生との意見・情報交換会 1回目
実習指導場面の教材化と自己評価	教員と学生との意見・情報交換会 2回目
日本看護系大学協議会報告	第1回学部研修会「FDマップの活用方法」
臨床の知を育てる~臨地実習の意義と実習指導者の	第2回学部研修会「授業相互聴講からピアレビューへ」
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に対応した研究計画 書の記載のしかた	第3回学部FD研修会「よいピアレビューのあり方」
ヒヤリングセミナー(教員の研究等の発表)(3回開催)	FNFP&CNEのこれからを考える
大学院生の研究計画の発表(9回開催)	Manabaの使用方法
○○大学 ナーシング・プロフェッショナル育成入試の概要	カリキュラム2015とサービスラーニング
eラーニング講習会	マックマスター大学看護学部における学士号取得速修コースの開発と実践
F D 部会 後期公開授業22件	新しい取り組みと今後の展望
F D 部会 前期公開授業46件	電子ホワイトボードの使用方法
チーム医療教育における講演会	臨床判断モデルと看護過程
医療・医人倫理学公開授業 一臨床研究における倫理についてー	カリキュラムポリシーとリテラシー・コンピテンシー能力の関連性・連動性について
作業療法の魅力を伝える講演会	人間看護学科学生アンケート調査(教育理念認識アンケート)
「いのち」の在り方と死生	科研費申請のポイントと工夫
Education and Professional Activities of Radiological Technologists and Medical Physicists in Thailand	A教員の研究紹介と今後の展望
English Dialogues for Clinical Practice	クリティカルケア領域に勤務する経験浅い看護師が抱える人工呼 吸器離脱に向けた判断の困難さ
Patient Autonomy and Informed Consent - Compared between America, Europe and Germany -	初年次教育の展開に向けて ~初年次教育における教育目標とそれを達成する方法論~
医療制度の改革・地域包括ケアの岐阜県の事態と課題	職場におけるメンタルヘルス支援の実際 〜メンタルヘルス対策 の導入〜
授業内容の共有	入浴が身体に及ぼす影響と看護介入のポイント
本学における看護学分野の教育・研究に関する国際化推進に向け て	編入生の「表現技法の基礎」について
学部授業参観	カリキュラム ディプロマポリシーとカリキュラムマップの評価 による新カリキュラムマップの検討
授業参観実施報告	教師学・看護ふれあい学から学ぶ 学生の自立をうながす接し方と看護指導のヒント
大学院授業参観	アルバーノ大学研修報告
平成26年度「授業改善のためのアンケート」実施報告	看護系大学教員の役割とキャリア発達について
平成26年度新任教員による研究ならびに教育活動に関する紹介① と②	技術検討小委員会の活動報告
『地域での暮らしや看取りまでを見据えた看護が提供できる人材に関する質問調査』に関する全体調査結果報告会とインタビュー調査(9/17)	健康障害のある学生への対応マニュアルの必要性
10年後を見据えた学部教育における看護学臨地実習のあり方と質の担保に関する講演会ならびいにゲループワーク(2/29)	千葉大ワークショップ 10年後を見据えた看護学教育の質改善の 取組~臨地実習の質保障に焦点を当てて~
	ı ,

大学教員の役割とキャリア発達

ベストティーチャー賞受賞者による講演

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催の F D
記述	内容
学部教育における臨地実習のあり方と質の担保につい(2/29)	「さらなる看護学の発展と看護教育の質保障に向けて」
医学英語	「研究における統計解析のキーポイント」
学生・教員に役立つシラバスの書き方	「倫理審査申請書作成について」
犯罪被害について知っておいてほしいこと一性犯罪被害の実態と その支援—	「食べる・食・食事・栄養・消化・吸収」における各領域・分野 で具体的にどのように授業内容を構成しているか知る
医学・看護学教育における実習教育のあり方	授業で心がけていること①
10年後を見据えた看護学教育の質改善の取り組み 臨地実習の質 保証に焦点をあてて	授業で心がけていること②
PNS体制における効果的な実習指導に向けて	アクティブラーニング
後期からの実習の説明と意見交換会	科研申請について
困難を抱える学生の学習支援について学ぶ	看護教育評価
実習での困りごとや気がかりなど自由に語り合い 共有すること で、教員のリフレクションと教育の実践に活かす	効果的な看護教育方法について
実習での困難事例に関する意見交換会	新カリキュラムの検討
平成27年度臨地実習まとめの会	新任教員オリエンテーション、目標設定
臨地実習中に学生指導に困難を感じた事例について検討する	新任教員目標設定、振り返り、フォローアップ
ハラスメントの理解と防止	新任教員目標設定における中間評価
亥鼻 PEステップ1の指導教員への研修会(医学部・看護学部・薬学部合同)	統合実習FD
亥鼻IPEステップ2の実習指導担当者への研修会(医学部・看護学部・薬学部合同)	領域別実習振り返りFD
亥鼻 PEステップ3の演習指導担当者への研修会(医学部・看護学部・薬学部合同)	臨地実習指導者研修会
亥鼻 PEステップ4の演習指導担当者への研修会(医学部・看護学部・薬学部合同)	臨地実習指導責任者調整会議
英語プレゼンテーションセミナー	科研費の申請について
看護学研究科における倫理審査の考え方と体制および申請の留意 点	科研費応募書類の書き方のポイント
教育実践力の育成に向けた効果的なTAのあり方	看護の臨床研究に関する倫理について
平成27年度看護学研究科新任教員FD	教育評価プロジェクトの調査結果について
平成27年度看護学部新任教員FD	公正な研究活動に向けて
グローバル社会のなかで女性や看護師がどのように活躍できるか	実習を語り合う会
これからの看護教育のあり方を考える	実習指導者研修会(全5回)
国立台湾大学と〇〇大学間の共同研究や教育の協働について	赤十字リサーチフェスタ2015
一時救命処置(心肺蘇生、AEDの使用法など)	学習評価と授業設計について
教員に向けたセクシャルハラスメント研修会―管理者として研究 室におけるセクシャルハラスメントを防止するには―	新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて
○○学・看護学専攻における大学院教育の在り方について考える	知識活用力を育成する授業設計について
教育改革 ①昨今の医学教育における潮流と、TMDUにおける教育改革の展望 ②国際バカロレアについて	FD·SDカメラ研修会 「メッセージ力のある記録写真をとろう」
学生の質問力を高めるために	FD·SD研修会 「大学教育改革の現状と今後の展開について一教職員協働による教育環境の整備一」
○○学・看護学専攻における大学院教育の在り方について考える	FD·SD研修会 「日本私立看護系大学協会大学運営・経営委員会 研修会について」
教育改革 ①昨今の医学教育における潮流と、TMDUにおける教育改革の展望 ②国際バカロレアについて	FD研修会 「看護基礎教育におけるアクティブ・ラーニングー本学の現状と今後の可能性ー」

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催のFD
記述	内容
学生の質問力を高めるために	FD研修会 「平成27年度看護学教育ワークショップについて」
ミッションの再定義と看護学専攻の機能強化	看護教員のための「誤嚥を予防する食事時のポジショニング」研 修会
「Presentation of a specific research project by English "Effects of Aonori dietary intake in human health"」(啓 発型·相互研修型)	研究助成金獲得のための説明会 「研究費の不正使用、研究活動における不正行為について」「平成28年度科学研究費助成事業 - 科研費- の応募要領等について」
医学部第1回「〇〇大学医学部の現状と展望、医療教育の方向性 を考える」	研究費助成獲得のための説明会 「研究の財政基盤を磐石なもの にするための方策を考える」
医学部第2回「チームワークを中心にした医療安全教育の実践〜 チームステップスの概要」	湯茶対応研修会
医学部第3回「医学部学生委員会の活動と取り組み」	学生による授業評価
夏期講習「メンタルヘルス支援の取り組み」「学生相談・カウン セリングの取り組み」	看護管理学演習Ⅱ:英語文献の読み方1回目
学生支援のための学習会「学生対応の基本〜教職員のための学生 支援の手引き(三訂版)による説明	看護管理学演習Ⅱ:英語文献の読み方2回目
大学病院看護部との意見交換会「臨地実習の目標達成状況と課 題」	看護管理学演習Ⅱ:英語文献の読み方3回目
第4回模擬患者参加型教育検討会	アウトリーチ/ソーシャルアクション実践に向けて -ソーシャル ワーカー養成のためになすべきこと-
第5回How To医療コミュニケーション教育「模擬患者さんを生かすファシリテートをしよう」	パフォーマンス評価導入の実際
第7回Simulationn医療教育特別講演会「学習者の思考をアクティブにするデブリーフィングのコツ」	看護福祉学における研究ノートの書き方・使い方
平成28年度短他人予定者対象の学習会「事例研究〜仮想事例につ いて」	学生の可能性を最大限に引き出す ○○大学の看護教育
1 時限の授業時間及びアクティブラーニング	臨床現場での新人看護師の育成 -キャリア開発支援の実際と展望 -
できる医療者に育つ/育てる教育のしくみ	タクティールケアと看護への応用
医学部におけるSP(模擬患者)参加型教育〜患者の視点から医療コミュニケーションを考える〜	公開授業
看護学専攻FD コンピテンスとカリキュラム	教員の教育力向上のためのFDのあり方
看護学専攻FD 教育の課題と今後のとりくみ	大学における教育、研究のあり方
国際認証自他における医学教育の質保証と方向性	臨床での「悶々」を解決するための研究とその後の応用 -セルフ マネジメントを支援する EASEプログラムをとおして-
研究指導と審査評価に対する具体的提案について	臨地実習における効果的な指導のあり方
H26年度特別研究支援経費研究成果報告	各領域の科目が学生の進級とともに活かされ、統合されていくた めの効果的な教育方法
H27年度特別研究支援経費計画発表	競争的資金の獲得の方法
Population Ageing and Healthy Ageing Strategy in Indonesia	新採用教員へオリエンテーション(教育者として)
ポートフォリオの活用	教育課程の体系を意識した授業づくり
障害をもつ学生への対応:合理的配慮の具体例	Think globally, act locally(地球規模で考え、足元から行動せよ)〜実践研究の方法と教育について〜
新しい倫理指針と倫理審査	ネパール民主共和国地震災害に対する国際緊急援助隊医療チーム 派遣活動報告
○○大学の研究力強化に向けて	看護学部共同研究費による研究助成成果発表会(若手研究)
○○大学の第3期中期目標·中期計画における教育分野の課題と保健学科への期待	看護学部共同研究費による研究助成成果発表会(領域研究)
事例をもとに実習指導の現状を共有し、実習指導のあり方をともに考える(看護学専攻・附属病院看護部合同FD)	教育の質を担保し、授業改善につながる学習評価について考える
研究会大会長をつとめて思うことその1	査読の基準や方法について
研究会大会長をつとめて思うことその2	世代間交流とアルツハイマー病者の生活の質に関する研究

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催の F D
記述	内容
現行カリキュラムを理解し、これからを考える	「障がい者差別法解消法と大学の障がい学生支援」―「合理的配慮」に基づく支援とは
学生を惹きつける実習指導法	実習ルーブリック研修会 第1回
「PBLチュートリアル教育の実践、方法」、「基礎・地域学ゼミナールの授業展開について考える」	実習ルーブリック研修会 第2回
グラウンデッドセオリー法を用いた看護研究の進め方・まとめ方	実習ルーブリック研修会 第3回
高度な文献検索の講習会〜日本語文献を網羅的かつ系統的に検索 するスキルを身に付ける〜	実習ルーブリック研修会 第4回
統計モデル	研修会「看護系大学院(修士課程)で修得する能力」
文献検索の講習会 Ovid MEDLINE, EBM Reviewsの活用	講演会「大学授業法の改善と教授力を高めるために」
学習支援システム説明会	PE/IPWの学部教育の実践に向けて〜実践編〜
教育システム活用セミナー	現在実施している合同科目を通してIPE/IPWについて考える
専門領域を越えて専門領域を深める~育ちあい、響きあう、学修 環境を目指して~	発達障害とその傾向をもつ学生に対する必要な支援について
医学部保健学科FDワークショップ「保健科学研究における倫理性 の確保に向けて」	新任教員研修
大学院保健科学院FDワークショップ「英語論文での情報発信の向 上を目指して」	全国看護管理・教育・地域ケアシステム学会への参加「やる気と自信を引き出すマネジメント」
○○大学看護学科を高校生に魅力的に伝えるには?	平成27年度看護学部の活動報告、及び平成28年度へ向けての取り 組みについて
○○大学看護学科を高校生に魅力的に伝えるには?―教育·研究 に焦点をあてて―	指導者と教員の連携
H27年度看護学科入試の動向と分析	自己の実習指導を振り返る
映画School of Nursing 上映会	臨地実習での学生指導
○○大学看護学科を高校生に魅力的に伝えるには?	第1回科研費研修会 「研究活動スタート支援の応募について、科研費申請のための基礎知識」
○○大学看護学科を高校生に魅力的に伝えるには?―教育·研究 に焦点をあてて―	第1回招聘講演会 「教育力の継続的質向上を目的としたFDについて」
H27年度看護学科入試の動向と分析	第2回科研費研修会 「科研費獲得への取組みについて」「科研費 獲得までの道のり」
映画School of Nursing 上映会	第2回招聘講演会 「看護系職員の職能開発とキャリア支援 ― キャリア教育の可能性から考える」
講演会「看護の研究倫理の疑問をぶつけてみよう」	第3回招聘講演会 「Washburn大学における看護教育」
講演会「精神療法を科学する:認知行動療法の実践・研究の最前 線」	臨地実習における学生によるヒヤリ・ハット事例の検討
講演会「多職種連携教育を考える」	臨地実習における学生によるヒヤリ・ハット事例の検討
NP教育課程設置にむけた研修会	臨地実習における学生によるヒヤリ・ハット事例の検討
国際的な看護実践・学術交流に役立つコミュニケーション力	前期実習報告会
○○大学医学部看護学科·看護部人事交流の成果 一授業·実 習·実践への還元一	後期実習報告会
外国雑誌投稿のためのワークショップ	前期実習報告会
授業公開(ピアレビュー)	後期実習報告会
危険ドラッグ啓発研修会	なぜ看護教育にシミュレーション教育が必要なのか、シミュレー ション教育の基本的知識
大学間連携事業-3大学合同海外研修報告会(しなやかパワーに向 けて)	学生の主体性を育成するシミュレーション教育の実際
いのちのケア「若者が抱える悩み・苦しみに寄り添うー自殺防止 センター・看護の現場からー	基礎教育における看護実践能力を高めるためのOSCE教育
看護における量的研究論文作成に関する必須条件	教育システム説明会「ビデオを活用した教育システム」

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催の F D
記述	内容
研究の倫理的配慮と研究倫理申請書の書き方のポイント	西南地区新任教員オリエンテーション「選ばれたあなたへー想起と感謝ー」西南地区夏期学校「キリスト教学校で働くということ」
質的研究のポイント	ポートフォリオの活用に向けて考える研修会「アクティブラーニングを超えてⅡ」研修会から学ぶ
授業支援システムとMoodle+Maharaを用いたeポートフォリオ	系列病院と大学の教育研修会
大学教職員が知っておくべき労働関連法令とそのポイントについ て	看護系大学の実習状況と課題について
大学教職員のための「関わりあう職場のマネジメント」	日本看護系大学協議会総会時の伝達
大学生活におけるDVの現状とその支援	ポートフォリオの意義と活用
学生のヘルスリテラシーの現状と課題	実習指導事例検討会
学生の学びをつないでいくための看護シミュレーション教育と授 業設計	混合研究法の意義と活用
看護教育の基本と教育的視点	ポートフォリオの意義と活用
看護教員の役割	実習指導事例検討会
グループワーク (GW)、どうしてる??	混合研究法の意義と活用
看護学教育におけるFDマザーマップとその活用について	臨地実習における教育評価
大学院教育におけるビジョン作り	臨地実習における教育評価
看護学臨床実習指導に関する臨床・大学合同勉強会(全3回)	コーチングに学ぶ学生への関わりと教育技法
教員勉強会(実習関係)(全2回)	看護学科FDの中期的活動方針に対する実施・評価
高等教育における評価を考える	学習意欲を高める授業設計
質的研究論文を仕上げるための工夫	学習者のやる気を引き出す教育方法の工夫
新任教員の臨地実習指導のための研修	大学院教育がめざすもの
卒業研究の評価の検討	教員一人ひとりが看護教員としての必要なキャリア支援を明らかにし、次年度以降の体系的なFD活動につなげる。
ケーススタディへの理解とその指導	看護基礎教育における「臨地実習」の教育的意義および効果的な 指導方法について
看護技術教育検討会(3回)	看護基礎教育における「臨地実習」の教育的意義および効果的な 指導方法について
○○○女子大学との交流会	看護理論と実習指導に生かす 第1回「ロイの看護理論概説」
質的研究の魅力とその実際	看護理論と実習指導に生かす 第2回「ロイ理論の活用法 アセスメントの視点(生理的様式)」
実習科目の相互理解	看護理論と実習指導に生かす 第3回「ロイ理論の活用法 アセスメントの視点(心理社会的様式)」
理論に基づく教育技法	看護理論と実習指導に生かす 第4回「事例展開」
臨地実習の指導方法	教員間授業評価(ピアレビュー)の在り方に関する学習会
アニュアルミーティング(学内研究者による研究ポスター発表)	「「授業時間外学習を促すシラバスの書き方」 〜大学教育の質的転換に向けた改革サイクルの確立〜」
ハラスメント相談員研修会	「4月1日施行の学校教育法・学校教育法施行規則改正について〜学長を中心としたトップマネジメントの実質的強化のために〜」「研修会報告 大学入試改革にどう向き合うか〜中教審高大接続答申を受けて〜」「御茶ノ水女子大学公開FDセミナー2015『教育の内部質保証:その基盤づくりと実際―教学IRをベースにした仕組みの構築と運用』出張報告」
科研費申請研修会	「H27年度教職員の自己評価について」「研究倫理審査申請にかかる研究計画書について」
研究倫理研修会	「ハラスメント防止対策講演会〜ハラスメント防止のための教員 の留意点と大学の体制』

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催の F D
記述	内容
授業評価	「科学研究費説明会」1、研究費の不正使用2、研究活動における 不正行為への対応策等に関するガイドライン3、平成28年度科研 費の申請について
助助会(助手助教の会)第1回	「今までとこれからの研究について」(○○講師)「若手職員の ための大学職員論(4)~『つながり』のススメ~を受けて」
助助会(助手助教の会)第2回	「事務職員の高度化の実現と大学ガバナンス改革の推進」
助助会(助手助教の会)第3回	カリキュラムマップ作成ワークショップ
新任教職員研修	学生生活の安全を守る講習会〜AEDの使い方〜
人権問題研修会	「TBL(Team-based Learning:チーム基盤型学習)とはどのような 教育手法か」
学生の看護の実践力向上をめざした演習・実習のあり方	「超高齢社会における看護・ケアの役割を考える」、「病院・施設と在宅の連携をどう進める」
学生の看護実践力を目指した教育の強化	「発達障害児(者)への支援」
「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づく看護研 究	もう一度確認しよう「教育評価」
ルーブリック評価を取り入れた実習評価 -具体的な取り組みから 学ぶ-	統計なんて怖くない ~看護研究勉強会~
フィジカルアセスメントと臨床推論	学生の能動的学修を促すための取り組みについて
看護学科研究発表会	実習評価の基本と実際
指導教員として研究者が育つ道をどのようにして創っていくか	授業計画の立案方法について
本学博士課程における専門分野を融合した研究課題を模索する	○○看護学部、大学院看護学研究科の目指す方向性に関して
実習における学生指導・環境の調整	特定看護師の現在と今後の課題
キャンパスハラスメント防止対策研修会	倫理審査申請書と研究計画書の書き方
テーマ別討議:グループワーク支援	アメリカ研修報告会
テーマ別討議:科研費応募	外部資金を取得するために~申請書類作成のコツ~
テーマ別討議:看護実践研究	大学新任教員のための研修会参加者による伝達講習
テーマ別討議:参加型学習	「学生の特性と現状の問題・課題」―臨地実習指導を効果的に行 うための工夫(ワールドカフェ方式のディスカッション)
学生の主体的学習を促すための教育方法に関する研修会	交流会「カリキュラム改正への意見交流」
看護実践研究指導方法-2年次・3年次の指導(大学院)	講演会「Active learning の実践と評価〜特にルーブリックを用いた評価の実際について」
研究倫理教育研修:コンプライアンスに関する研修会	講演会「成績評価を含めた科目の単位認定を4年間の学習成果の評価」
本学の将来の<教育>について~本学の学生の特徴・ニーズ、教育の現状と成果から考える~	「学生の能動的学修を支える授業計画書作成の方法と活用」アクティブラーニングとはなにか、大人数学修への工夫
本学助教の教員が学生の場合の研究指導方法(大学院)	「学生支援におけるケースカンファレンスと情報共有」
本学卒業者の生涯学習支援に関する研修会	「発達障害の理解と学生支援」
入試面接の技法	認知行動療法の視点を生かした学生との関わり方
情報セキュリティーと学生指導におけるSNSの功罪	学生指導・教育の視点と留意点
入試面接の技法	○○女子大学 ALアセスメント分析結果の報告
情報セキュリティーと学生指導におけるSNSの功罪	ヘルスケアセミナー
事案発生の対応と、今後の予防 ※ハラスメント対策	新カリキュラムについて
実習指導の現状と課題	質的研究への挑戦
よりよい授業設計に向けて	·FDとは何か 14 · 臨地実習交流会

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催のFD
記述	内容
教員相互の授業参観・意見交換会	・カリキュラム研修会 13 ・カリキュラム検討会
実習における学生カンファレンスの課題	・ゼミナールオリエンテーション 15 ・実習評価・実習説明会
臨床研究のルール	・ハラスメント研修会
「看護教育力UPセミナー 看護教員のための授業力UPのポイント 〜学生の活動性を高める授業づくり〜」の伝達講習	・科研費説明会
「比治山大学AP第1回セミナー アクティブ・ラーニングの基礎知 識」の伝達講習	・学生確保について
iPadで操作する3D解剖アトラスを導入した解剖実習の試み	・研究交流会
カリキュラム編成の考え方	・研究倫理研修
コミュニケーション能力向上に向けた演習の実例①ロールプレイ	・高校訪問オリエンテーション
コミュニケーション能力向上に向けた演習の実例②模擬患者演習	・国際看護学シンガポール演習報告会 16 ・実習報告会
シミュレーション教育の基本的知識 シミュレーション教育の実 例①老年看護方法論	・国試対策意見交換会
シミュレーション教育の実例②成人看護方法論	・国試対策講座
協同学習を活用した授業の紹介	学生による授業評価アンケート
在宅看護論におけるアクティブ・ラーニングの取り組み―訪問看 護師・教員・学生すべてが成長できる在宅看護実習―	FD自由討論会
成人看護方法論におけるチーム基盤型学習(TBL)の取組実例	学生のレディネスの形成に関する検討"患者さんへの関心が乏しい学生に教員はどうかかわるか?"
精神看護学概論におけるグループワーク事例	カリキュラムの再構築に向けて ~○○大学での取り組みから~
「看護を取り巻く社会の動きと看護教育」	科研費獲得推進のために
ポートフォーリオノ活用理解(看護学教育における活用状況の把 握)	看護過程(授業、実習)に関する情報交換会
「ネパール大震災と看護の対応」(啓発型)	大学のビジョンを語る-教員の教育力・研究力向上のために-
「ハラスメントのない大学づくり」(啓発型・相互型研修)	各領域実習における実習概要と看護過程について(2015/9/1)
「フューチャー・ナースファカルティ(FNF)育成プログラム―教員の教育力を高めるために―」(啓発型・相互研修型) 他 2件	領域別実習における学生の実践と成長および課題を語る交流会 (2016/3/1)
「英論文の執筆ガイド、ならびに英語コンサルテーションの フィードバック」(啓発型・相互型研修)	発表会「6領域(基礎、地域、こども、母性、精神、成人・老年)でのシミュレーション教育の取り組みについて」
「研究指導に関するコンサルテーション」(相互研修型)	講演「学生の主体性を育成するシミュレーション教育の実際(内部 講師)
「公開授業①」 【科目名】環境と看護 【講義テーマ】労働環境と健康障害 (相互研修型)	講演「看護基礎教育カリキュラムにおけるシミュレーション教育 の効果的活用」(外部講師)
「公開授業②」【科目名】生活援助論 【講義テーマ】食生活への援助・口腔ケア (相互研修型)	講演「教えなくても学べる医療者を育てるためにーシミュレー ション教育とデブリーフィングの原理」(外部講師)
「高知県の未来を担う看護職の人材育成のために」(啓発型)	講演「あなたは授業評価を活用してますか?- 「授業評価」を知り、授業改善に役立てよう!-」(外部講師)
「臨地実習における学生の主体的な学びを言語化するレポート作 成の指導」(啓発型)	発表会「6領域(基礎、地域、こども、母性、精神、成人・老年)でのシミュレーション教育の取り組みについて」
看護を語る会Part 2 『1年間の個人・グループの教育・研究・社会 貢献活動についての報告・討議』(相互研修型)	講演「学生の主体性を育成するシミュレーション教育の実際(内部講師)
査読の観点と査読報告書の書き方 一研究のよりよい発信のため に一	講演「看護基礎教育カリキュラムにおけるシミュレーション教育 の効果的活用」(外部講師)
授業案の立て方(大学院)	講演「教えなくても学べる医療者を育てるために―シミュレー ション教育とデブリーフィングの原理」(外部講師)
新任教員等の教育能力を高めるための研修(全4回)	講演「あなたは授業評価を活用してますか?―「授業評価」を知り、授業改善に役立てよう!―」(外部講師)
発達障害のある学生への支援(学部)	教員としての基礎力

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催の F D
記述	内容
看護学実習の質保証に関する課題の共有	2015年度学生短期海外研修の引率と今後の課題
大学院拡充政策のゆくえ〜大学院の現状と課題〜	アメリカにおける看護教育の実際
「卒研研究倫理を審査しよう」 ―2015卒研倫理審査の検討事項の 整理に基づくワークショップー	海外学会発表報告
看護学研究科倫理審査会における研究倫理審査の概要と今後の課 題	教育や指導が困難な学生の理解と対応
で 模擬患者と教員の協働〜これからの課題とその解決策を共に考え る	○○大学医療看護学部における国家試験への取り組み
模擬患者と教員の協働について考える	看護大学における看護教育
学生相談を行うコツ	看護における質的研究、定義、データ収集、および分析方法の実 際
国際学会発表を英語で発表のコツ	臨地実習指導概論、実習指導における評価、指導案の作成方法
授業デザインとアクティブラーニング技法の取り入れ方	学生のニーズにあった学習・生活支援体制の構築
TBLを導入するスキルをつける! ~アクティブラーニングを促進するためのストラテジーに参加して~	学生の学習ニーズについて
研究的視野にたった看護に生かす人間工学	教育方法についての講義(第1回『教える』とは)
大学入試における「面接試験」の考え方と設計のポイントー評価 の統一化を中心に一	教育方法についての講義(第2回『授業/教育内容について』)
研究授業 『理解を高める工夫のある授業』	教育方法についての講義(第3回『授業/教育内容について』)
学生の学ぶ力を育てる4タイプ別指導コミュニケーション	教育方法についての講義(第4回『教育評価について』)
量的研究の研究デザイン	公開授業
アクティブラーニング研修会	授業改善シート(授業アンケート)
新任教職員研修会	授業評価アンケート
大学職員のためのインストラクションデザイン入門	専門職教育としての学生への意識づけに関する工夫
学習会	看護OSCEの導入にむけて
研究倫理セミナー	看護学教育におけるFDマザーマップ(導入に向けてガイダンス)
教育能力の質的向上を目指して	大学における看護系人材養成の在り方
Active learning を活用した看護学演習および授業の構築	ipadを活用したITC教育について
「公衆衛生看護学概論」授業方法について	事例に学ぶ職場のパワーハラスメント
PMSの女性が活用するリラックス呼吸法の効果	大学教育における各領域の看護技術到達度表のあり方と具体的な 点検について
ディスカッションを中心にしたゼミナールと講義のやり方	波床将材先生講演「自殺予防について」
高大接続と新しい時代の入学者選抜について	ハワイ大学シミュレーション教育看護学部教員研修報告会 ーア クティブ・ラーニングの一手法としてのシミュレーション教育ー
女性の沈黙と病の声	FD研修会(1期生の学習状況と今後の課題)○○教授
小児看護方法 I 授業紹介	F D 研修会(グループワークによるカリキュラム編成の検討)看 護学科教員
地域における多職種連携協働の試み	FD研修会(ルーブリックの基本)大澤教授
老年看護学実習における学生のケア場面の分析	F D 研修会(医療・介護から見た箕面市の特徴と課題)○○市健 康福祉部 ○○保健師・○○理学療法士
学生の継続的学習支援における個別情報の効果的な共有・活用の 方向性の検討(学部)	FD研修会(学生の学習を支援する授業展開)大澤教授
本学大学院看護学研究科の教育における課題と解決策について〜 博士前期課程における学生の学修レディネスを高めるために〜 (研究科)	F D研修会(看護基礎教育における臨地実習の意義と指導)瀬戸 口教授
コンプライアンス研修会	FD研修会(臨地実習における教育と学習)道廣教授

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催のFD
記述	内容
指導過程リフレクション 全体検討・報告会	公開授業(解剖生理学Ⅰ)○○教授
指導過程リフレクション個別ファイルシート 報告及び報告書作 成	公開授業(生化学)○○教授
専門看護師の活動を支援する大学の役割	科研費獲得について
学術講演会「特定行為を活用した看護実践と看護の可能性」	各職位の役割と責務
よりよい授業づくりを推進するための相互授業参観	看護研究における倫理について
看護系大学教員に求められる教育・研究能力向上の課題と今後の 展望	質的研究の方法
大学教育における教育実践〜3ポリシーとアクティブ・ラーニン グ〜	実習指導における教員の役割
インストラクショナルデザインを活用した授業設計-効果・効率・ 魅力を高める看護教育を考える-	授業デザイン・授業評価について
大学教育のあり方:学生のモチベーションを高め、教員自身の質 の向上を目指して	多職種連携に関する研修後伝達講習
大学生の情報活用能力の現状とその育成	臨地実習における臨床実習指導の在りかたおよび相互連携につい て
本学が目指す看護職の育成に向け,教員それぞれの立場から自己 の役割と課題を考える	よい授業を作るために一FD研修会の報告一
オーストラリア研修報告	どのような学生を育てるか
カンボジアスタディーツアー報告	「Recovery From Disaster」
シミュレーショントレーニング in 新見の活動について	「科研申請」の重要性について
パーソナルデータをめぐる最近の動向	「科研申請について」
看護学科に立ちはだかった壁一乗り越えた教訓から一	「学習を深めるグループ学習を授業に導入する方法」
助産学専攻科教育課程の紹介	「教育における私の工夫 PartⅡ」
女子学生の食生活及び生活習慣と健康状況との関連について	「教育における私の工夫」
成人看護学実践報告	「大学人として」
老年看護学実習の実習方法と学び	「大学人として働くこと」
LTD話し合い学習方法の基礎	基礎学力調査から分かる本学学生についての報告会
教員による研究活動報告会	科学研究費獲得のための学習会
テキストマイニング研修会	○○大学看護学部で創る看護師像と教育
文献検索の困ったを検索しよう	○○大学看護学部で創る看護師像と組織的な教育体制の構築
LTD話し合い学習方法の基礎	ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ
教員による研究活動報告会	看護学部設置の経緯とカリキュラムの構築方法について
テキストマイニング研修会	教員組織の連携協働のためのワークショップ
文献検索の困ったを検索しよう	初任者研修会
新しい時代の教え方	○○大学看護学部FD活動に向けて一大学をめぐる現状と課題、大学のFD活動とは一
学習効果を促す授業運営の工夫について	第1~9回リサーチセミナー
新研究倫理指針のアウトラインとトピックス	基礎看護学実習指導について
地域性をふまえた大学教育~敦賀の歴史と行政の沿革	競争的研究助成等資金獲得に向けた説明会
本学の教育理念について	研究に関する講演
看護学研究科FDセミナー	研究倫理に関するセミナー

# 表8-2 B. 看護系の学部・学科、大学院主催のFD

記述内容	
看護学部FDセミナー	障害者差別解消法の説明会
看護学部看護研究科FDセミナー(若手教員対象)	大学の教育環境について
学生による授業評価アンケート	臨地実習指導について
教員による授業ピア・レビュー	老年看護学実習指導について
教員研修「なぜコンプライアンスが要求されるのか?コンプライ アンスを推進するには?」	チューターの役割について
教員研修「現代の大学の特徴とその対処の難しさ」	学生への研究指導について
教員研修「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」	看護大学の臨床実習を理解する 具体的な実習指導の方法及び流 れについて
授業担当者自己点検	看護大学の臨床実習を理解する 臨床実習の考え方について
IC看護講演会「いつもこどものかたわらに」	教育アラカルト〜学長の経験を通して〜
看護学研究科FD講演会「解釈的現象学による研究方法」	教職員の能力向上研修会 看護教育課程
看護学部FD研修会「シミュレーションを用いた授業展開について」	教職員の能力向上研修会 教育課程に関する勉強会
Faculty Development in a Global World : Expectations , Preparation , and Getting Thereグローバルワールドにおける ファカルティ・ディベロップメント ? 期待 · 準備とそこへ向 けて -	研究倫理について
Writing for Publication in International Nursing Journals 看護系英語論文投稿時のノウハウ	授業計画、授業形態について
学部教育について	授業力up!をめざして
看護教育・実践・看護学の発展につながる魅力ある研究について	○○看護大学の教育方針 教育目的、目標の明確化と共有
時代の要請に応える看護学教育の探索	「大学における看護学教育のあり方」についての研修
看護教育の基本	「東海市を学ぶ」セミナー など
量的研究の方法 SPSS	フィジカルアセスメント・看護診断等の教育方法について
「実習指導における事例検討」(学部)	看護学教育分野別評価について
「地域保健と健康危機管理②−災害と保健師の活動(ヘルスケアシステムⅡ)」(公開授業)	国家試験対策について100%合格に向けての学部教員の役割や対策 方法
第1回「米国の看護系大学院の動向一保健医療政策の動向とAPN教育一(逐語通訳付き)」(大学院)	新設された看護学科に入学した学生の学生生活に関する入学前の イメージと入学後の実際の相違
第2回「サイエンスとしての英語論文の書き方」ワークショップ (大学院)	大学教育に期待されること、現場から大学に期待すること
教育内容とカリキュラムマップ	看護学教育におけるFDマザーマップについて
発達障害を有する看護学生への学習支援	看護研究のための文献検索研修
科研費獲得研修会 大学院・看護学部FD (科研費獲得に向けて 夏季集中検討会)	新設された看護学科に入学した学生の学生生活に関する入学前の イメージと入学後の実際の相違
インフォームドコンセントの要件	自己点検・評価について
看護医療学部教員の能力向上のための継続的なFD活動のあり方	新任助教FD研修会
「科学における『会話』とは」	ピアレビューを導入した総括と評価に関する報告会
高等教育の本質に迫る-専門職の実践力・判断力育成への改革-	ピアレビュー導入のための教員の学習会
看護学科FD「学部教育における授業改善の実際と課題」	学生の教育に関する調査研究成果発表
看護研究論文のクリティーク~看護研究能力の向上に向けて~	基礎ゼミの結果報告会、進捗状況報告会
eラーニングを活用した教育実践	保健医療学部・〇〇教育部合同ワークショップ
メタン菌から結核菌へ	経験型実習教育について事例VTRを用いた研修会
<u>L</u>	l

表8-2 B. 看護系の学部	・学科、大学院主催の F D	
記述内容		
産業保健学部の現状と課題	新設された看護学科の1年次における学生生活と卒業後に関する不 安	
インストラクショナル・デザインと看護教育	新設された看護学科学生の入学志望動機に関する検討	
博士後期課程カリキュラム変更後の初回の評価	○○大学○医学教育部ワークショップ報告	
博士前期課程カリキュラム変更後の初回の評価	エビデンス構築のためのシステマティック・レビュー	
「主体的学び」を導くための評価と学習方法―ICEモデルから	看護研究における統計処理	
本学の学科科目の「課題」の必要性と戦略〜課題の目指すところ 〜	看護研究Q&A	

### 表13. 大学と実習施設等の教育連携について

表13-1. 組織として支援している内容について〔主な内容を抜粋〕

実習指導者研修会、臨地実習指導者講習会、新人研修へのプログラム作成・参画・評価(自治体と委託契約を設けているところもあり)、キャリアアップ研 修などの現場の看護師向けへの講座を企画などの幅広い支援活動を行っていた。

### 表13-2. 人事交流の制度や取り組みの内容について〔主な内容を抜粋〕

大学の講義や演習の一部への病院の看護師、認定看護師等の参加、大学と附属病院の連携会議の定期実施、病院スタッフと教員の配置換え(長期・短期) 人事交流、教員が定期的に病棟での実践能力強化のための研修実施、教員がCNSとして実習施設の業務を行なうなどの交流が行われていた。

### 表13-3. 共同研究や合同研修等の制度や取り組みの内容について〔主な内容を抜粋〕

実習病院の看護職等と大学の教員の共同研究に対する競争的資金のシステム、看護コンソーシアムの実施、看護部の研究や研究倫理の指、導、市町村の保健師と地域診断に関する研修会、新人研修の指導を担当する、事例検討会の開催、共同研究の実施、文部科学省高度医療人材養成プログラムの実施、病院の看護部教育委員に参画会、実習指導者研修会の開催・講師派遣などの実践例があった。

### 表13-4. 導入している臨床教授制度の内容について〔主な内容を抜粋〕

規約を定め、職位や勤務年数などにより、無報酬である臨床教授、臨床准教授、臨床講師などの称号を付与していた。

#### 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労(基礎看護学)

附属病院を持たない大学の特徴として、実習指導に手間がかかる割に就職に結びつきにくく、大学と病院側の信頼関係を築くことの困難さが挙げられた。

### 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労(母性看護学)

産科病棟の閉鎖や正常出産の減少により、実習上や受け持ち患者の確保が困難であること、男子学生の受け入れを断られることが多いこと、臨床側が助産師 実習レベルを求めてくることなどの困難さが挙げられた。

### 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労(小児看護学)

小児病棟を持つ病院が減少し、実習場の確保が困難であること、入院期間の短縮化に伴い、実習期間中継続して担当できないといった困難が挙げられた。

### 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労 (精神看護学)

看護系大学の増加に伴い、実習病院の確保やスケジューリングに困難があるという意見が挙げられた。

### 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労(成人看護学)

実患者選定において老年期患者が多く成人患者選定が困難であること、在院日数短縮により実習期間中の継続受け持ちが困難となっていること、複数校同時 実習による学生数増加していること、手術室の実習の機会を得ることが困難であることの他、病院の実習指導者が他の業務との兼任であることなどの問題が あることが挙げられた。

### 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労(在宅看護学)

訪問看護ステーションでは1施設の受け入れ人数が2〜4人と少なく、実習施設数が多くなるため、実習場所の確保、教員の担当数の増加、実習謝金の上昇、スケジューリングの困難さが挙げられた。

## 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労(地域看護学)

・実習施設の確保 ・施設指導者と大学側との実習に関わる合意形成と調整 ・大学側、施設側とのさまざまな実習指導体制の調整 ・学生の交通費自己負 担について

### 表13-5. 臨地実習で困ったこと・苦労(その他)

困難として、国際看護学の実習場所を獲得すること、統合看護・総合看護学の実習における場所の確保及び指導者の質の担保、夜勤実習の場及び教員体制、 CNSの実習において病院側でCNSの退職があるなど指導者の確保が挙げられた。その他に実習委託先の謝金の確保や感染症予防に関しては病院が要求する抗体 価の検査や予防接種への対応の変更・厳格化が挙げられた。

# 表14-2 保健師教育課程の課題 記述内容

- ・4~5人の学生数の編成であり、実習施設による力の差が見受けられる。関わり方の差があるようで今後は足並みをそろえられるよう、情報交換の場が必要と思われる。選抜制となって各大学で個別に調整をしているため、他施設との情報共有ができていないことが課題であるため、次年度は開催する予定である。・選抜制となって、限られた実習学生数となったにもかかわらず、実習施設の要望する実習時期と大学側の希望する実習時期に齟齬があるため、実習調整が難しい。特に公衆衛生実習Ⅱについては、夏季休暇中、総合実習などの計画等で限られた期間内での実習になるため。
- ・現在希望学生に選択制で実施しているが、学習意欲に差があるため、H29年度入学制より、定員枠を定めることが決まっている。(25 名程度とする)
- ・実習施設によって、受け入れ決定の時期にバラツキがあることや2、3年先のことは約束できないといわれるため、教育課程の進行計画が立てづらい。・訪問看護ステーションでは管理者が変わることや職員の変動によって実習場所確保が困難となる。また、実習費の高騰化により1人1万円のところもある。・母性、小児の実習場所の確保が困難である。
- ・実習施設の確保・遠隔地での実習に参加する学生の経済的負担及び実習指導教員の業務負担が大きい
- ・実習受け入れ先の現状として、継続訪問をさせていただくことが難しい。(期間が短い、継続ケースに学生が同行するのが難しいなど)・自治体によって、保健所での実習日数を確保していただくことが困難である。
- ・実習生数の制約・公衆衛生看護学臨地実習Ⅱの実習先確保・一人の教員が複数の施設を担当することによる動線の多さと効率
- ※ 保健師定員数の内訳は、学部生36名+編入生8名・新大学が増え、保健所での実習受け入れが困難になり、県内でも保健師実習生の定数制限が平成30年入学生より適用。保健師教育課程を希望する学生の選抜がさらに厳しくなる。
- 1. 実習施設の確保が困難である。 県下の看護系大学が13校となり実習施設確保が競合する。 複数わたる施設が遠隔地であるため教員・学生の時間調整や実習計画の実施に課題がある。
- 1.平成26年のカリキュラム改正により、公衆衛生看護学に行政、産業保健、学校保健が含まれるようになり、産業や学校での臨地実習施設を確保するよう努力をしていますが、産業保健実習においては、経済的低迷に伴い、産業保健実習を受け入れて頂ける施設が激減しています。特に大手企業の方がその傾向が強いように感じます。保健師(看護職)の役割を重視して頂けるのであれば、国からも企業へ保健師実習推進の声をかけてほしい。また、実習施設からの要望や昨今の学生の状況から教員が実習施設に赴く必要性が高くなってきているが、実習学年以外の学生への講義などとの時間調整から実習施設の要望と現実とのギャップが生じている。実習開始2~3ヶ月前から実習準備を初めているものの、実習期間中(4週間)はほぼ連日、担当教員が夜8時以降まで学生への課題対応などに追われている状況がある。2.カリキュラム改正に伴い、公衆衛生看護学教育内容の充実は図られたと感じているが、選択制や大学院化の移行に伴い担当学生が減少したことから、当大学も違わず予算の削減や担当教員の定員が削減されていることで、産業や学校など公衆衛生看護の中での専門的な教育ができているか疑問である。病院機能の改正に伴い、公衆衛生看護学を看護師にも教育をしたい気持ちはあるがとてもできない状況である。
- 1. 保健師課程担当科目、時間数の増大に伴い専任教員の負担が増大している。 2. 実習内容の拡充(学校実習・産業実習・へき地 実習)により技術到達度の平均点は上昇している(5単位実習の3年比較)。 3. 保健所実習施設と市町村実習施設には指導力に格 差があり、学生の就職モチベーションにも影響を与えている。
- ①実習先を県内全域の施設に頼っており、施設までの距離が遠くなるため、交通費と所要時間において、学生の負担が大きい。②実習施設が忙しく、実習指導者が毎年変わってしまうため、教員と実習指導者間の連携が確立し難い。
- ①実習地域が大学から遠方の所が多く、宿泊が必要な場合や、学生の通学で2時間以上を要する(教員も)。②4年次の他の実習と演習や授業、保健師実習が同時期に集中するので、保健師希望学生は過密授業となり負担が大きい(教員も)。

2015年度の〇〇県内の保健師養成課程は10大学1専門学校の合計11課程であり、2016年度に3大学、今後6大学の増設が計画されている。1年間の保健師教育課程を履修する学生は、600数名を越える見込みであり、実習施設の確保が非常に困難な状況にある。具体的には、新設大学増加により、各大学が設置市と協定を結び実習を進める計画を立てており、本校がこれまで実習を依頼していた行政市は、当該市に大学が新設されると、本校の実習を受け入れられないということになる。 結果的に、県内の市町村に対し、毎年毎年実習地開拓をしているのが現状である。 また、市町村保健師の業務の増加が予定されており、その反面マンパワーの確保や増員が見込めず、例え実習地が確保できても、実習を受ける市町村保健師の負担が増加する可能性が高い。 そのため、実習日程も最小限にしてスケジュールを立てているのが現状である。 加えて、保健所実習に関しても、県が実習学生数を制限するという計画を提示しており、ますます実習しにくくなることが予想される。 このように実習地確保が難しいという状況は、今後、産業保健実習、学校保健実習にも同様に当てはまってくると思われる。

2017年度からのクォーター制導入に向けて、実習期間や実習内容等について実習施設と再調整が必要であり、他大学との調整も含め課題である。

カリキュラム作成上、困難。実習期間を長く設定しなければならず、他の講義科目との調整が困難。

1

クリティカル看護実習及び地域生活者支援実習の実施施設が不足しており、履修人数の制限が生じている。

- ○○県および県内市町村からの実習受け入れ時間が優先順位を基に平成27年3月に受け入れ方針として示されている。受け入れ方針では学部定員の15%(本学は12人)であるが、本学の保健師教育課程の定員数より下回っている。今後も県内の看護系大学が増える予定があるため、行政と○○県保健師教育機関での協議が繰り返されているが、平成27年3月の方針の変更までに至っていない。
- ○○県では、保健師課程の実習人数や配置等については県が調整をしている。しかし、毎年、看護系大学が増えていることから、調整が厳しくなっている。

# 表14-2 保健師教育課程の課題

## 記述内容

看護師の実習と重ならないよう保健師課程の実習を配置しているため、保健師課程の実習終了時期が遅くなる。実習を経験せずに就 職試験を受けなければならない学生もいる。

看護師教育との調整、教育時間の確保の問題

教員2名で県内全域の実習巡回をする必要があり、また公衆衛生看護学の講義とも時期が重なっているため、過重負担になっている。

教員の確保

近隣での実習施設の確保が難しくなり、遠方の実習施設が増えている。

○○県看護教育調整会議・熊本県3大学会議で調整要望を上げている。

県と調整を行っており、実習場所の確保はできています。特に問題はありません。

県下で実習学生数・実習施設数・実習時期などの調整を行っているが、新設校などの増加やその他学校の様々な事情により、調整や 見直しの必要性が高まってきている。

県指定の学生数20名という枠内の学生の選抜

県実習委員会で毎年県内各大学の実習時期・学生数等を調整している。

県内での実習生数と実習機関が大学ごとに決められており、遠隔地での実習指導には教員の移動に時間を要す。教育課程では看護 系教員の不足により看護師養成課程の授業科目と読み替えが行われており、指定規則の単位数に質的に到達した教育が実現できていない。背景には平成24年からの指定規則改正により、教員の増員規定がないまま単位数の増加が行われたことによる。

県内に統合カリの大学があり、実習機関や実習期間に制約がある。保健師での就職を希望する学生に対しては、春学期に実習を展開したいが、現状では4年の秋学期に実習を組まざるをえない。

県内の看護系大学で前年度の国家試験合格者数等も参考に、受け入れ人数や実習場所の割振りを行っている。学部選抜試験を2年 修了時に実施しているが実施年度の適切性が課題となっているため他校はどのように考えて実施しているのか知りたい。

県内の他大学、看護師養成所等と公衆衛生実習施設での実習時期が重複した場合、重複した学校間での調整となるため苦慮している。また、保健師教育課程は実習が5単位となったが、まだまだ不十分である。実習単位数の増加が必要である。

県内の保健センターでの実習生受け入れの規程は、定員の15%となっているが、本学ではそれを上回る20名としているため、他の施設も活用して実習を展開するなど調整・工夫が必要である。

県内教育機関と実習が競合し、実習施設の確保が容易でない

現在、本学は学年進行中であり、追加実習施設と交渉中である。実習施設確保に苦慮している。

現在実習を行っている保健所及び市町村(公衆衛生看護学実習 I)、地域包括支援センター(公衆衛生看護学実習 II)の全ての実習施設について、大学が直接施設と連絡を取り、人数調整を行わねばならず、調整にかなり苦慮している。保健所からは必ず大学から実習指導者を派遣するよう言われているが、同時期に9箇所の保健所への対応は困難を極めている。また、保健師課程は選択制であり、選択する学生と選択しない学生の時間割調整が難しく、特に編入学生が保健師課程を選択した場合の実習期間を夏休みに設定せざるを得ない現状にある。

行政での実習施設が県全体で決定されているため、実習できる日数や場所など、大学の自由度があまりない。産業分野での実習施 設確保が不安定である。

行政実習における実習先の確保

行政側によって実習総量が規定されており、十分な実習日数が確保できないこと。

行政保健師実習先については、県の調整により確保されているが、産業保健師実習先については実習先の状況変化により確保が難 しい。

産業看護で数日実習できるところが少ない。

市町や保健所実習で実習期間の確保。継続訪問、健診時の問診等を体験して学ばせることの困難。学生の移動手段の確保。

市町村(保健センター)実習の確保が困難である。

市町村は、保健師の休職等により活動体制が整わないことや県内の看護系大学増により実習の負担が大きくなっている等の理由により、実習受け入れを断られることが多くなっている。保健所は、県が実施する調整会議を経て実習保健所が決定されているが、県内の看護系大学増により、これまで実習施設としていなかった遠方の保健所に複数グループ配置されることになった。

# 表14-2 保健師教育課程の課題

市町村保健センター,学校,産業の実習を行っている。前者2つは実習施設確保できているが,産業の実習施設は困難である(現段階では看護師過程も含め全員に対して半日の工場見学と現地講義のみ)。

実習は施設と直接交渉し、多くの施設から協力を得て実施できているが、実習受け入れ件数の増加や指導者の不在・多忙により実習受け入れ不可の年度があり苦慮している。またほとんどの学生が保健師コースを選択するため、限られた教員数のなかでの教育の質の担保や学生の学習意欲向上が課題となっている。

実習施設が限られ、特に公的施設においては公立大学が優先されることに違和感がする

実習施設については、県内の保健師教育のある大学で組織された「公衆衛生看護学実習調整会議」の中で検討され確保できている。しかし、効果的な実習のため、大学側としては広域・専門的実習を目指す県型保健所と市町村実習を同一の管轄内での実施を希望しているが、保健所職員の人員の少なさと業務多忙等の理由により難しい。

実習施設の確保、カリキュラムが過密

実習施設の確保が困難。学生の実践能力をつけるのが難しい。

実習施設の確保のため定数を設けている

実習施設の確保は、昨年同様に大きな問題はないが、育児・病気休業などを取得する者が複数いる場合、受入れ困難になる自治体があり学生配置に苦慮した。教育課程に関しては、科目選択による選択制を導入しており、履修科目が違うことによるレディネスに差を配慮した授業構成と学びへの支援が課題となっている。

実習施設は県内の大学間で調整しているため、特に問題はない。

実習施設は十分に確保できている

実習施設を確保するために、年間をとおして現場の研究活動、研修講師、保健計画等の委員の派遣など、さまざまな現場のニーズに 対応している。

実習施設を確保するにあたって、県内でも定数配分において大学間偏重がある。そのため、学生数に対する本学への割り振りは少なく、限られた狭い範囲内で調整せざるをえない。

実習時期・施設の調整に苦労している。遠方の施設で実習する学生は宿泊を必要とすることが多く、その確保のため学生の負担がある。

実習時期を早めたいが、他の看護学実習との兼ね合いから難しい

実習先が保健所、市町村保健センター、企業、学校と多種多数にわたっており、実習先の確保やスケジュール調整に苦労している。

実習地として行政だけでなく、学校、事業所にも希望する大学が多くなり、現場では断られる事例も出てきている。実習地確保には危惧する状況である。

所在都道府県の実習受け入れ制限(特別区20名の受け入れ制限)によって、実習先を全国各地で確保しなければならず、実習指導 体制、時間面、経済面で負担が大きい。指導教員が足りない。

政令市への調整が難しい。

選択した学生の中で、すぐに保健師になる学生が少ない

選択科目としての実習であるが、学生の実習を受け入れる施設及び1施設当たりの受入れ学生数が少なく、実習施設の確保に苦慮し ている。

選択制、4年生の学生20名を選抜している。実習施設数の確保に苦慮している

選択制以降、単に事業に参加するだけでなく、実習内容を地域全体の健康づくりや法的根拠、地域診断と関連づけ、カンファレンスな どで指導を受けて学内の学びと統合している。今後も実習施設との協力体制の充実を図ることが必要

他大学の実習時期が先に決定し、本学の実習はその後に決定されているので、実習時期の調整が難しい。大学の近くの実習施設の確保が難しく、遠方の施設もあり、宿泊が必要であり、実習指導教員の移動も大変である。

大学(看護系)数が増加する一方で、実習受け入れ先は増加しないので、一大学あたりの実習場所や学生数に今後しわよせがくる(まだ大学が増加している現状があるため)

大学が増えているので、実習施設の確保が難しい。実習先によっては、学生の居住地や出身地に制限をつけることがあり、条件に合う 学生を振り分けてグループを構成するのが難しい。また、保健所は県が実習施設を決めるので、時には大学から遠い場合もあり、宿泊 させなければならないこともある。

大学院での通常の単位と保健師課程の単位とを合わせると58単位が必要となり、過密なカリキュラムとなっている。

# 表14-2 保健師教育課程の課題

記述内容

大学院教育への移行を検討中であるが、教員の人事凍結の問題があり教員確保の問題や大学院定員の確保などが課題も多い

地域の教育機関数が多く、調整に時間がかかる。このため継続的に実習施設と関わることができない。

地域看護実習においては、学校、産業、市町村、保健所と依頼施設が多いうえに、看護系大学の増加とともに実習施設確保が困難に なってきており、調整にかかる教員の負担は大きい。しかし、県内の他大学と比較すると、県立ということで比較的優遇されていると感じ ている。

○○特別区においては、各学校の希望時期等を特別区側が集約して、実習配置が決定されるので、実習施設の確保には問題はな い。また、区側と大学側で定期的な話し合いをもち実習内容のめやすが出されており、比較的均等の実習ができるようになってきた。 授業展開については、選択制になり保健師課程の学生のみが履修する単位数が増え、限られた時期に集中的に学習することとなり、 学生の負荷が高くなっている。加えて、事前事後学習時間の確保が困難となっている。本学を含む保健師課程を選択制あるいは外出 しにした大学の多くで、看護職に必要な地域看護関連の内容を取りあげる全員対象の必修科目を導入している。今後、地域における 看護活動が一層重要になる中で、保健師を選択する学生確保に加え、看護師として備えることが重要な地域看護の知識や視点を習 得可能とする分野、科目や内容の検討を急いでいただければと考える。

○○県公衆衛生看護学実習連絡協議会と県担当課・政令市の話し合いにより決定しているので毎年の連絡会議での打ち合わせは 大変であるが、課題はない。

複数の実習施設の確保。実習の日程調整。実習非常勤教員・TAの確保。施設の職員から十分な指導が得られないことがある。

保健師課程の実習が看護師課程と同時期間の履修であるため実習期間の日程調整が困難である。学生サイドではインターバルが少 なくなってしまうため、学習効果えられにくい。

保健師教育は、統合カリキュラムで実施している。助産看護コースは選択であり、このコースを選択する学生は、4年間の学部教育の 中では保健師国家試験資格を得ることが出来ない。実習施設の確保等については、現在のところ特に問題はない。また、統合的に教 育しているカリキュラムにおいて、特に問題は生じていない。

保健師教育を担当している地域看護学の教員数が4名で、保健師教育課程を必修としているため、少ない教員数で維持している。

保健師教育課程が選択となって1年経過していないことと、選択者はまだ卒業していない段階で充分な検証を行っていない前提での 課題と捉えていただきたい。①実習施設の不足震災の影響に加えて、県内に来年度看護系大学が2校新設されること、他県大学から の実習施設確保の動きなどがあり実習調整が難しくなっていることがあげられます。②実習指導者と学生との「選択」についての意識 の違い当初「本当に保健師になりたい者が選択する」という説明で統合カリキュラムとの差別化を図ったが、学生は看護師以外のライ センス取得として「いずれは保健師にもなるかも」という意識が強く、新卒で保健師を志望する者は少ない結果となった(県内自治体の 保健師求人は多くあったが受験していない)。「選択」という意味をどのように伝えるか思案中である。③として指導教員の不足県全体の 看護職員が不足しているため、実習指導教員の産休・育休に伴う非常勤実習教員の確保に困難が生じている。

保健師教育課程が全員必修であるため、学生数に対する適切な実習施設の確保および保健事業の確保が困難であり、教育の質の 担保ができない可能性がある。教育課程の選択制又は大学院化の検討を望む。

保健師教育課程の教員が2名と少ないため、教員が持つ授業単位数が多い。また、各教員が実習中受け持つ実習施設数も5施設と 多い。他単位の助教1名が補助的に支援に入り、教務補佐員を雇用(18時間/週)しているが、疲労状態が続いている。

保健師教育課程の実習施設として、学校保健・産業保健に関する直接的な実習施設の確保については、非常に困難となっていま

、 保健所・保健センターでの実習については、県内で調整をする必要があり、宿泊を伴う遠隔地での実施や希望どおりとならないことが あり、学生の交通費や宿泊の費用負担の問題がある。学校保健、産業保健についても、実習施設の確保が厳しい。選抜制になり学生 数は減ったものの、現場から求められる学生のレベルの到達や準備性を高める必要があり、限られた教員数で、限られた期間で行う 教育にも限界を感じる。

保健所・保健センター以外の実習施設の確保が困難

母性看護学実習同様の状況で競合が激しく、課程選択者定員分の実習施設が確保できない。

北海道庁が全道の教育機関の実習エリアを指定し、実習施設は確保できている。実習エリア内での輪番制とし、施設スタッフの産休 育休等の事情も考慮して輪番を調整している。小規模市町村が多い為、実習時期に新生児が産まれない、保健事業の体験が限られ るといった課題はあるが、新生児訪問が困難な場合は乳児訪問等で対応するなど工夫している。

本学では1学年70名の履修人数上限としているが、実習施設の確保には苦慮している。必修の地域看護学関連科目と、選択の公衆 衛生看護学関連科目があることから、地域看護・公衆衛生看護の教員負担がある。

本学は目的大学であり、保健師養成の数を増やしたいと考えているが、福岡県は各大学の実習受け入れに人数制限があり、18名の 養成しかできない。また、地域包括システム構築の実現には、看護職をめざす全員の実習が不可欠と考えるが、このように県の方針と して人数制限があるのは、非常に問題である。

養成校が増えた為、市町管内の保健所での実習ができなくなり、市町の実習を連動させて学ぶことができなくなった。宿泊も必要とな り、学生や教員の負担も大きくなった。

# 表14-2 保健師教育課程の課題 記述内容

来年度から20名選択者のみ保健師の実習をすることになります。県内5大学、平成31年度実習からは6大学で実習施設を話し合いで決めていますが、毎年来年度のことを前年度から検討しています。毎年、文部科学省が新設大学を認可し、その度に実習施設の確保が県内の保健所、市町村で調整することに時間をとられています。保健所保健師の役割が4~5日の短い実習期間中に見えないため、学内で科目を増やして補うカリキュラムに変更していますが、大学が増え、教える教員も十分育っていない現状を文部科学省はどのように現状分析をしているのでしょうか。本当に質の良い看護職の育成をするためには、このままでは良くないと感じています。

留年生が出て、翌年の実習になる場合、定員10名に1名が加わり11名になる。するとその溢れた1名の実習先の確保が非常に難しくなる。

選択制にして履修人数を制限したが、看護系大学が増えてきたために実習日数が減少してきている

他大学と実習時期が重なるなど、実習施設の確保が困難であった。

都道府県で実習受け入れ人数が定められているため、交渉も難しい点が課題である。

保健師教育課程は明確に学生数を制限していないが、希望する学生の中から成績、面接結果を考慮し約40名くらいを目途に選抜する。20名は東京都区内の保健センターでの実習が可能であるがそれ以外の学生は実習場所を探さなくてはいけないが、東京都の許可なく実習の受け入れができない仕組みになっているので、保健センター、のみならず統括ケアセンター等の確保も困難。

保健所及び市町村実習施設の確保に苦慮している。

# 表14-4 助産師教育課程の課題 記述内容

<助産学実習>:後期において6週間、母性看護学実習時期と重複する。このため、大学病院での実習では産褥期の母子の実習は母性看護学実習優先せざるを得ない。また、大学病院は身体的ハイリスクケースが多く、学生が分娩介助できるケースが極めて少なく、分娩期(分娩介助)実習は他の病院で行っている。このため、学生1人あたり10例の分娩介助例数確保のために年々実習施設を増やしている現状である。教員4名に対して実習施設は附属病院を含む病院5施設, 医院2施設, 助産所2施設である。更に、同一地域で4年次6月~11月に5施設が助産学実習を行っており、平成29年度から新規参入助産課程の実習が開始するため、既得の実習施設からの撤退や縮小を余儀なくされる。加えて、新卒者が就職する病院では1~3年目の助産師の分娩介助例数確保のため学生の介助例数が制限されつつある。

- ・実習が夜間に及び、継続事例実習では深夜の移動(自宅から病院)もあるので、安全面の確保を行うこと。・継続事例実習では土日の実習もある。学生は年間を通して数日の土日の実習であるが、教員は指導している学生の数だけ、土日の実習指導に出ることになり、休みが取れない。・看護基礎教育の体験が減っており、助産学実習では基礎的な技術の習得が基本的にはあるものとして進んでいくので、基礎看護技術から指導しなければならない。・助産所実習を大切にしたいと考えているが、開業助産師の高齢化で、いつまで続けられるか分からない。
- ・実習施設に臨床指導者の不足があり、指導者が不在という理由で分娩介助ができないことがあった。・実習施設での新人教育が優 先で学生の分娩介助に制限がかかったことがあった。これらの現状から、学生の分娩介助例数をいかに増やしていくかが課題である。
- ・実習施設の確保・遠隔地での実習に参加する学生の経済的負担及び実習指導教員の業務負担が大きい
- ・助産学実習施設の確保・実習施設における正常分娩数の減少
- ・助産師資格獲得に向けた知識と技術の習得と研究者としての向上(修士論文作成)の両方を満たした教育の難しさ・分娩を扱う実習施設の減少に伴い、実習施設では、母性看護学実習の受入、助産学実習の受入と多忙になっている現状がある。分娩介助数を満たす補修実習を含めた実習施設確保の難しさ
- ・助産実習は1施設1~3名の学生配置としているため、指導教員の負担に差が生じている。また、6施設中、県内の3施設だけでなく、県外の3施設は関東も含まれており、学生や教員の負担が大きい。宿泊費用を抑えるために寮を借用したり、複数の教員で巡回体制にしたりして、負担を軽減できるようにしている。施設によっては週3日程度の巡回体制をとっているところもあるが、夜間や日中必ず教員が実習に立ち会わなければならない施設もあり、施設側の指導体制に差がある。助産実習中は、学生も教員も夏季休暇中に実習に行くが、帰校日を設けたり、夏季休暇を取得する事が困難である。地域母子保健実習の市町村実習は近隣の市町村での実習であるが、助産院は県内に分娩を取り扱っている施設がないため隣県まで行っている。助産院に宿泊をして、24時間の助産師の活動をみせていただいており、実習内容の到達度も高いため、継続して実習に臨みたい施設である。
- ・分娩件数が少ない施設では、学生の待機時間が長くなり、学生間差が生じている。学生間差を少なくするために、施設間のローテーションを行なうことが効果的ではあるが、学生の施設への適応に負担が伴う。・スタッフ数やスタッフの勤務年数により指導者が得られ状況があると、正常分娩の入院があっても学生の介助ができないことがある。・遠方の実習施設では、学生の交通費や宿泊費の負担がある。
- ① 少子化で実習学生の受け入れが1施設1-2名と施設の学生受入数が少ない。② 分娩数が少ないので、夜間も実習を入れないと、10例の分娩獲得が困難である。 ③ 4年制大学では無資格の学生が分娩介助するため、できるかぎり教員が分娩に立ち会っているため教員・学生の実習時間・実習担当時間が長い。④ 分娩介助の指導は助産師の経験年数が長くないと指導が出来にくい為、指導者が不在の時は実習ができない。 ⑤ 分娩の多い施設の確保ができにきいため、隔たり無く助産の実習ができるように場所確保のコーディネイトしてくれる機関がほしい。つまり、助産師教育での実習のあり方の検討が必要である。⑥ 読替を入れても、看護師と助産師の教育課程をこなすのは、時間割が過密になる。
- 1)施設の確保:出産施設の集約化が進み同一施設での実習に、養成所間の競合がある。学生数に応じた分娩数を確保するために、遠隔地での実習が必要となり、実習担当教員の配置数が困難となる。正常分娩を取り扱う地域のクリニックの助産師数の不足から、助産学実習への協力が得られなくなる施設がある。2)教育課程:学部教育で助産師を要請しているため、助産師コースを履修する学生の4年次のカリキュラムが過密化している。助産学実習が4年次後期に行われ、実習内容も学生にとっては過重な負担になっているのか、統合教育での助産師コースの希望者が減少傾向にある。
- 1. 実習施設:①従来、助産学実習を展開していた病棟が産科を閉鎖することにより実習場がなくなり助産学生の養成数を減らさざるを得ない。②新たな実習場開拓には、基礎看護学における母性看護学実習で看護学生が実習しているため、助産学生養成のためとはいえ、後からの実習参入には非常に調整が困難である(受け入れ側の臨床の理解と基礎看護実習を展開する学校側の理解と意識の転換など)。③各施設の助産学生の受入数は少数(2名程度)であり、養成数を増やすためには、実習施設が多く必要となる。それによる指導者の確保も必要となる。大学の専任教員だけでは複数病院で実習指導はできない。そのためには非常勤などで補う必要があるが、確保が困難である(賃金や助産学実習の分娩介助指導という時間・責任等々看護学実習指導とは異なる)。④それらによる教育の質の低下になる。 2. 教育課程:①4年生カリキュラムの中で助産学の教育課程を展開することは、カリキュラムが過密である。教育内容は科目の読み替えによる助産学に必要な授業内を満たしていないなどのため、厚生労働省からの「助産師、看護師等の看護技術項目の卒業時の到達度」の水準まで授業内容が提供できない(看護学生の基礎看護終了時の技術水準レベルが向上していない中で)。②特に分娩介助実習においての技術の修得は、短期間では到達できるものではなく、一定期間が必要である。継続事例の学習においても短期間では、妊娠中期から、産後1カ月の継続事例学習は不可能である。
- 1. 大学院課程であり59単位で構成するカリキュラムは過密である 2. 実習施設の確保が困難である。複数わたる施設が遠隔地であるため教員・学生の時間調整や実習計画の実施に課題がある。分娩症例数の確保が難しい。
- ①施設の分娩件数減少に伴い、夜間実習が多く、学生・教員および臨床指導者の負担が大きい。②産科施設の減少に伴い、施設確保が非常に困難となっている。 ③1施設に多数の大学が継続して実習しているため、希望する実習期間の確保が難しい。

# 表14-4 助産師教育課程の課題

## 記述内容

3か所で実習している(助産所、大学病院、地域の総合病院)が、地域の総合病院は日中のみの実習のため、実習期間が長い割りに分娩介助例数少ない。何度か交渉するも無理であった。その分、大学病院でのハイリスク分娩の介助件数が増える。

学生の学力低下。分娩数の確保が難しい。

教育課程においては、めざすべき卒業時到達の力を考えると、どのように講義、演習、実習を計画するか、その3つの総合力も考えながら授業構成等考えています。

近隣に新設校が増加したこと。分娩件数の減少、実習指導者数が少なく指導体制が整えられないなどの理由で、実習施設の確保が難しい。

県内での実習施設を確保することが困難

県内の他学や本学看護師課程の母性看護学実習との重なりが生じ、助産学実習のフィールドの確保が困難になりつつある。年々受け持ち妊産婦の確保が困難になる(家族の了承を得るのが困難)、出生数の減少により、実習フィールドの確保が困難になりつつある。

合併症妊婦が増加し、正常分娩介助10例の確保が難しい。分娩施設が限定されており、他校と調整して実習をしている。そのため現場では長期間臨床指導者を配置しなければいけなくなり、現場に負担をかけている。助産学専任教員は、不足しており、教育の質の担保に苦労している。

今年度より大学院において助産師教育を行っている。実習施設の中で、いいケアをしている医療機関が少なく、学生を実習させるに は躊躇することがある。分娩は夜間にあることが多いにもかかわらず、夜間の実習ができない施設が多く、分娩介助例数が伸び悩み、 結果的に実習期間の延長をせざるを得なくなる。理由は、学生が見れるスタッフがいないという、経験年数のアンバランスな状況が臨 床にあるため。妊産婦に責任を持つという関係上、申し出ることができない。

実習に関しては、施設の確保、指導教員の確保の両面で課題がある。専攻科開設当初、学生数に見合った施設を確保していたが、 どの施設も他学との競合があり、継続して実習を受けていただけるとの保証は無く、毎年、次年度の実習施設の確保に苦慮する事態 である。演習科目での課題として、学生のレディネスの把握と基礎技術の強化が挙げられる。学生の看護教育の背景やキャリアも異なり、技術レベル、知識レベルのばらつきが大きい。特に臨床経験の無い新卒入学者は、看護教育課程での技術経験レベル、実習時の経験に差が大きく、専攻科に入学してからの演習で補う必要がある。

実習を受け入れてくれる病院はハイリスク妊婦が多く、通常分娩が少ないことが課題である。

実習期間が非常に長いため、実習施設の確保および、実習先での他大学との実習日の調整などが毎年の課題となっている。また、教 員自身の研究時間の確保にも配慮が必要。

実習施設との関係性を大切にしている。

実習施設の確保、10人の分娩介助の確保のためによる実習期間延長

実習施設の確保、カリキュラムが過密

実習施設の確保、看護師教育との調整、教育時間確保の問題

実習施設の確保については、現段階において、比較的、病院・施設等から協力を得られているため、実習に支障をきたすような状況 はない。教育課程における課題については、以前と比較し単位数が増えている為、教員、学生ともに負担は増えている。

実習施設の確保はできており、課題はない。分娩件数の減少のため、24時間実習は必須であり、履修学生、教員の負担が大きい。教育課程の課題では、必修科目が多く、選択科目となり助産学のスケジュールが確保できず、春季、夏季休暇に集中授業をいれることになり、履修学生、教員の負担が大きい。

実習施設の確保及び現行カリキュラムでの教員の負担が大きすぎる

実習施設の学生受け入れ人数が1-2人と少なく、多くの実習施設が必要である。また、実習施設の分娩件数の差が大きい。実習期間が短いため時間外実習が多い。ハイリスク分娩を多く扱う実習施設では学生の対象となる正常分娩を逃さず、同意の得られた方を受け持つため、連続して介助せざるを得ない場合も多々ある。

実習施設の年間分娩数が減少していることにより指定規則に規定されている10回程度の分娩介助を達成するために実習期間を延長せざるを得ない状況がある。また、実習施設によっては分娩介助実習の指導者が少ないため分娩進行者がいても学生が実習に入れないことがある。

実習施設の分娩件数が減少し、新たな実習施設を確保しなければならない状態が続いている。

実習施設の分娩数が少なくなり、また帝王切開率が高くなっているので、新たな実習施設の確保が大変である。

実習施設は、1施設1名から2名の受け入れのため、5施設以上の確保をしなければいけないが、分娩数が減ってきており、確保が難しい状況である。学部生のため、看護師の資格がないために、実践できない医療行為が多くあり、卒業時の到達目標は、大学院生や専 攻科の学生よりも低くなる。

# 表14-4 助産師教育課程の課題

## 記述内容

実習施設は今のところ確保されているが、将来については困難になると思われる。実習期間が長期にわたるので、共通選択科目との 調整が難しい。

実習施設及び実習期間の確保が難しい

修士課程助産学コースとして58単位。修士論文の作成と助産実習を同時並行のプログラムであるため、かなりハードスケジュールとなっている。また、定員の1.5倍以上の在籍数が2年続いている。10例の正常分娩介助数を確保するための実習施設確保が大変困難である。学生数12名に対し7か所の実習施設である。また、非常勤指導者の確保も難しい。分娩介助が延長し夜間の実習指導もあり、教員の負担が大きい。

助産学の分娩介助に関する実習施設の確保に苦慮している。近年の少子化や産科医師不足による分娩施設の閉鎖による施設数の減少、ローリスクを扱う他施設に分娩が集中することによるマンパワー不足(助産師、看護師)等が影響している。特に、昨年頃から顕著になっている。ハイリスクを扱う2次・3次施設の帝王切開率の上昇(60~70%)で、マンパワーのある病院で、分娩介助ができない。

助産学実習の時期は助産師教育課程のいかんにかかわらず、ほぼ7月~12月に集中している為、実習施設の確保は常に課題となっている。また、助産学実習では分娩介助例数が9例以上というしばりがあるため、期間内に介助できないこともあり、毎年平均して1名の学生が追加実習を行っている。過去の最長追加実習は、卒業式の前週まで行ったことがある。臨床側も新人助産師の育成のためには分娩介助の経験が必要なため、平日日勤でもこの曜日は学生は分娩介助できませんといわれることがあり、9例以上の介助は毎年綱渡り状態で実習をしているのが現実である。1施設1学生のところも多く、10箇所近い病院を使用しながら実習するために非常勤の実習補助教員は必要であるが、分娩があれば終了時間が不確定なため、補助教員もなかなか見つからず苦労している。分娩介助例数が浅い時期では、遅い時間帯(18~19時)の分娩では教員が居残ることが多く、教員が21時頃まで拘束されることも少なくない。教育の質を落とさないだけの助産学教員の定数化(学生何名に対し教員何名)や、実習施設が公平にいきわたるようどこかでコーディネートしてもらいたい。

助産学実習は、受け入れ人数が1名か2名で確保するのが難しい。分娩介助に合わせ、夜間も教員が指導に行くため、教員の確保も困難である。学生が就職しないと継続できない病院もある。

助産師専任教員数が2名(教授、准教授9であり、その中の1名は母性看護学の専任教員も兼務、また助教1名も専任に数えられており、講義・実習あわせて(28単位+6単位=34単位)を3名の教員でこなしている。研究・教育に支障をきたしている。

助産実習施設確保につきましては、毎年、新規施設を探す必要が生じています。分娩数の減少、ハイリスク産婦の増加、学生実習に同意を得ることの難しさ、首都圏での助産・看護教育課程の増加が要因となっています。

少産化のため、対象となる妊婦が少なく、実習の場を得ることが難しい。県内の開業医とも交渉しているが、臨地実習指導者の確保が 難しいとの理由で断られることが多い。出産数の関係で1施設1名での実習となることも多く、効果的な学習に繋がらないだけでなく、メ ンタル面で問題が生じている。

少子化、ハイリスク分娩の増加に伴い、10例程度の正常分娩例数確保が年々難しくなっている。一方、帝王切開分娩は5人に1人となり、予定・緊急含め今後も増加することが予想されている。また、分娩第1期だけ実習しているにもかかわらず、例数としてはカウントすることができない。10例程度の中に帝王切開、分娩第1のみの事例も認めてもらうことを要望する。経膣分娩が1-2例減るだけでも学生、実習施設、教育機関の負担は軽減できると思われる。

少子化により実習施設の確保がとても困難で、県外の実習委託施設に行くため学生の負担が大きい。

少人数の受け入れの為、教員数の確保が大変である。

正常分娩を扱う実習施設確保に苦労があり,実習をローリスク分娩とハイリスク分娩施設に分けて実習しているが,実習施設が遠くなり,教員・学生の拘束時間が長くなる.修了要件が58単位であるため,学生も教員も負担が大きい.

正常分娩数が減少しており受け持ちケースの確保が難しい。実習施設の確保が困難である。

選択制。4年生の学生20名を選抜している。

大学院において助産課程28単位と修論30単位の合計58単位を2年間で学ぶことに時間的にタイトである。

定員は10人だが、実習施設の確保が大変難しく、また指導教員の配置等の課題からおおむね5人の学生を選抜し、指導しているのが 現状である。

複数の実習施設の確保。実習指導非常勤教員・TAの確保。実習のために宿泊が必要なこと。

分娩が常に一定あるわけではなく、受け持ちできる褥婦がいないことがある。

# 表14-4 助産師教育課程の課題 記述内容

分娩をある一定数受け入れている病室が減少しているため、分娩介助実習を実施する施設の確保に苦慮している。

分娩件数10例を全員が経験できるための実習施設の確保が大きな課題であるため、受け入れ人数に応じた入学者数を考える必要性に迫られる。また、助産師教育に携わる教員や夜間分娩時も指導可能な教育体制、マンパワーの確保が課題である。

分娩件数が一定数確保できる施設が民間のクリニックにはあるが、実習指導体制・環境に問題があり、実習施設の確保に困難を要している。

分娩件数が年々少なくなっており、また学生の介助を断られる件数が増え、実習施設を複数にする必要がある。一方で、母性看護学講義と実習を兼任しているが教員数の増加はないため、一人の教員にかかる負担が大きい。実習施設を増やすためには、近距離にはなく、遠方の施設となるが、経費削減の折、現実には教員個人の持ち出し部分が大きい。

分娩件数も少なく、補充実習が必要となるが実習先の施設で他の教育機関と重なり、延長実習が難しい。

分娩取扱数が減少傾向であり、実習期間中に10例実習できるよう、毎日苦労している。遠方の病院は宿泊が必要である。

分娩数の減少と、教育機関の増加で、実習施設の確保は難しい。H.29に学部教育が終了になる為、学部と大学院の人数調整をしており、希望者を十分教育できないのが課題である。

平成31年度に予定されている助産師課程の大学院化に向けて、臨床研究のできる病院や医院の確保が必要である。

保健師資格が得られなくなり、地域生活に目を向けにくくなった。助産師不足、分娩数減少から実習受け入れ人数が減り、2-3名ずつの実習配置となっている。定員分の確保のためには施設数を増やす必要があるが教員が対応できない。施設では日中は教員が張り付きの指導を望むので教員の業務量が他分野に比して多い。

本県では出生数の減少、産婦人科医師の減少による産科施設の集約化により、分娩できる病院施設が減っているため分娩介助実習場所の確保が難しい。しかし、教育の質の確保として 10例以上の分娩介助は必須と考えているため、沿岸地域や遠方の個人クリニックなども、実習施設として開拓している。その場合の学生の宿泊場所の確保なども新たな課題となっている。特に沿岸地域は震災の影響により、マンスリーレオパレスなど宿泊場所の確保が困難な状況である。このような実習施設の確保や、宿泊場所の確保などは、大学だけでは限界があるため県医療局などに働きかけ協力を求めていく必要があると感じている。本県の助産師を、継続教育も含めて行政と一体化して育成できるよう、今後検討していきたいと考える。また、学生受け持ちを希望しない妊産婦や学生が分娩介助することを断る事例も増えておりいっそう10例以上の分娩介助実習が困難となってきている

助産学実習について:分娩介助実習の施設確保については苦慮している。そのことが専攻学生の定員数にも影響を与えている。実習施設の課題としては、分娩件数の減少、分娩を取り扱う病院の減少、ハイリスク妊産婦と帝王切開率の上昇に伴う正常分娩の減少等があげられる。これは全国的な傾向である。

## ご意見、ご要望

## 記述内容

【Q18.A 一般市民向け公開講座の続き】③漢方治療で注意しておくべきこと~有害事象・副作用⑭がん治療と漢方・代替医療⑮膠原病領域の漢方治療⑯専門医でなくともここまでできる!~不妊の漢方治療を中心に~⑰女性外来漢方~月経異常・冷え・更年期の症状への漢方的アプローチ 【Q18.B 看護職者等への専門職向け講座の続き】③BLNEC-J聖路加 ~すべてのナースのためのエンドオブライフケア~⑭退院調整から地域へ~在宅療養コーディネート・ナース養成研修と活動支援⑮不妊症看護認定看護師ポストコース講座⑯訪問看護スキルアップセミナー⑪英文献を読もう!パート 【~基礎編~⑱英文献を読もう!パート 【~構文理解強化コース~

【公開講座の追加分】⑬がん経験者の 在宅生活を支える?能登地区の在宅における看取りの実際から?⑭がんになったら仕事を辞めざるを得ないのか?! ?がん患者が職場に戻るとき?

・Q24について、発生の有無や内容については公表しないこととしています。

2012年度より、保健師教育カリキュラムは「公衆衛生看護学」に変更されたにもかかわらず、「地域看護学」と明記されています

26-Bは予定数20名ですが、学年進行中で履修者がいないため0としております。

5.公開講座の追加分 B看護職者等の専門職向け講座(13~31)13.がん患者が治療器から終末期に抱える諸症状のアセスメントと看護14.がん領域における看護倫理15.がん疼痛のある患者の事例16..薬物療法を受けている患者の事例17.家族アセスメントの実際における演習18.家族看護のプロセス、ジェノグラムとエコマップの書き方19.アセスメントの実際と介入の実際における演習20.がん看護専門看護師 CNS活動実践報告21.子育て支援セミナー 第7回「みんな違って、みんないい」22.シームレスな連携を推進する地域の活動と展望23.高齢患者への療養生活支援「生活者としてのその人らしさ」をつなぐ看護の実際24.療養の場の移行にまつわる家族への支援25.病院から地域へ、看看連携に向けた課題と活動の実際26.地域包括支援センターからの支援27.クリニカルジャッジメント~臨床判断能力を拓くために教育と実践をつなぐ28.家族性腫瘍を有する患者と家族への意思決定支援29.研究の初歩(1)データ収集と分析30.がん疼痛のある患者の事例のシミュレーション教育31.薬物療法を受けている患者の事例のシミュレーション教育

Q12の回答について。本学科では文科省の大学院の教員としての資格審査に準じた基準を設け資格審査をし、資格を得た教員が 大学院教育に携わっている。

Q14の入学定員については、看護、リハ、生体を合わせて設定しているので合計の人数。

Q17.看護系の学部・学科、大学院に所属する教員の研究活動について、日本医療研究開発機構(AMED)による研究費について、 当初平成23年度~27年度の計画で採択された研究ですが、平成27年度よりAMEDへ業務が移行され、平成27年度は、AMEDとして 1件あるのですが、厳密にいうと継続件数だと思いますが、入力できない状況です。ご指示通り、継続のその他に入力しております。 よろしくお願いいたします。

Q18,B追加⑬司法精神科病棟におけるリスクマネジメント? 暴力防止プログラム⑭事例検討会(2015年4月~2016年3月 合計11回開催)⑮臨床看護師の大学院進学支援プログラム⑯訪問看護ステーションと教育機関のコラボレーションの推進

Q23B.「国際交流協定校・施設の学校数(施設数)の追加分 ロシア 1 / オーストラリア 1 / ブラジル 1

Q24 B、Cについては発生の有無や内容については公表しないこととしている。

Q24-B ハラスメント事例の有無や内容については公表しておりません。

Q24については、発生の有無や内容については公表しないこととしている。

Q24については、発生の有無や内容については公表しないこととしている。

Q24に関して発生の有無や内容については公表しないことにしています。

Q24のB:ハラスメント事例の発生につきましては、大学が非公表としているため、回答無しとさせていただきます。

かなり詳細な内容のため、手元資料では体法が難しい。簡略化をお願いしたい。

この調査は何年間くらい行うのでしょうか。全部の回答をするには、総務部・学生支援部・入試広報部等の部署にも依頼しなければな らないので、大変です。

## (ご意見、ご要望)

## ご意見、ご要望

## 記述内容

この調査結果が看護教育の現状を反映しているものとして、関係各位に理解が得られ、改善への糸口となることを心から期待する公開講座追加分 Q18-A) ®感染から身を守る ®助産師のお仕事-産む人と生まれる人の看護 ®血圧について ®看護職に求められる資質について Q18-B) ®失禁のケア ®救急隊員による産科 (分娩)事業での母子に対する処置等について ®急変対応と報告のポイント ®認知症のケア 「家族支援」

ほとんどの内容は事務局の範疇のものですが、事務にアンケートを送っていただけると助かります。

科学研究等の件数についての調査は分かりますが、金額についてはこちらでは把握できないこともあり、調査票を埋めるのに苦労する。科研等以外に研究活動を行っており、金額など不明のことも多い。

回答が遅くなり申し訳ないです。でも調査期間を長く取っていただくことで回答可能になります。できるだけ長く取っていただきますようお願いします。

看護職対象公開講座の追加分「自分を活かし後輩を活かすプリセプター/パートナシップのありかた」「看護を教えるということ〜実習指導と新人看護師の教育において〜」

結果の報告をお願いします。また、各大学のデータ集約を看護系大学の教育や教員の人数の確保や待遇改善に関する要望に役立ててほしい。

公開講座の追加分:健康学習会(骨の健康、血圧・内臓脂肪、生活習慣病予防)、性教育、グッドチョイス!マタニティクラス、働くママパパのマタニティスクール、舞の里すこやかクラブ 健康学習会、抱樸館福岡 健康相談会、抱樸館福岡 きずな祭での健康測定会、健康寿命延伸を目指して〜地域での保健活動の取り組み〜、薬物乱用(喫煙)防止教育

公開講座の追加分食品の機能と安全性④「アロマケミカルの機能性」、食品の機能と安全性⑤「毒性学の概要」、食品の機能と安全性⑥「動植物源食品中の有害物質」、食品の機能と安全性⑦「食品の環境汚染による問題」、食品の機能と安全性⑧「食品加工によって生じる有毒物」

指定規則に定める教員数は実際の教育の質を提供するのに不十分であるにも関わらず、昔から見直しがされていない。質担保のために見直しへの働きかけになるような調査をお願いします。

質問3-Q15の⑤養護教諭1種が既取得だったかどうかは、確認しておりませんので不明です。質問12-Q26-B 保健師課程については、2015年度生より選択制になり、それ以前の入学生は全員が保健師課程を受講しております。2015年度生以降の選択制導入の保健師課程の定員は、20名です。

修文大学は2016年4月に開学いたしましたのでアンケートに記載する内容はございません。次年度は記載できると思いますのでよろ しくお願いいたします。

詳細な調査内容であるのに対して、回答期間が短すぎます。

千葉県は2016年に3校、2017年に4校の看護学科が設立される予定であり、現在実習施設からお断りをされる場合がある。特に医学部が併設されているところは自施設の実習を受け入れられていると思われるが、そのために医学部のない当大学などは長くお付き合いしてきた病院からも断られるケースがある。また教員の確保が難しく特に母性や地域などの教員の確保がむずかしい。看護学部の増設に関しても協議会でも検討していただきたい。また学生の取り合いのような状況になっており、入学希望者が今年度は減っている。オープンキャンパスにはたくさんの学生が参加してくれるが、実際には受験者数が減っていることからこれから先が不安な状況である。

大変遅くなってすみません。情報提供不可で、お答えできないところもありますが、看護学科でわかる範囲内で回答しました。

調査結果の閲覧の方法、またその可否。他大学ではどのようにしていらっしゃるのか気になります。

調査用紙の領域名が「地域看護学」となっていますが、現在はカリキュラム変更により「公衆衛生看護学」に変更しています。

日本看護系大学協議会の教員に対する研修等充実されているが、本学の場合、首都圏(東京)への出張研修は交通費が嵩むため派遣が困難である。教員の資質向上のため、研修内容をPC動画などで全国に配信する等、遠隔地の大学教員が学ぶ機会を工夫していただきたい。

発達障害、あるいは発達障害に似た状況にある学生への実習への対応に時間的、物理的に教員が多くの時間を割いていることから、他大学ではどのような対応をしているかを知りたい。 卒業要件としての修得単位数やカリキュラム構成は国家試験の受験資格を得ることを前提にしているが、日本の看護系大学において卒業要件は満たしているものの国家試験を受験しない学生がどのくらいいるか、全国的な傾向を知りたい。本学においてもわずかではあるが、大学は卒業するが、国家試験は受験しないと意思表明する学生がいる。看護職への志向性が低い(低くなった)こともあり、実習では特に臨床から問題視されやすく、実習指導に困難感をもっている。

# ご意見、ご要望

## 記述内容

繁忙期に負担の多い調査ではあると思います。

補足事項 2 Q10:日曜日は開講していない。 5 Q18-A:講師は看護学科教員だが、主催は本学エクステンションセンター。 5 Q18-B・C:「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」事業の一環。 12 Q26-A:定員は20名程度としており、平成27年度は18名が履修。

本学は平成27年度に開学した大学のため、卒業生数等が空欄となっております。また、公開講座等未実施の箇所もありますが、何卒 ご了承くださいますよう、お願いいたします。

毎年、教育体制維持のために参考にさせていただいています。専門学校と違って、看護教育に関する専門的な研修制度をもたない 看護系大学教員の質の確保についても調査や提言をしていただきたく思います。

毎年多くのデータが集まると思うので、国の施策に反映させるようなものとして活用してほしい。

例年、文部科学省医学教育課が実施する「指定(認定)学校概況」は当該年度の5月1日を基準とする調査のため、本調査も、5月末日ではなく1日としていただけると、再集計の必要がなくなるため希望します。

Q16につきまして、一部確認中でございます。後日、改めて回答いたします。

期限を大幅に過ぎて申し訳ございません。担当者が体調を崩し,また本務多忙のため,調査項目を完遂することがかないませんでし た。一部不完全なデータではありますが,今年度はご容赦を賜りたいと存じます。